

多摩市高齢者実態調査報告書
平成29年度版

平成30年1月

多摩市

はじめに

この高齢者実態調査報告書は、平成29年2～3月に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、「在宅介護実態調査」、「介護保険事業所調査」の3つの調査結果を報告書としてまとめたものです。

市では、それぞれの調査結果を踏まえ、地域での高齢者の生活実態からみた課題や介護(予防)サービスなどのニーズを把握し、それらを「多摩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直し作業や、高齢者の皆さんが住みなれた地域で安心して住み続けられるまちづくりのための基礎資料として活用していきます。

本調査にあたり、アンケートにご協力いただきました市民の皆様に心からお礼申し上げます。

平成30年 1月

多摩市健康福祉部 高齢支援課、介護保険課

【目次】

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査方法と調査票の回答状況等	3
(1) 調査方法	3
(2) 調査時期	3
(3) 調査の一覧	3
(4) 調査項目	4
3 本報告書を読むにあたっての留意点	4
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5
1 回答者の属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 居住地域	7
2 家族や生活状況について(問1)	8
(1) 家族構成(Q1)	8
(2) 介護・介助の必要性(Q2)	9
(3) 介護・介助が必要になった主な原因(Q2-1)	10
(4) 主な介護・介助者(Q2-2)	10
(5) 現在の暮らしの経済的状況(Q3)	11
(6) 住居形態(Q4)	11
(7) 主に生活する部屋の階数(Q5)	12
(8) エレベーターの有無(Q5-1)	12
3 からだを動かすことについて(問2)	13
(1) 運動について(Q1~Q3)	13
(2) 過去1年間の転んだ経験について(Q4)	13
(3) 転倒に対する不安について(Q5)	13
(4) 運動機能リスクの判定	14
(5) 外出頻度について(Q6)	15
(6) 昨年と比べた外出頻度の減少について(Q7)	15
(7) 閉じこもりリスクの判定	16
(8) 外出の状況について(Q8)	17
(9) 外出を控えている理由(Q8-1)	17
(10) 外出する際の移動手段(Q9)	18
4 食べることについて(問3)	19
(1) BMI(身長・体重)(Q1)	19
(2) 口腔・栄養について(Q2~Q5、Q6-1、Q7)	20
(3) 栄養リスクの判定	21
(4) 口腔機能リスクの判定	22
(5) 歯の数と入れ歯の利用状況について(Q6)	23
(6) 入れ歯の手入れについて(Q6-2)	23

(7) 食事をとむにする機会 (Q8)	24
(8) 食事について (Q9、Q10)	24
5 毎日の生活について (問4)	25
(1) 認知機能の低下について (Q1~3)	25
(2) 認知症リスクの判定	26
(3) 手段的自立度について (Q4~8)	27
(4) 手段的自立度 (IADL) 判定	27
(5) 社会的能動性について (Q9~18)	29
(6) 知的能動性判定	30
(7) 社会的役割判定	31
(8) 生活リスク判定	32
6 地域での活動について (問5)	33
(1) グループや社会活動への参加について (Q1-1~7)	33
(2) 健康感や幸福度と地域活動への参加状況について	33
(3) 地域づくり活動への参加について (Q2~3)	34
7 たすけあいについて (問6)	35
(1) たすけあいについて (Q1~4)	35
(2) 何かあったときに相談する相手 (Q5)	36
(3) 友人・知人と会う頻度 (Q6)	36
(4) この1か月間の友人・知人と会った人数 (Q7)	37
(5) よく会う友人・知人の関係 (Q8)	37
8 健康について (問7)	38
(1) 健康感について (Q1)	38
(2) 幸福度について (Q2)	39
(3) この1か月の気持ちについて (Q3、Q4)	39
(4) 飲酒 (Q5)	40
(5) 喫煙 (Q6)	40
(6) 治療中、または後遺症のある病気 (Q7)	41
9 その他の福祉サービスについて (問8)	42
(1) 介護保険対象外の福祉サービス等の認知度 (Q1)	42
(2) 地域包括支援センターの認知度 (Q2)	43
第3章 在宅介護実態調査	45
A 調査対象者本人への質問	47
1 回答者の属性	47
(1) 調査票回答者 (A-問1)	47
(2) 現在の居場所 (A-問2)	47
(3) 世帯類型 (A-問3)	48
(4) 住まいの種類とエレベーターの有無 (A-問4)	48
2 介護保険制度について	49
(1) 年 収 (A-問5)	49
(2) 介護保険料の負担感 (A-問6)	49
(3) 介護保険サービスと保険料の関係について (A-問7)	50
3 介護保険サービスについて	51
(1) 家族・親族からの介護について (A-問8)	51

(2) 家族・親族から現在受けている介護について(A-問9)	51
(3) あったらしいサービスや手助け(A-問10)	52
(4) 住宅で安心して暮らすためにほしいサービスや条件(A-問11)	54
(5) 利用している介護保険外サービス(A-問12)	56
(6) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス(A-問13)	56
(7) 施設への入所・入居検討状況(A-問14)	57
4 医療の状況について	58
(1) 現在抱えている傷病について(A-問15)	58
(2) 訪問診療の利用について(A-問16)	59
(3) 介護保険サービス利用の有無(A-問17)	59
(4) 介護保険サービスを利用しない理由(A-問18)	60
(5) ケアマネジャーの満足度(A-問19)	60
B 主な介護者への質問	61
5 主な介護者の属性	61
(1) 介護を理由とした仕事への影響(B-問1)	61
(2) 主な介護者(B-問2)	61
(3) 介護者の性別(B-問3)	62
(4) 介護者の年齢(B-問4)	62
6 主な介護者の就労について	63
(1) 調査対象者以外に介護や育児を行っているか(B-問5)	63
(2) 介護者の雇用形態(B-問6)	63
(3) 介護による仕事への影響(B-問7)	64
(4) 仕事と介護の両立に必要な勤め先の支援(B-問8)	64
(5) 今後も働きながら介護を続けていけるか(B-問9)	65
(6) 介護者が不安に感じる介護(B-問10)	65
(7) 介護サービスをよりよくするために市が力を入れるべきこと(B-問11)	66
第4章 介護保険事業所調査	67
1 事業所の属性(問2)	69
(1) 組織形態	69
(2) 事業所の種類	69
(3) 併設する事業所の種類	69
(4) 職員・スタッフの人数	70
(5) 職員の資格の所持状況	71
2 居宅介護支援事業所の状況について	72
(1) ケアプランの給付管理件数(問3)	72
(2) ケアマネジャーの人数(問4)	72
(3) ケアプランの作成にかかわる人(問5)	72
(4) ケアプランの作成が困難だったケースの程度(問6)	73
(5) 困難だったケアプランのケースの相談先(問7)	73
3 居宅・施設サービス提供事業所の状況について	73
(1) 市内の利用者数(問8)	73
4 事業運営について	74
(1) 昨年度の事業の採算(問9)	74
(2) 介護報酬変更による運営上の影響(問10)	74

(3) 特定事業所加算の取得状況(問 11)	74
(4) 加算取得による利用者への影響(問 11-1)	75
(5) 報酬改定による利用者への影響(問 12)	75
(6) 第三者評価の実施予定(問 13)	76
(7) 第三者評価の実施予定がない理由(問 13-1)	76
5 人材育成・人材確保について	77
(1) 人材の確保状況(問 15)	77
(2) 人材の確保ができていない職種(問 15-1)	77
(3) 人材の確保について行っている取り組み(問 16)	78
(4) 1年間の離職率について(問 17)	79
(5) 人材の定着・育成(離職の防止)についての取り組み(問 18)	80
(6) 事業所内での講習会・研修の実施状況(問 19(1))	81
(7) 職員の外部の研修等への参加支援状況(問 19(2))	81
(8) 介護職員処遇改善加算の取得状況(問 20)	81
(9) 介護職員処遇改善加算の取得による職員の賃金の上昇程度(問 20-1)	82
(10) 介護職員処遇改善加算の活用による職員の離職状況の改善(問 20-2)	82
6 他事業所との連携について	83
(1) 他の事業所等との連携への取り組み状況(問 21)	83
7 今後の事業運営について	83
(1) 今後3年間の事業規模(問 22)	83
(2) 拡大予定・検討中のサービス(問 22-1)	84
(3) サービス参入に対する課題(問 22-2)	85
(4) これから特に力を入れたいこと(問 23)	85
(5) 利用者から信頼を得るために必要なこと(問 24)	86
8 介護保険外サービスについて	87
(1) 介護保険適用外サービスの提供状況(問 25)	87
(2) 提供を予定(検討)している介護保険適用外サービス(問 26)	87
9 市への意向について	88
(1) 事業者として市に望むこと(問 27)	88
(2) 介護サービスをよりよくするために市が力を入れるべきこと(問 28)	89
資料編 調査票及び集計結果	91
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	93
在宅介護実態調査	104
介護保険事業所調査	114

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、多摩市に居住する高齢者の生活実態を把握することによって、「第7期多摩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30～32年度）」の改定や高齢者が住みなれた地域で安心して住み続けられるまちづくりのための施策などの基礎資料とすることを目的とする。

2 調査方法と調査票の回答状況等

(1) 調査方法

郵送配付一郵送回収（礼状兼催促状1回送付）

(2) 調査時期

平成29年2月21日（火）～平成29年3月10日（金）

(3) 調査の一覧

種別	調査対象者		回収数 (有効回収数※2)	回収率 (有効回収率)
	調査対象範囲	調査数		
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	平成29年2月1日現在、市内に居住する65歳以上の方で、要介護認定（要介護1～5）を受けていない方	4,000 ※1	3,248	81.2%
②在宅介護実態調査	平成29年2月1日現在、市内に居住する65歳以上で、平成28年8月1日から平成28年12月31日の間に、在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けた方（①の調査対象者を除く）	1,200	865 (720)	72.1% (60.0%)
③介護保険事業所調査	市内介護保険事業所	100	77	77.0%

※1 ①の調査対象者は、居住地域（地域包括支援センター別（P4参照））ごとに、調査対象範囲から無作為抽出（800人×5地域）しています。

※2 在宅介護実態調査の「市外へ転居」の方は集計から除きます。

(4) 調査項目

①介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

基本属性、家族や生活状況、からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康、その他の福祉サービス、地域包括支援センターなどについて

②在宅介護実態調査

基本属性、介護保険制度、必要な支援・サービス、医療の状況、家族介護者の育児や仕事などについて

③介護保険事業所調査

基本属性、居宅介護支援事業所の状況、居宅・施設サービス事業所の状況、事業運営、人材育成・確保、他事業者との連携、今後の事業運営、介護保険外サービスなどについて

3 本報告書を読むにあたっての留意点

- ・回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示しています。
- ・％は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。したがって、回答の合計が必ずしも100％にならない場合（例えば99.9％、100.1％など）があります。
- ・回答者が2つ以上回答することのできる質問（複数回答）については、％の合計は100％を超えることがあります。
- ・本文及びグラフ中の設問文の選択肢の表現は一部省略、補足されています。
- ・居住地域は、以下の地域包括支援センターの地域で統合しています。

地域包括支援センター (第7期日常生活圏域)	居住地域
西部	落川・百草・桜ヶ丘・関戸6丁目・和田(3丁目を除く)・東寺方(3丁目を除く)・貝取(地番)
東部	連光寺・聖ヶ丘・馬引沢・諏訪
多摩センター	落合・鶴牧・唐木田・中沢・山王下・南野2～3丁目
中部	永山2～7丁目・貝取2～5丁目・豊ヶ丘2～6丁目・南野1丁目
北部	一ノ宮・和田3丁目・東寺方3丁目・関戸1～5丁目・愛宕・乞田・貝取1丁目・豊ヶ丘1丁目・永山1丁目

第2章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

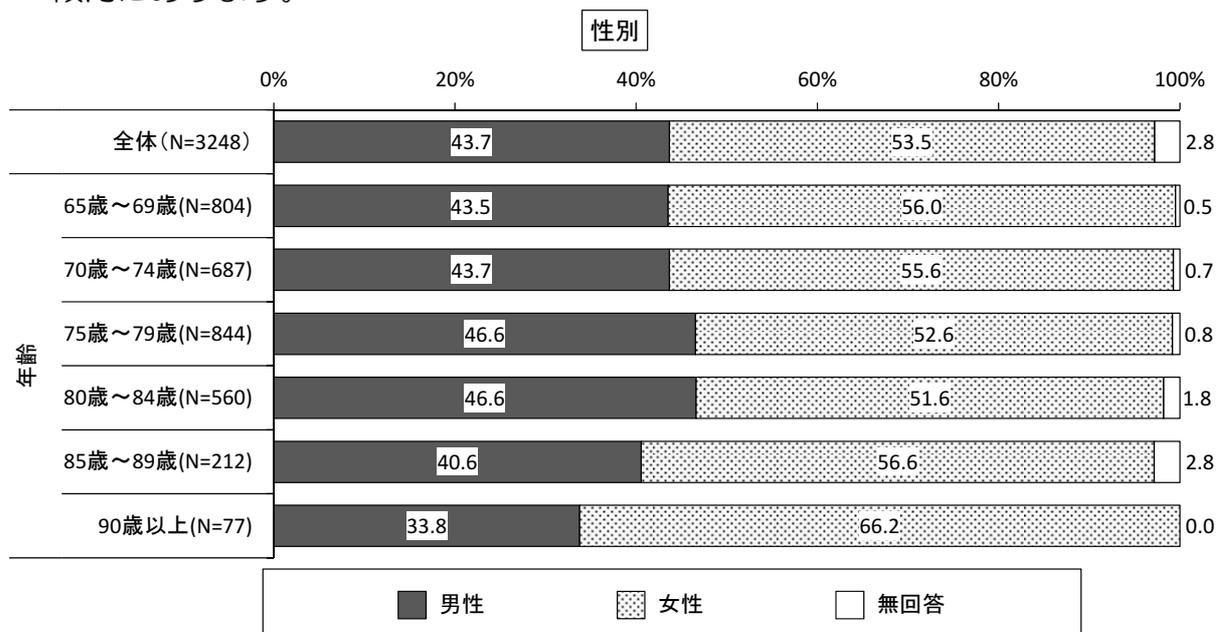
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 回答者の属性

(1) 性別

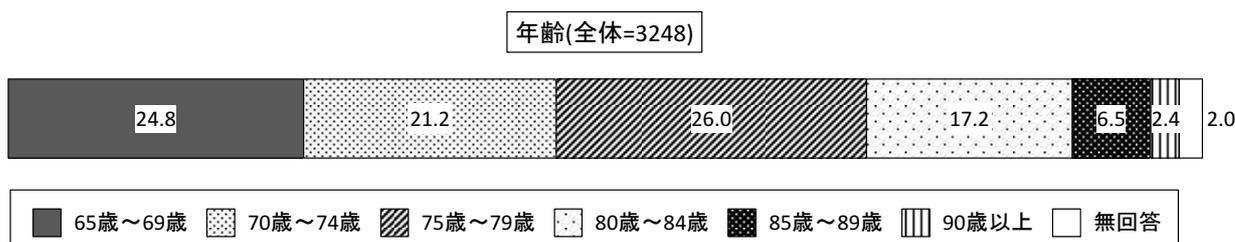
全体は、「男性」43.7%、「女性」53.5%と女性が上回ります。

年齢別には、「85～89歳」以上は年齢が上がるにつれ、女性の割合が増える傾向にあります。



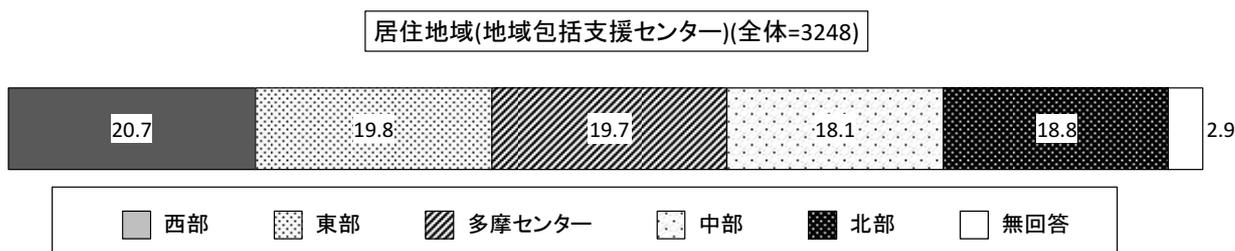
(2) 年齢

全体は、「65～69歳」24.8%、「70～74歳」21.2%、「75～79歳」26.0%、「80～84歳」17.2%、「85～89歳」6.5%、「90歳以上」2.4%で、前期高齢者が合わせて46.0%、後期高齢者が合わせて52.1%です。



(3) 居住地域

居住地域（地域包括支援センター別（P4 参照））は下図のとおりです。



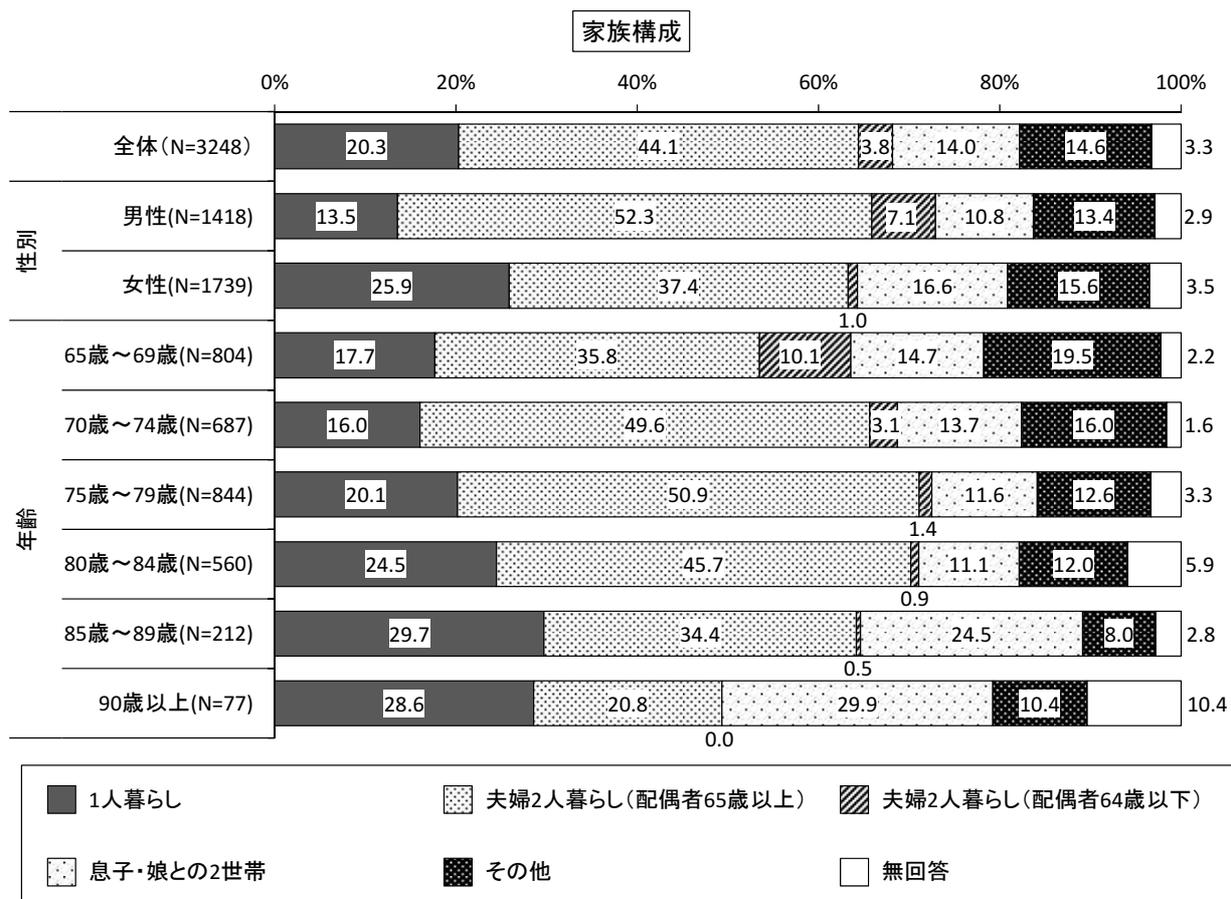
2 家族や生活状況について（問1）

(1) 家族構成（Q1）

全体は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」44.1%が最も多く、次いで「1人暮らし」20.3%、「息子・娘との2世帯」14.0%などが続きます。

性別では、女性が男性に比べ「1人暮らし」の割合が高くなっています。

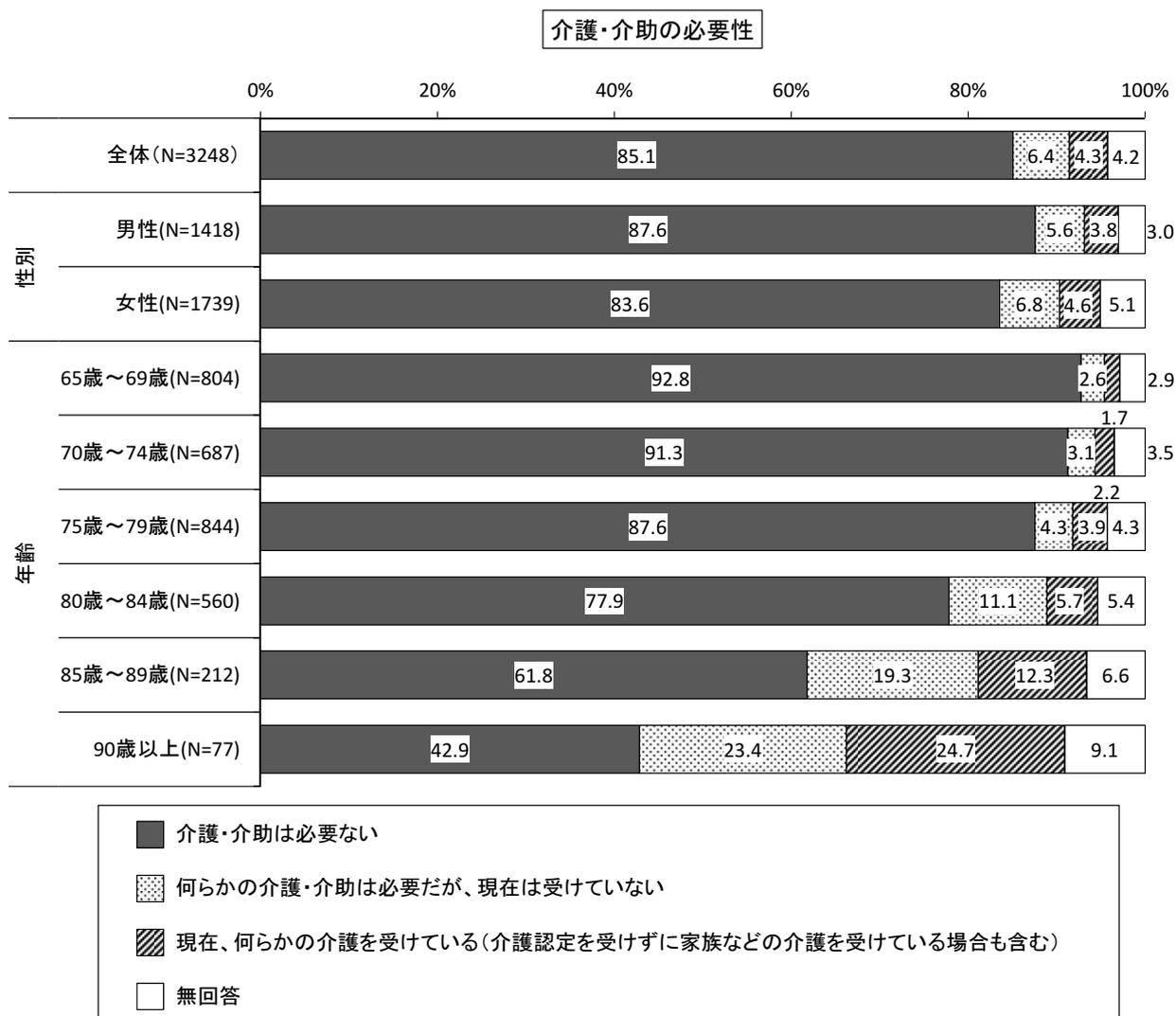
年齢別には、85～89歳までは年齢が上がるにつれ「1人暮らし」の割合が増加する傾向がみられます。また、85歳以上は「息子・娘との2世帯」が増加し、「夫婦2人暮らし」の割合が低下しています。



(2) 介護・介助の必要性 (Q2)

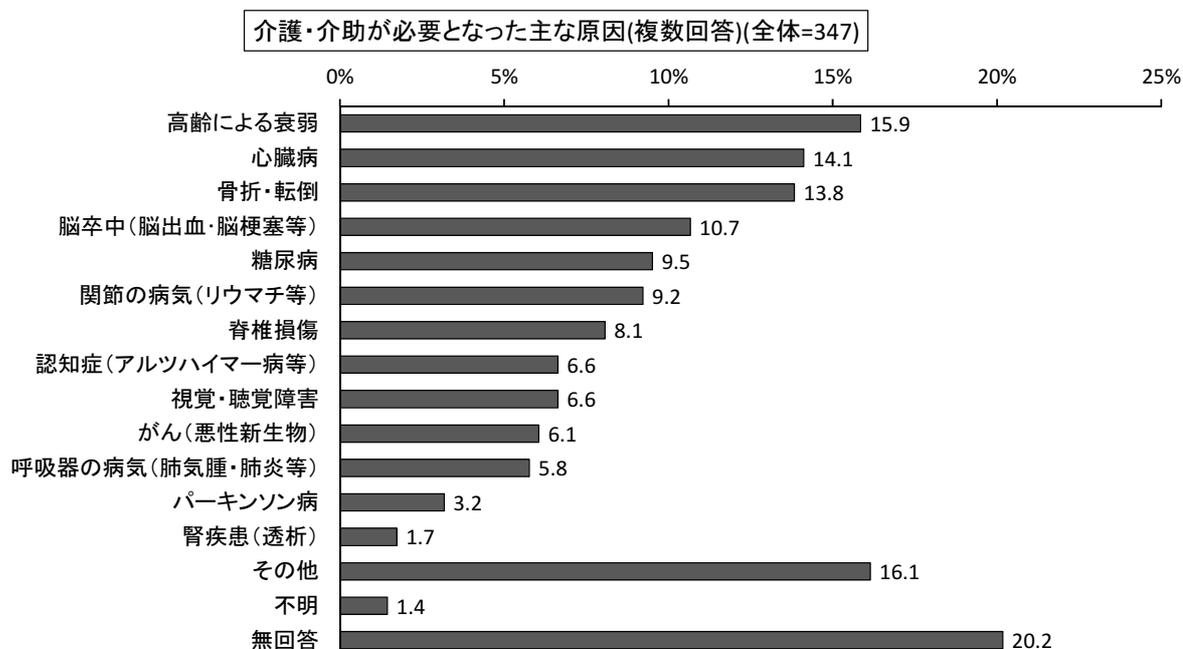
普段の生活で介護、介助の必要性をお聞きしたところ、全体は、「介護・介助は必要ない」が 85.1%を占め、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」6.4%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族等などの介護を受けている場合を含む）」4.3%となっています。

年齢別には、年齢が上がるにつれ、「現在、何らかの介護を受けている」の割合が顕著に高まり、90歳以上では 24.7%に達します。



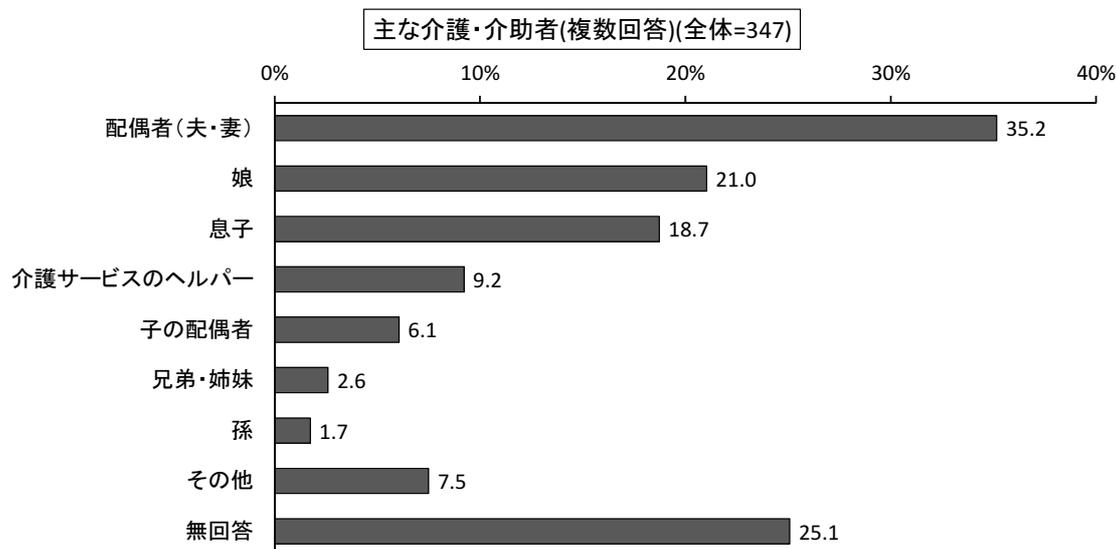
(3) 介護・介助が必要になった主な原因 (Q2-1)

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」及び「現在、何らかの介護を受けている」人に介護・介助が必要になった主な原因をお聞きしたところ、多い順から「高齢による衰弱」15.9%、「心臓病」14.1%、「骨折・転倒」13.8%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」10.7%、「糖尿病」9.5%などが続きます。



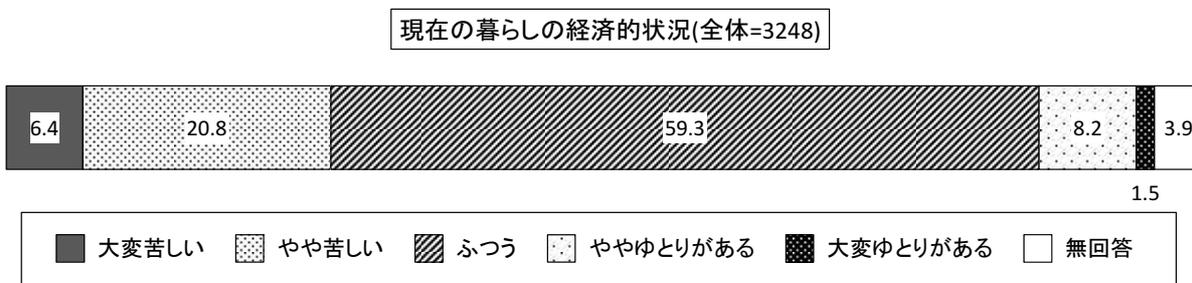
(4) 主な介護・介助者 (Q2-2)

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」及び「現在、何らかの介護を受けている」人に主な介護者をお聞きしたところ、多い順から「配偶者（夫・妻）」35.2%、「娘」21.0%、「息子」18.7%などが続きます。



(5) 現在の暮らしの経済的状況 (Q3)

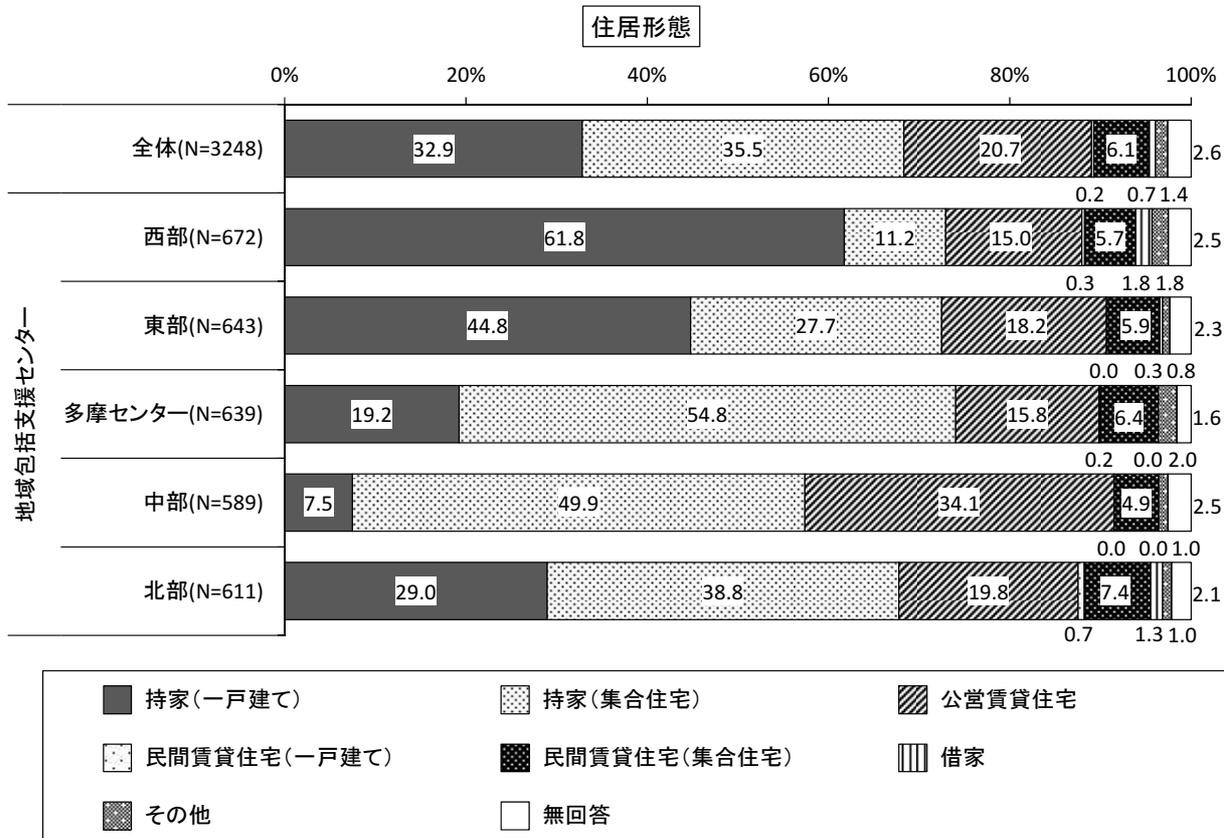
全体は、「ふつう」が 59.3%と多く、次いで「やや苦しい」20.8%が続き、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”は 27.2%を占め、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”は 9.7%にとどまっています。



(6) 住居形態 (Q4)

全体は、「持家（集合住宅）」35.5%が最も多く、次いで「持家（一戸建て）」32.9%、「公営賃貸住宅」20.7%が続きます。

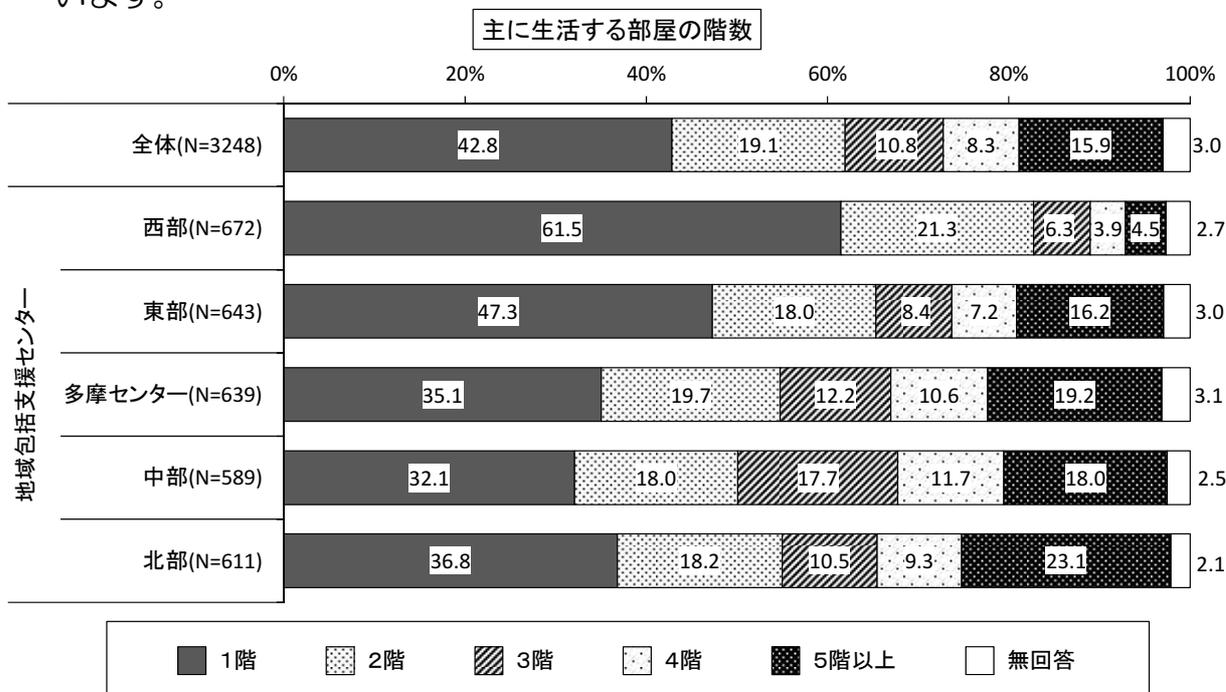
地域包括支援センター別には、「西部」「東部」は「持家（一戸建て）」が多く、「多摩センター」「中部」「北部」は「持家（集合住宅）」が多くなっています。



(7) 主に生活する部屋の階数 (Q5)

全体は、「1階」が42.8%と最も多く、次いで「2階」19.1%、「5階以上」15.9%と続いています。2階～5階以上の合計は54.1%となっています。

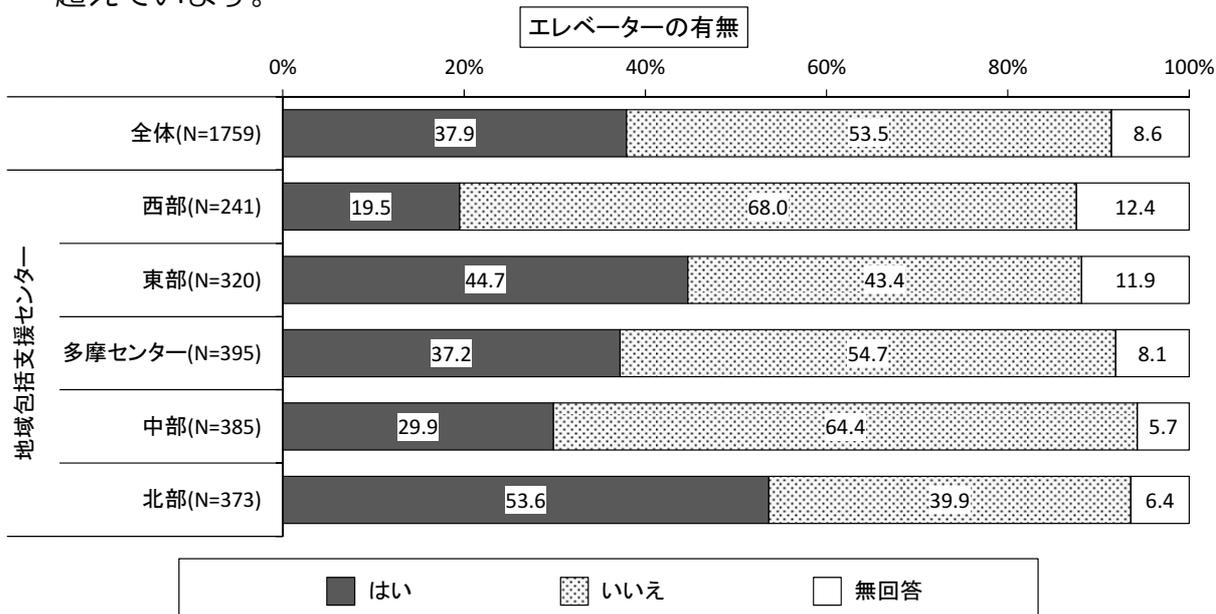
地域包括支援センター別には、「西部」は「1階」が多く61.5%を占めています。「多摩センター」「中部」「北部」では2～5階以上の合計が6割を超えています。



(8) エレベーターの有無 (Q5-1)

主に生活する部屋が2階以上の人に、エレベーターの有無をお聞きしたところ、全体は、「はい(エレベーターあり)」が37.9%、「いいえ(エレベーターなし)」は53.5%となっています。

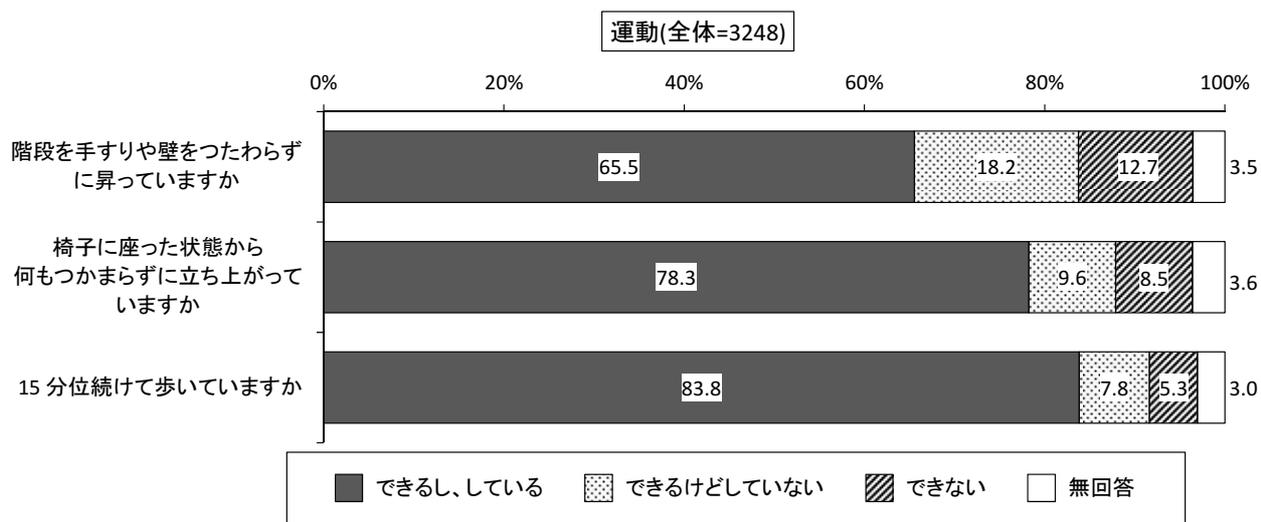
地域包括支援センター別には、「西部」「中部」で「いいえ」が多く、6割を超えています。



3 からだを動かすことについて（問2）

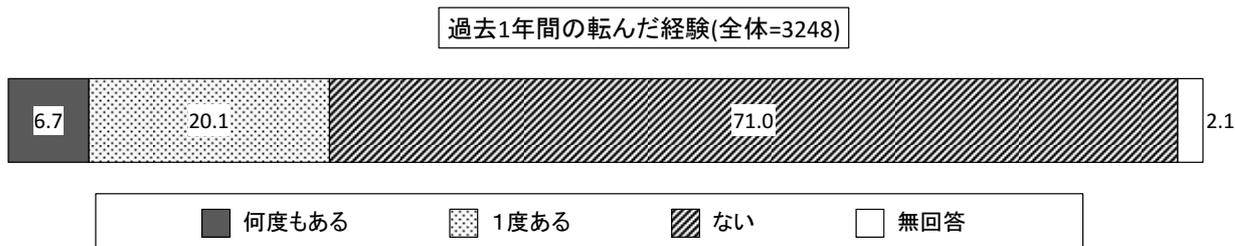
(1) 運動について（Q1～Q3）

運動・閉じこもりについて、注意を要する回答の割合は、多い順に「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」（できない：12.7%）、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」（できない：8.5%）、「15分位続けて歩いていますか」（できない：5.3%）、となっています。



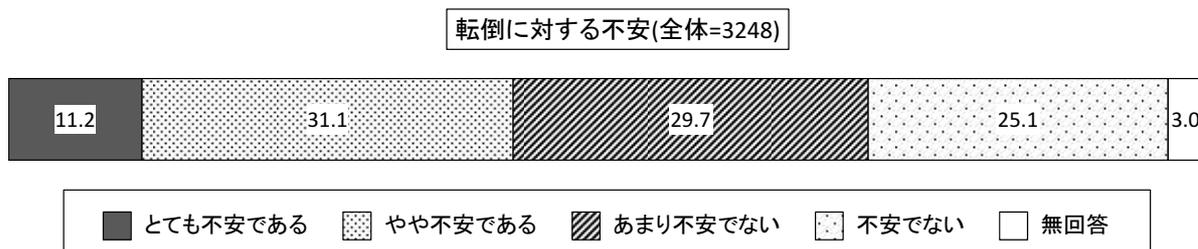
(2) 過去1年間の転んだ経験について（Q4）

過去1年間に転んだ経験の有無をお聞きしたところ、「ない」が71.0%を占めています。「何度もある」「1度ある」を合わせた“転んだ経験がある”は26.8%となっています。



(3) 転倒に対する不安について（Q5）

転倒に対する不安をお聞きしたところ、「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”は42.3%、「不安でない」「あまり不安でない」を合わせた“不安でない”は54.8%となっています。



(4) 運動機能リスクの判定

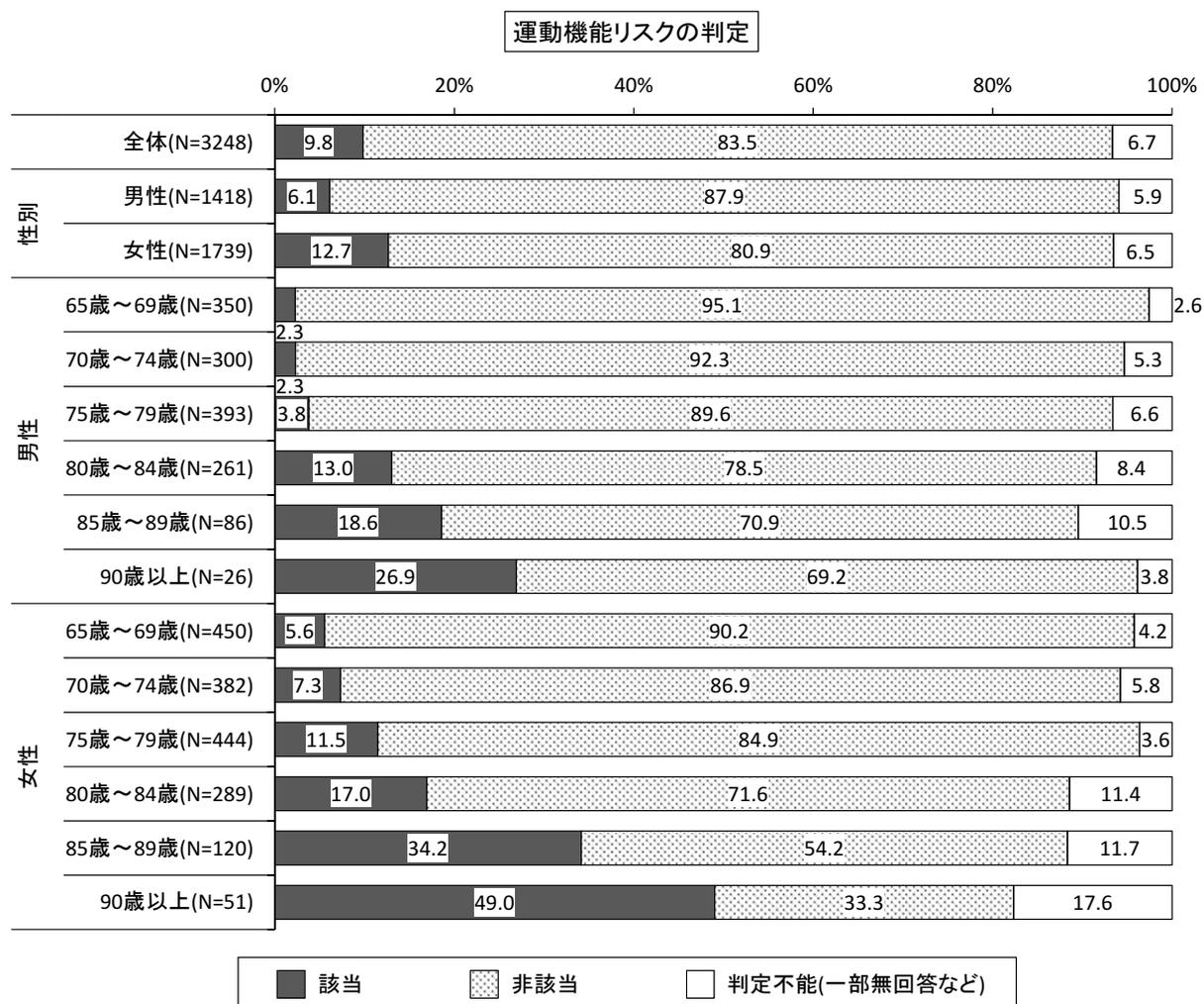
■運動機能リスクの判定・評価

問番号	設問	該当する選択肢
問2-Q1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」
問2-Q2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」
問2-Q3	15分位続けて歩いていますか	「3. できない」
問2-Q4	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 「2. 1度ある」
問2-Q5	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安」 「2. やや不安」
判定	3問以上該当する選択肢が回答された場合は「該当」	

運動機能リスクの判定において該当した人(運動機能の低下がみられる人)は、全体では9.8%です。

性別では、男性に比べ女性の該当者割合が高くなっています。

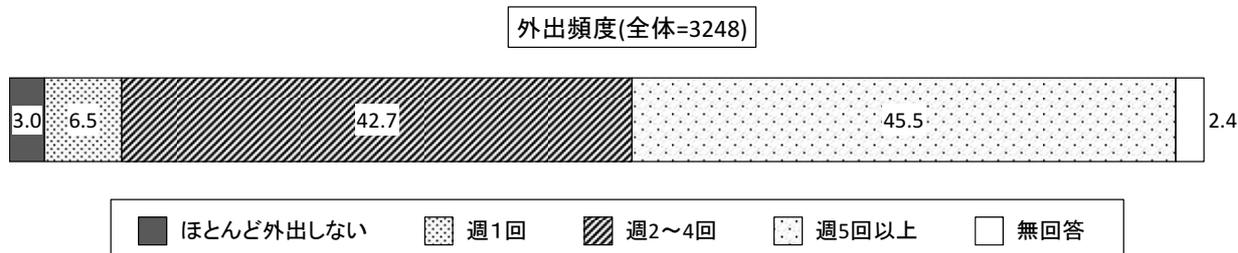
男女とも、年齢が上がるにつれ該当者の割合が増加する傾向にあり、特に80～84歳以上で割合が急激に高まります。



(5) 外出頻度について (Q6)

週に1回以上外出しているかをお聞きしたところ、「週5回以上」45.5%、「週2~4回」42.7%を合わせると8割以上となります。

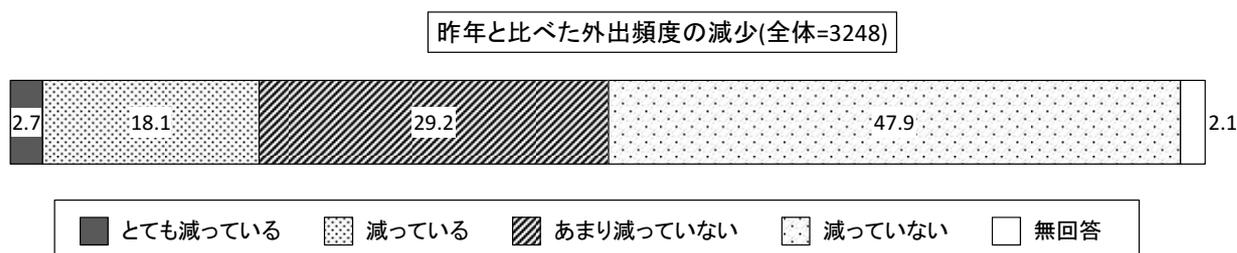
「ほとんど外出しない」は3.0%にとどまっています。



(6) 昨年と比べた外出頻度の減少について (Q7)

昨年と比べて外出の回数が減っているかをお聞きしたところ、「減っていない」47.9%が最も多くなっています。

「減っていない」「あまり減っていない」を合わせた“減っていない”は77.1%、「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”は20.8%となっています。



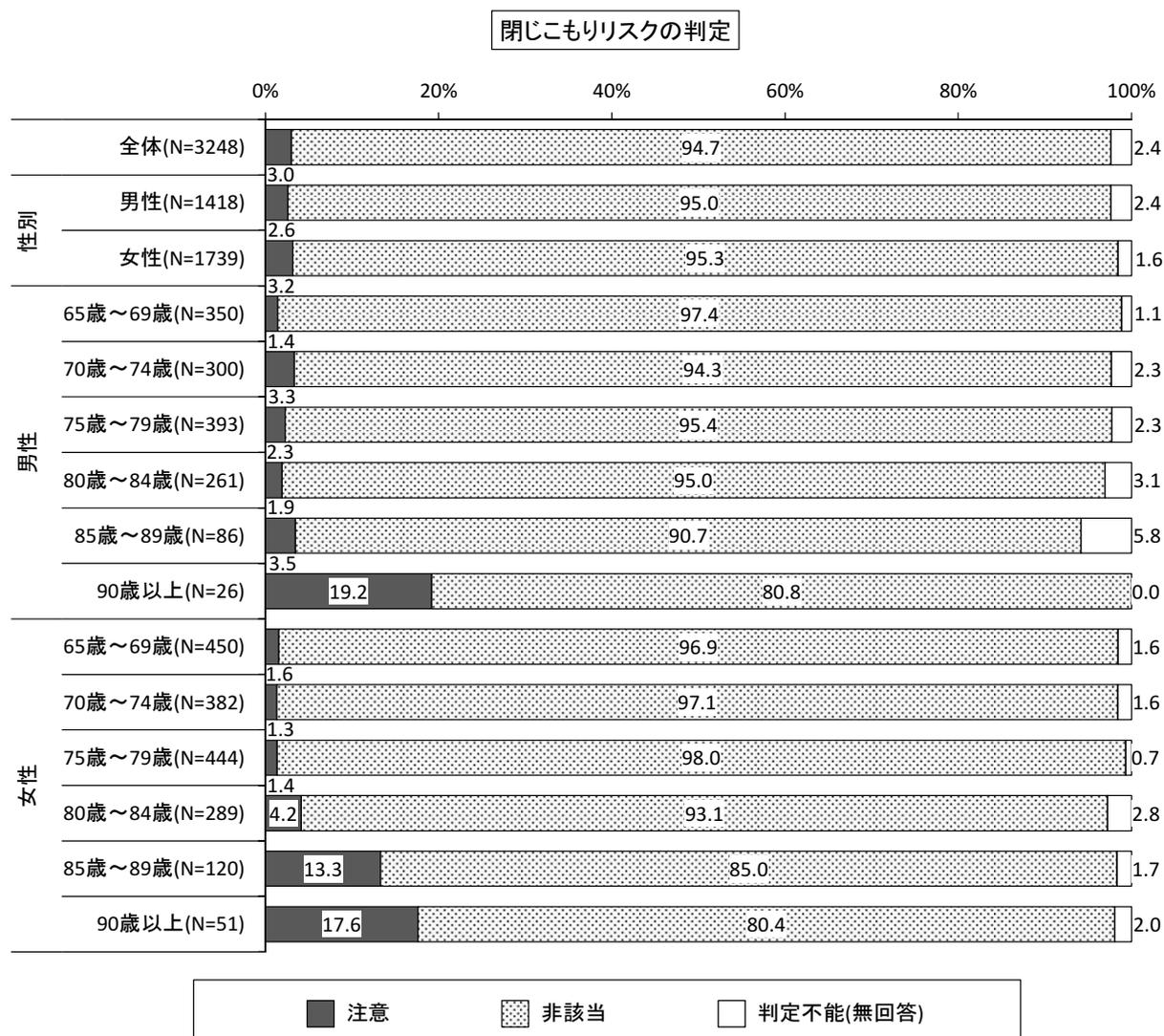
(7) 閉じこもりリスクの判定

■ 閉じこもりリスクの判定・評価

問番号	設問	該当する選択肢
問 2-Q6	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」
判定	該当する選択肢が回答された場合は「注意」	

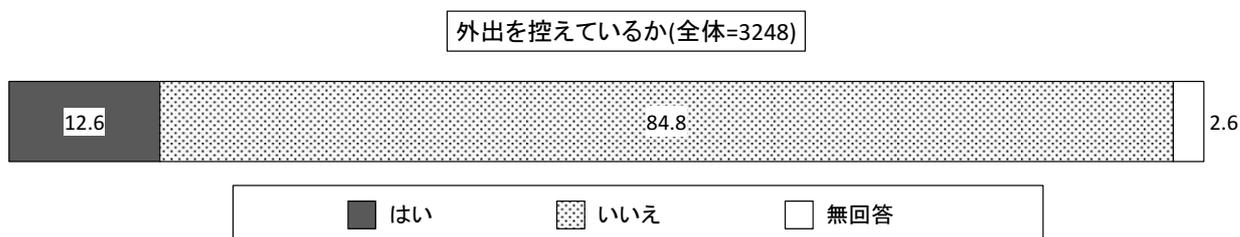
閉じこもりリスクの判定において注意を要する人は、全体では3.0%です。

性別には、あまり大きな差はみられませんが、女性は85～89歳から、男性は90歳以上から注意を要する人の割合が増加しています。



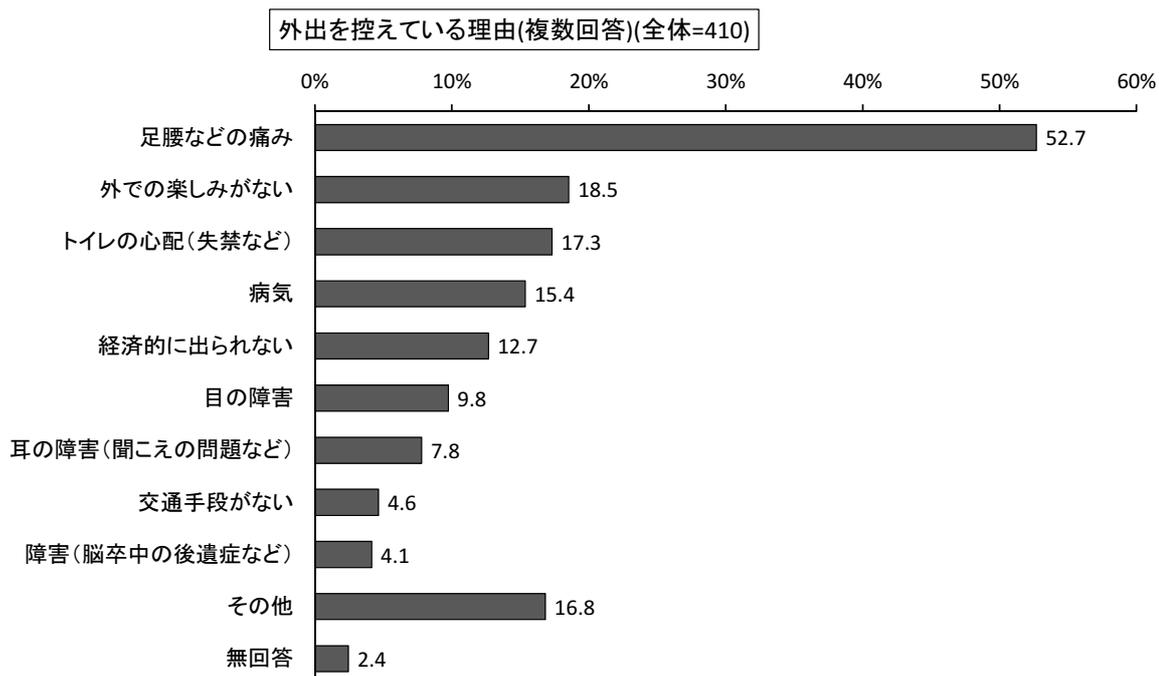
(8) 外出の状況について (Q8)

外出を控えているかをお聞きしたところ、「いいえ」が 84.8%を占めています。



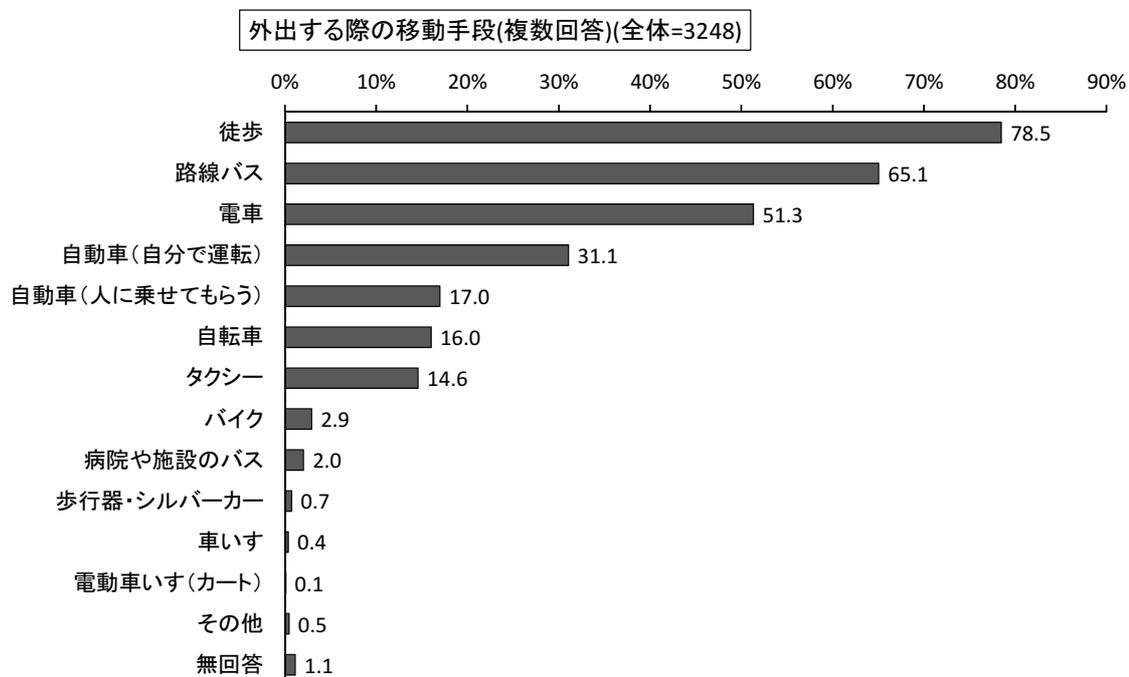
(9) 外出を控えている理由 (Q8-1)

外出を控えている人に、その理由をお聞きしたところ、「足腰などの痛み」52.7%が最も多く、次いで「外での楽しみがない」18.5%、「トイレの心配(失禁など)」17.3%、「病気」15.4%などが続きます。



(10) 外出する際の移動手段 (Q9)

外出する際の移動手段は、全体では、「徒歩」78.5%が最も多く、次いで「路線バス」65.1%、「電車」51.3%、「自動車(自分で運転)」31.1%、「自動車(人に乗せてもらう)」17.0%などが続きます。

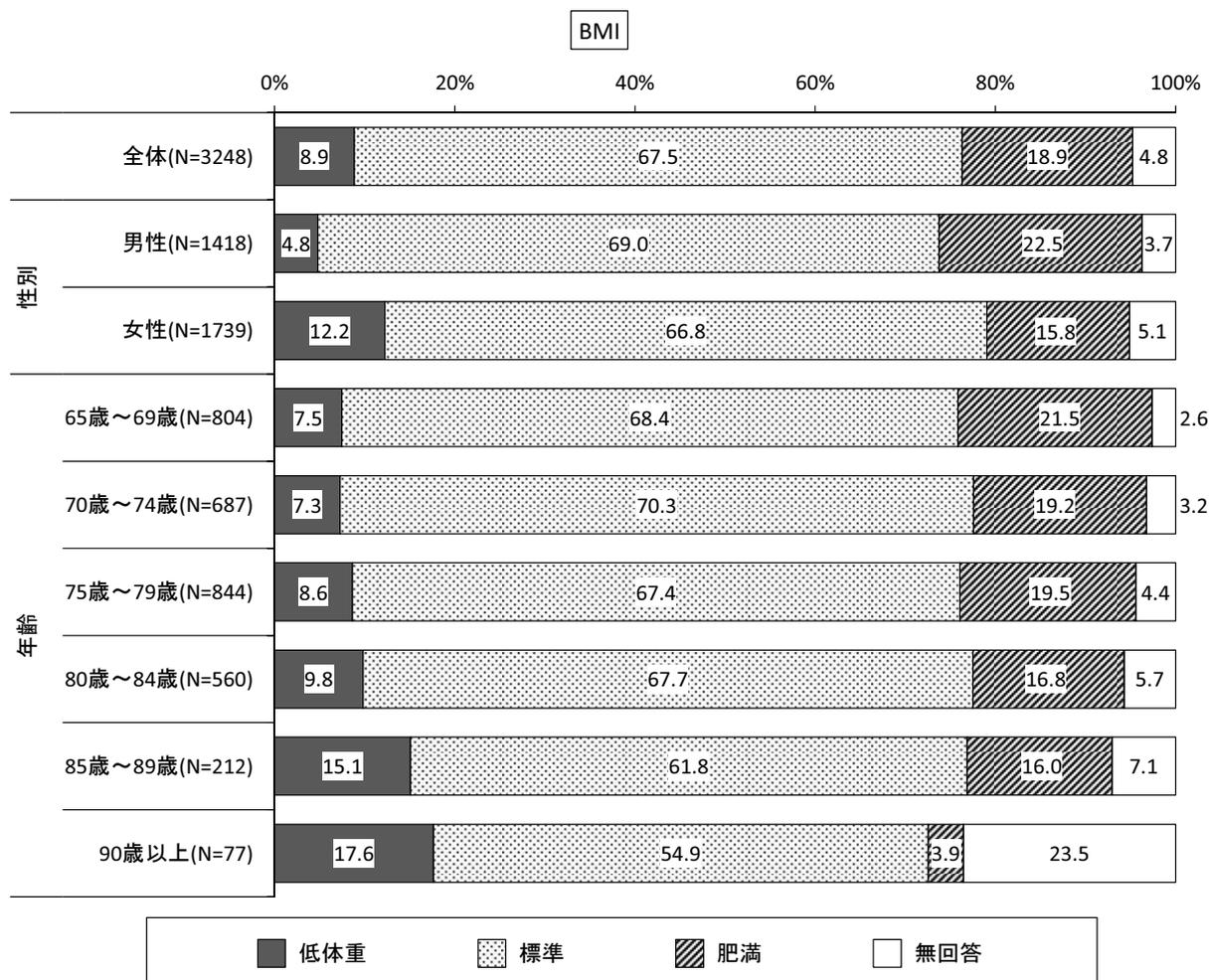


4 食べることについて（問3）

(1) BMI（身長・体重）（Q1）

全体では、「標準」が67.5%を占め、次いで「肥満」18.9%、「低体重」8.9%が続きます。

性別では、男性に比べ女性は「低体重」が目立ち、男性は「肥満」がやや多くなっています。年齢別では、75～79歳以降で「低体重」の割合が増加する傾向がみられます。

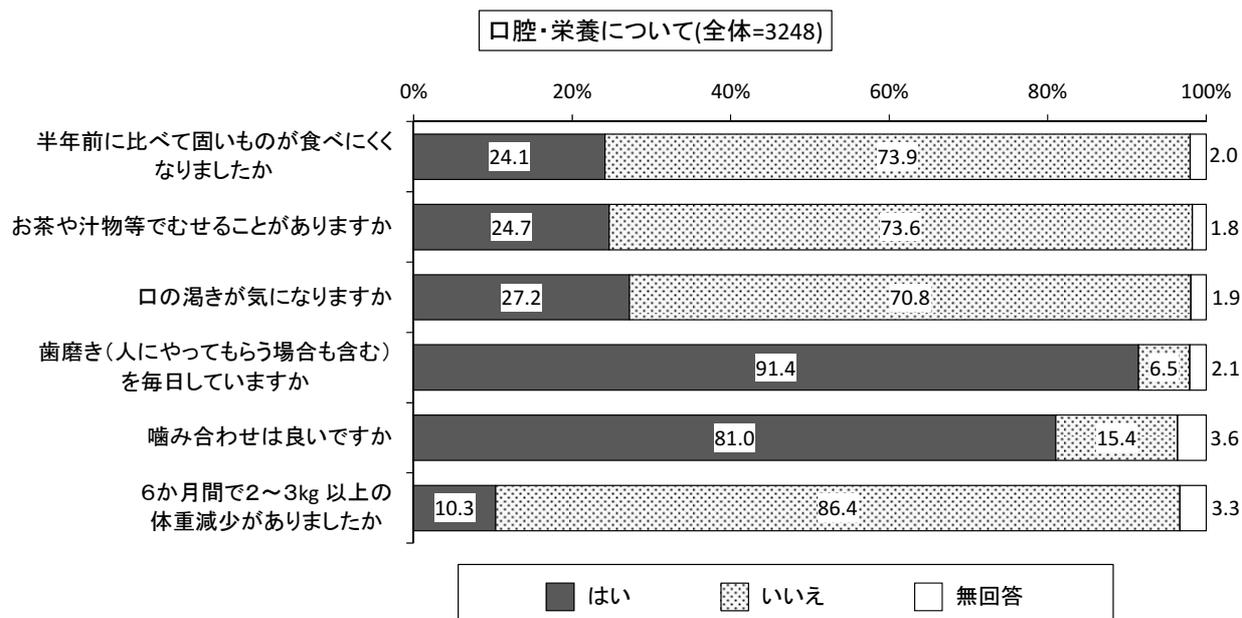


※BMI（体格指数：Body Mass Index）＝体重（kg）÷（身長（m）×身長（m））

一般的には、18.5未満で「低体重」、18.5以上25.0未満で「標準」、25.0以上30.0未満で「肥満」、30.0以上で「高肥満」と判定されます。

(2) 口腔・栄養について (Q2～Q5、Q6-1、Q7)

口腔・栄養について、注意を要する回答の割合は、多い順に「口の渇きが気になりますか」(はい：27.2%)、「お茶や汁物等でむせることがありますか」(はい：24.7%)、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」(はい：24.1%)、「噛み合わせは良いですか」(いいえ：15.4%)、「この6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」(はい：10.3%)、「歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか」(いいえ：6.5%)となっています。



(3) 栄養リスクの判定

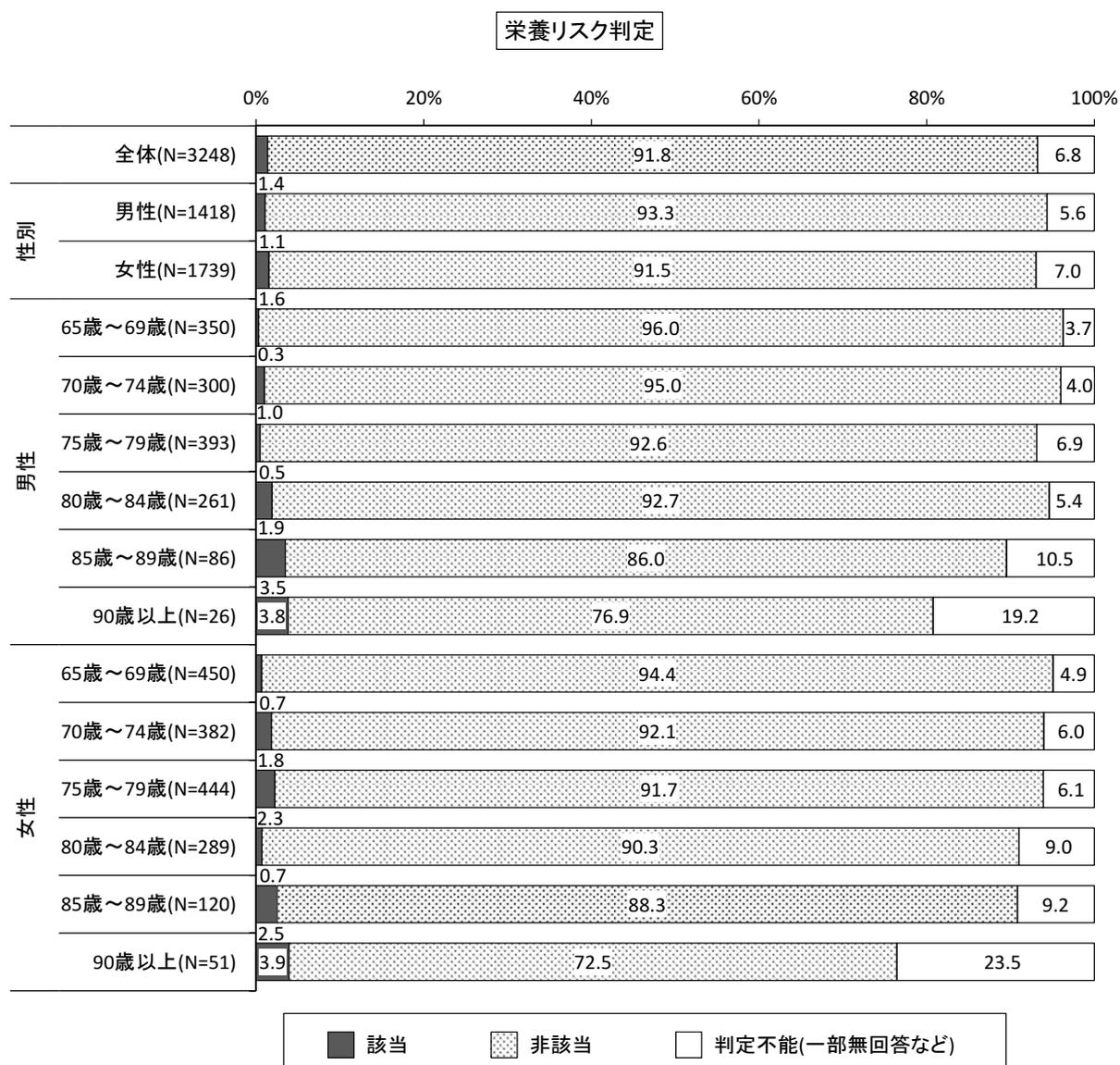
■ 栄養リスクの判定・評価

問番号	設問	該当する選択肢
問3-Q7	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」
問3-Q1	身長（ ）cm、体重（ ）kg	BMI<18.5
判定	全てで該当する選択肢が回答された場合は「該当」	

栄養リスクの判定において該当した人（低栄養で改善を要する人）は、全体では1.4%です。

性別には、あまり大きな差はみられません。

年齢別には、85～89歳以上で高くなる傾向がみられます。



(4) 口腔機能リスクの判定

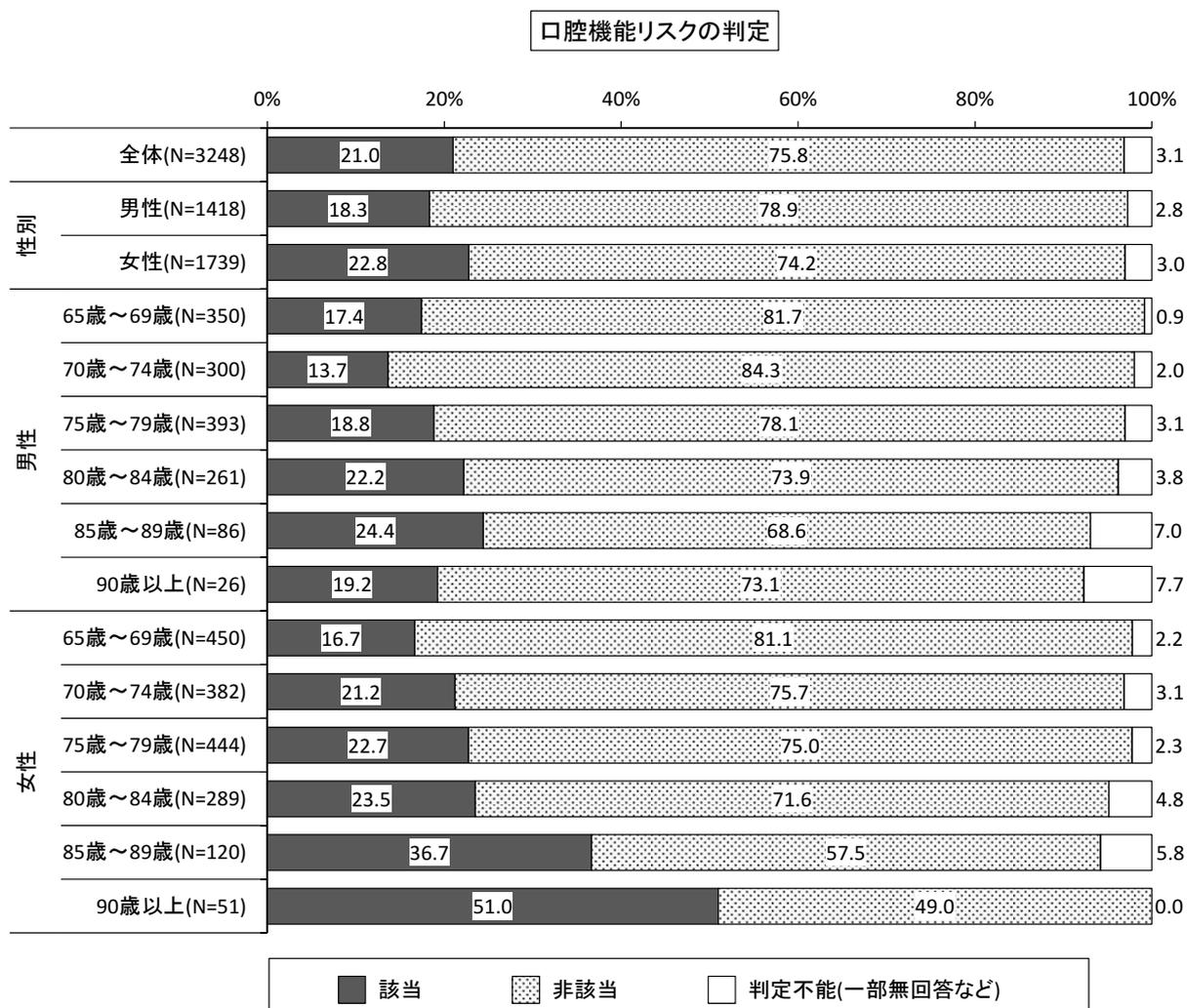
■ 口腔機能リスクの判定・評価

問番号	設問	該当する選択肢
問3-Q2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」
問3-Q3	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」
問3-Q4	口の渇きが気になりますか	「1. はい」
判定	2問以上該当する選択肢が回答された場合は「該当」	

口腔機能リスクの判定において該当した人（口腔機能が低下している人）は、全体では21.0%です。前回調査（平成26年度）16.4%より該当者が増加しています。

性別には、女性がやや高い傾向がみられます。

年齢別には、男女ともに年齢が上がるにつれてリスク該当者の割合が高くなる傾向にあり、特に女性は、90歳以上で51.0%に達します。

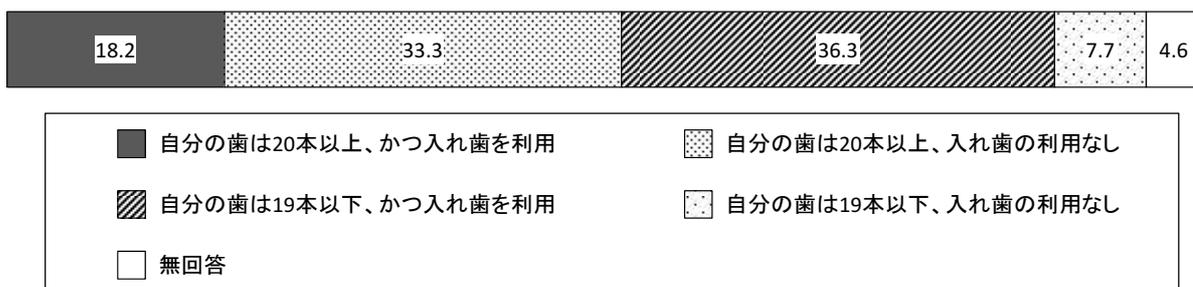


(5) 歯の数と入れ歯の利用状況について (Q6)

歯の数と入れ歯の利用状況をお聞きしたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」36.3%が最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」33.3%が続きます。

「入れ歯を利用」と答えた人を合わせると54.5%となっています。

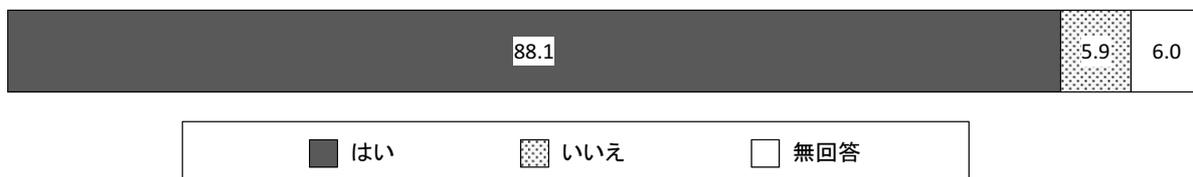
歯の数と入れ歯の利用状況(全体=3248)



(6) 入れ歯の手入れについて (Q6-2)

入れ歯を利用している人に、毎日入れ歯の手入れをしているかをお聞きしたところ、「はい」が88.1%で、「いいえ」は5.9%となっています。

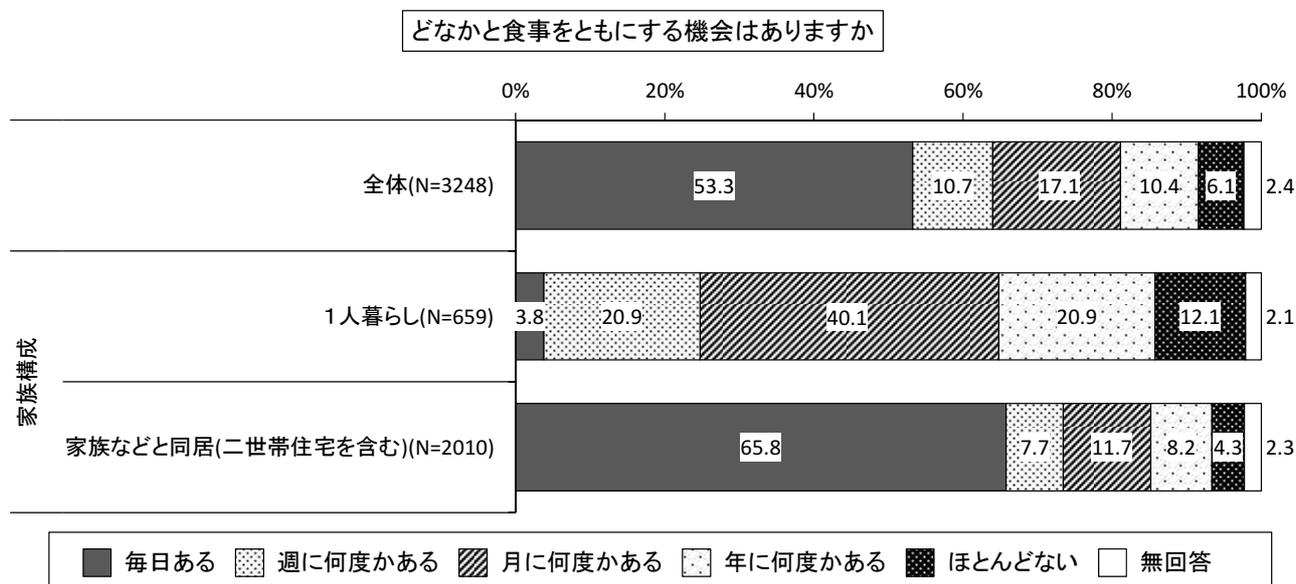
毎日入れ歯の手入れをしていますか(全体=1769)



(7) 食事をとともにする機会 (Q8)

全体では「毎日ある」が53.3%を占めています。

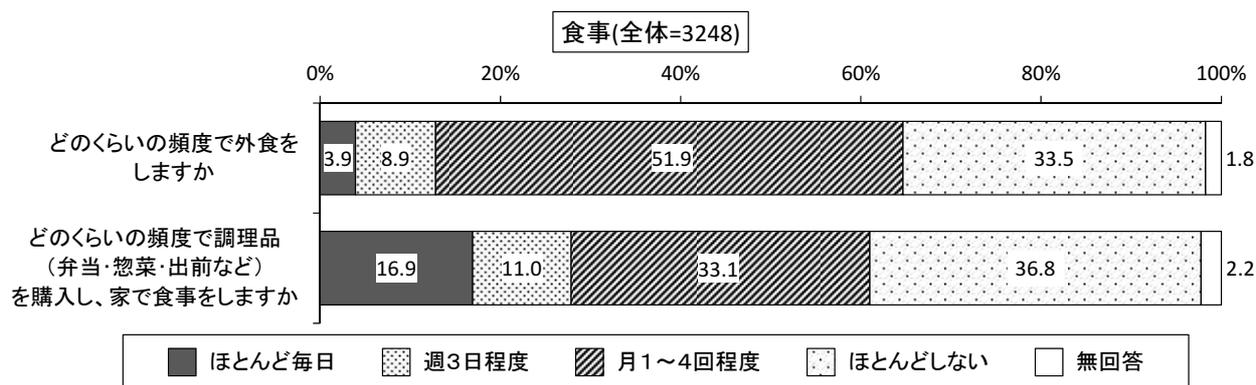
家族構成別には、「1人暮らし」では「月に何度かある」が40.1%と最も多く、「毎日ある」と「週に何度かある」は合わせて24.7%となっています。



(8) 食事について (Q9、Q10)

外食と調理品購入の頻度についてお聞きしたところ、「ほとんど毎日」は、「調理品の購入」で16.9%、「外食」で3.9%となっています。

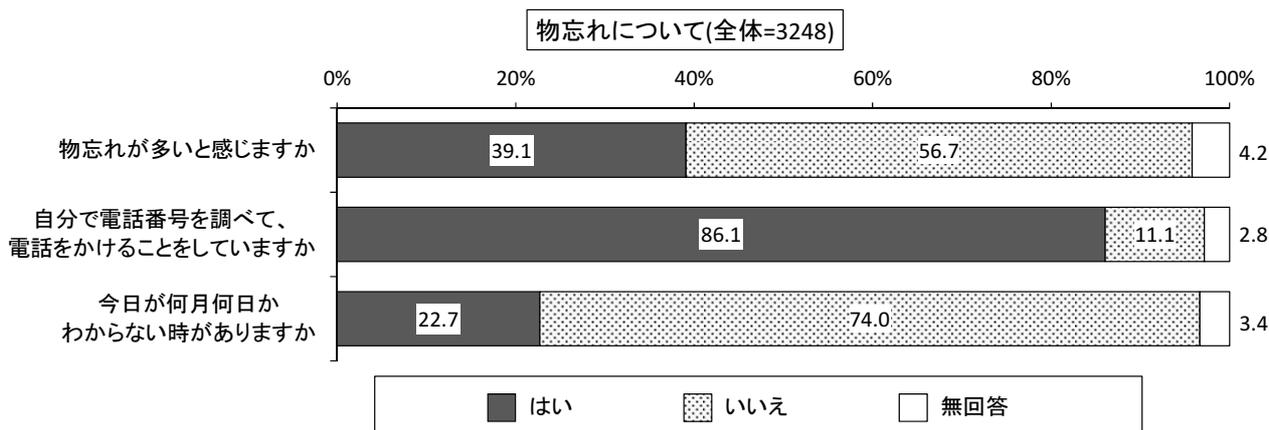
外食、調理品の購入を「ほとんどしない」はともに3割を超えています。



5 毎日の生活について（問4）

(1) 認知機能の低下について（Q1～3）

認知機能の低下について、注意を要する回答の割合は、多い順に「物忘れが多いと感じますか」（はい：39.1%）、「今日が何月何日かわからない時がありますか」（はい：22.7%）、「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」（いいえ：11.1%）、となっています。



(2) 認知症リスクの判定

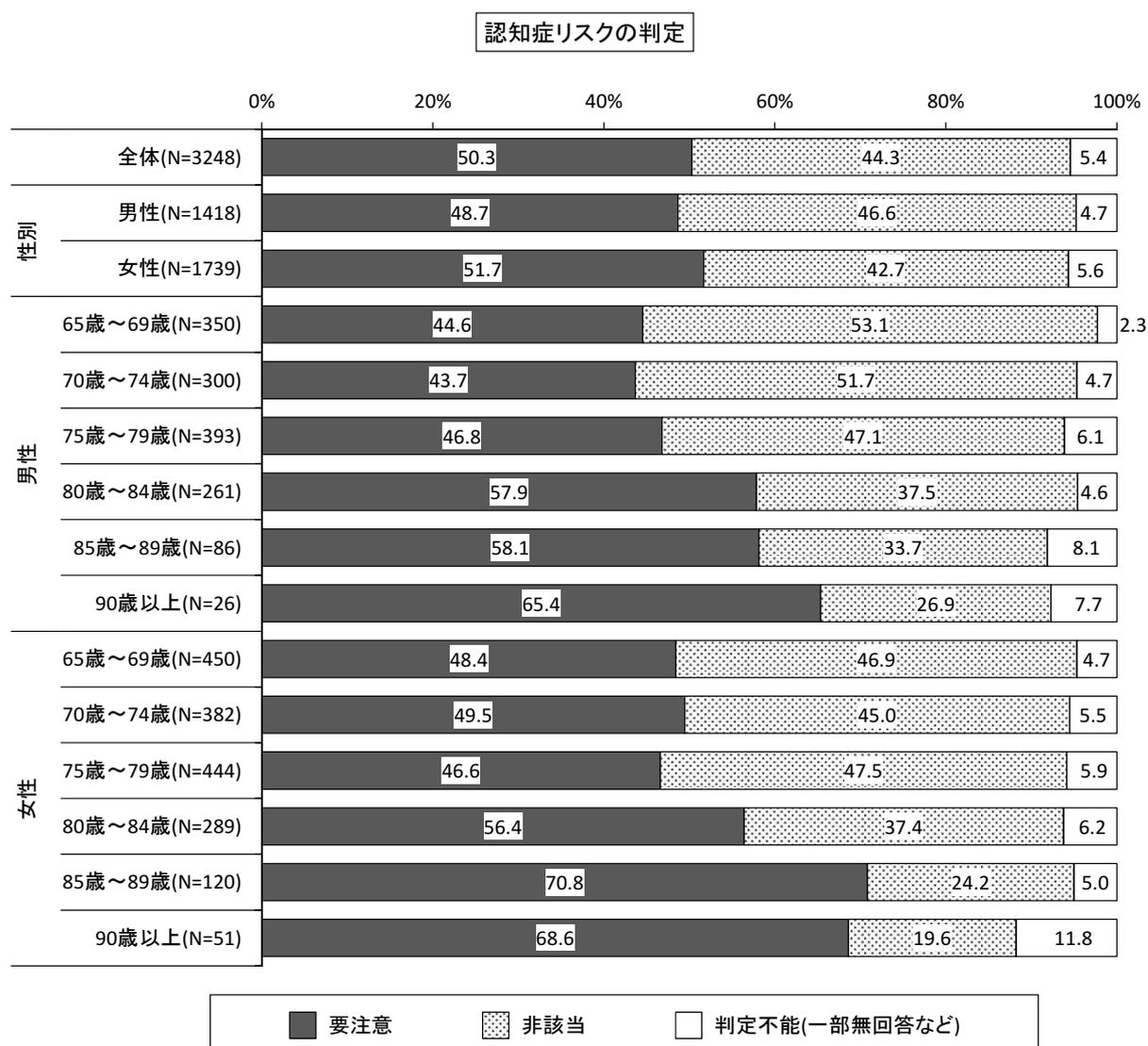
■ 認知症リスクの判定・評価

問番号	設問	該当する選択肢
問4-Q1	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」
問4-Q2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」
問4-Q3	今日が何月何日かわからない時がありますか	「1. はい」
判定	1問以上、該当する選択肢が回答された場合は「要注意」	

認知症リスクの判定において注意を要する人（認知機能の低下がみられる人）は、全体では50.3%です。

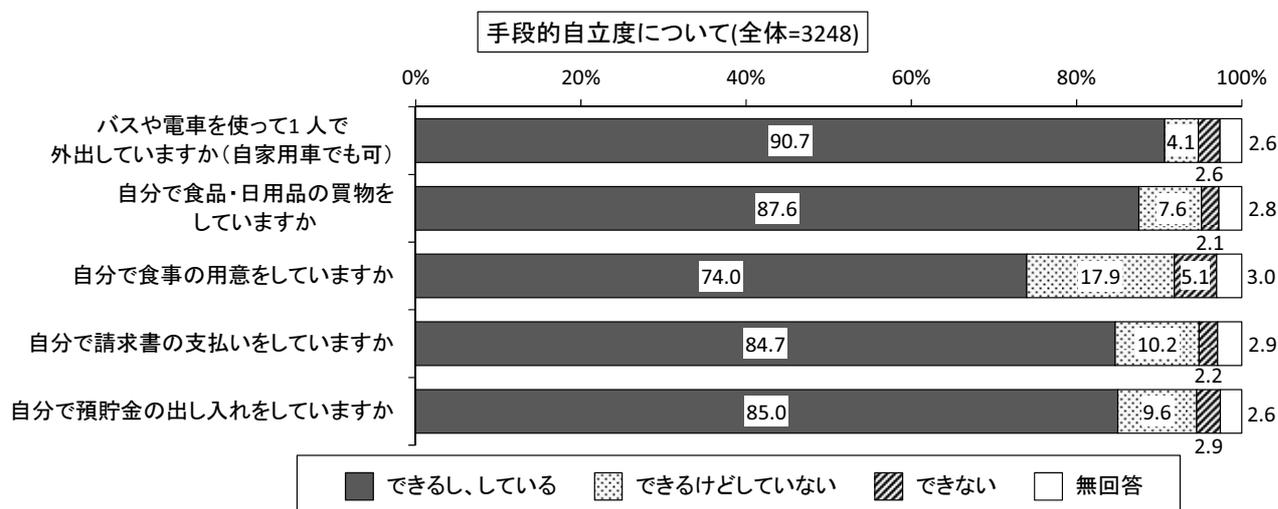
性別では、男性に比べ女性で注意を要する人の割合がわずかに高くなっています。

男女とも、年齢が上がるにつれ注意を要する人の割合が増加する傾向にあり、80～84歳より50%を超えています。



(3) 手段的自立度について (Q4~8)

手段的自立度について、注意を要する回答（「できるけどしていない」、「できない」の合計）の割合は、多い順に「自分で食事の用意をしていますか」23.0%、「自分で請求書の支払いをしていますか」12.4%、「自分で預貯金の出し入れをしていますか」12.5%、「自分で食品・日用品の買物をしていますか」9.7%、「バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）」6.7%となっています。



(4) 手段的自立度 (IADL) 判定

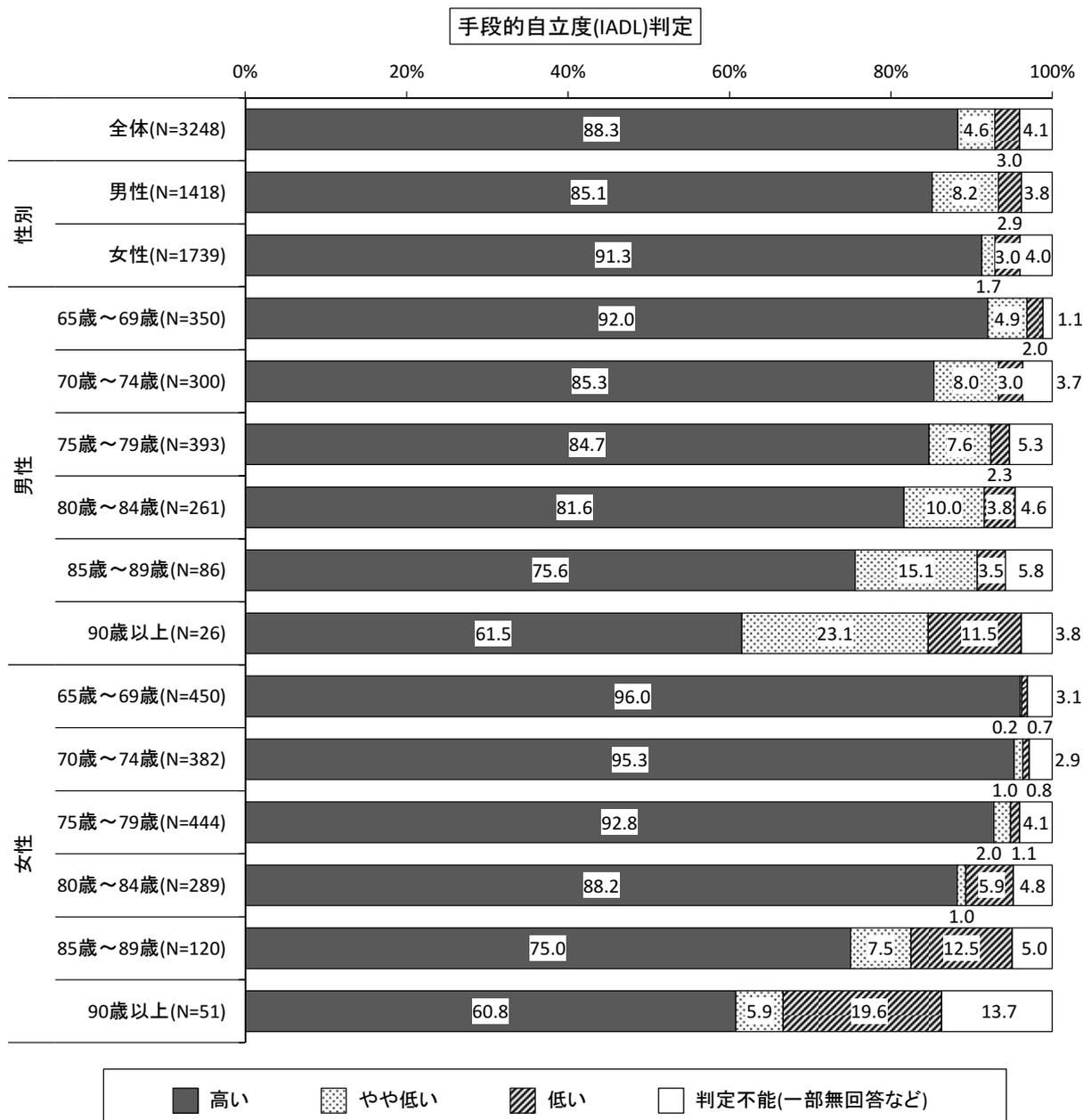
■ 手段的自立度(IADL)の判定・評価

問番号	設問	該当する選択肢
問4-Q4	バスや電車で1人で外出していますか(自家用車でも可)	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」1点
問4-Q5	食品・日用品の買物をしていますか	
問4-Q6	自分で食事の用意をしていますか	
問4-Q7	請求書の支払いをしていますか	
問4-Q8	預貯金の出し入れをしていますか	
判定	5点：高い 4点：やや高い 0～3点：低い	

※ IADLは、手段的日常生活動作(Instrumental Activities of Daily Living)の略で、「乗り物利用」「買い物」「食事の用意」「金銭管理」など日常生活を送るための応用的な動作から高齢者の手段的自立度を図る指標。

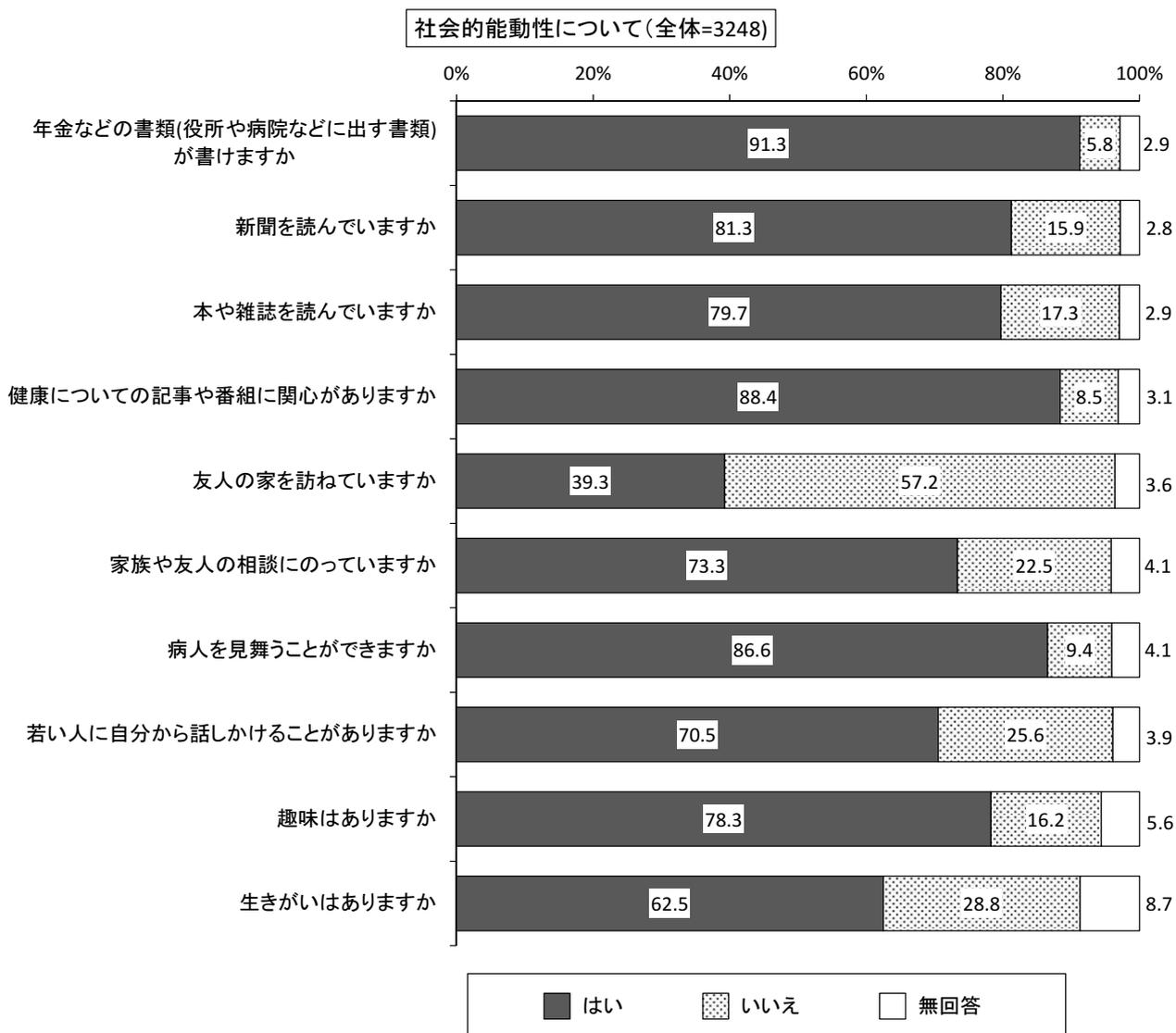
手段的自立度の判定において自立度が「低い」と判定された人は、全体では3.0%です。

性別には、あまり大きな差はみられませんが、男女とも、年齢が上がるにつれ「高い」から「低い」へと移行する傾向があり、90歳以上では「高い」が約6割となっています。



(5) 社会的能動性について (Q9~18)

社会的能動性について、注意を要する回答(いいえ)の割合は、多い順に「友人の家を訪ねていますか」57.2%、「生きがいはありますか」28.8%、「若い人に自ら話しかけることがありますか」25.6%、「家族や友人の相談に乗っていますか」22.5%、「本や雑誌を読んでいますか」17.3%、「趣味はありますか」16.2%、「新聞を読んでいますか」15.9%、「病人を見舞うことができますか」9.4%、「健康についての記事や番組に関心がありますか」8.5%、「年金などの書類が書けますか」5.8%となっています。

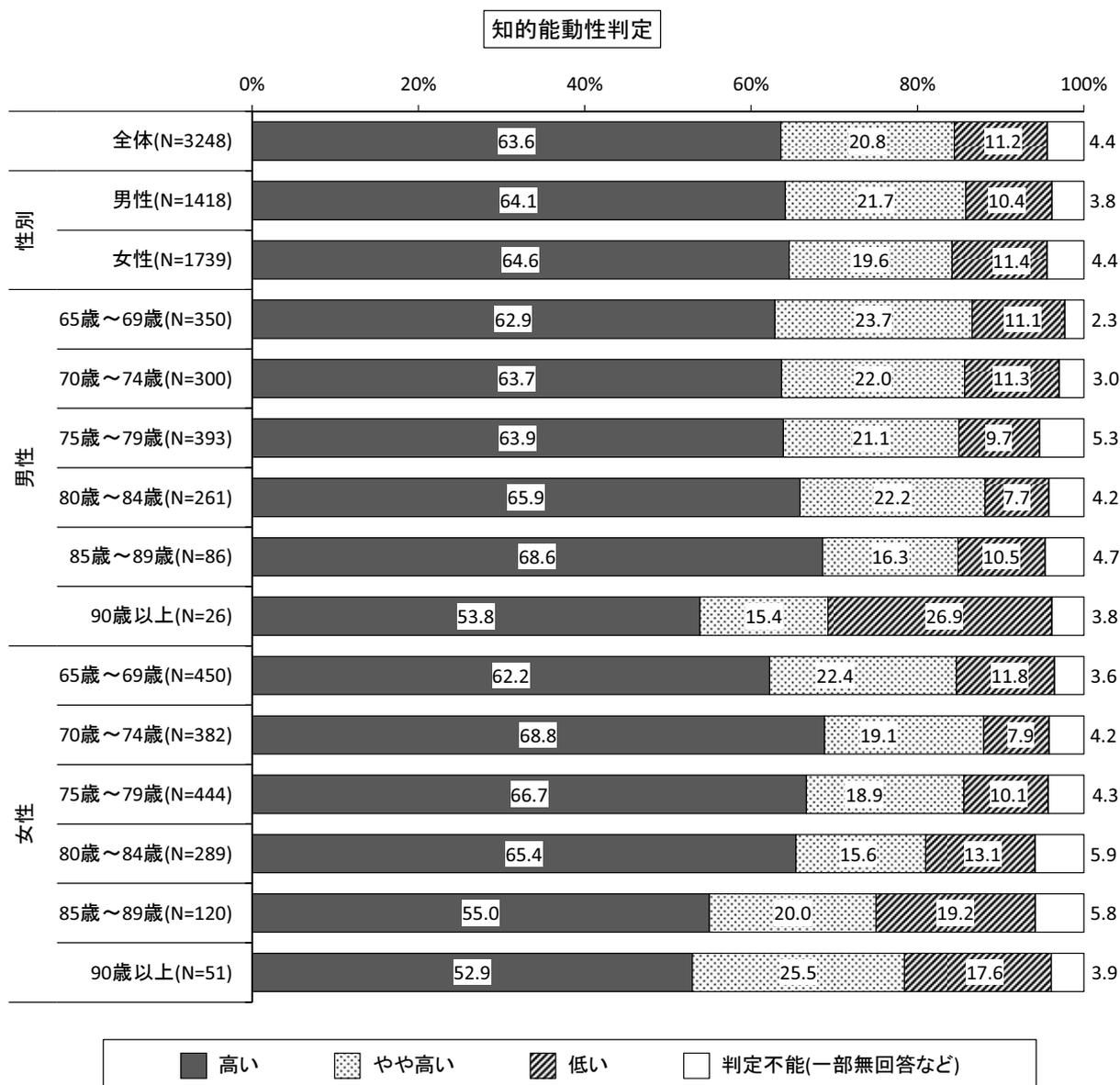


(6) 知的能動性判定

■ 知的能動性の判定・評価

問番号	設問	該当する選択肢
問4-Q9	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「1. はい」1点
問4-Q10	新聞を読んでいますか	
問4-Q11	本や雑誌を読んでいますか	
問4-Q12	健康についての記事や番組に関心がありますか	
判定	4点：高い 3点：やや高い 0～2点：低い	

知的能動性の判定において「低い」と判定された人は、全体では11.2%です。女性では80～84歳から、「低い」と判定された人の割合が高くなる傾向があります。男性では90歳以上から、「低い」と判定された人の割合が急増しています。

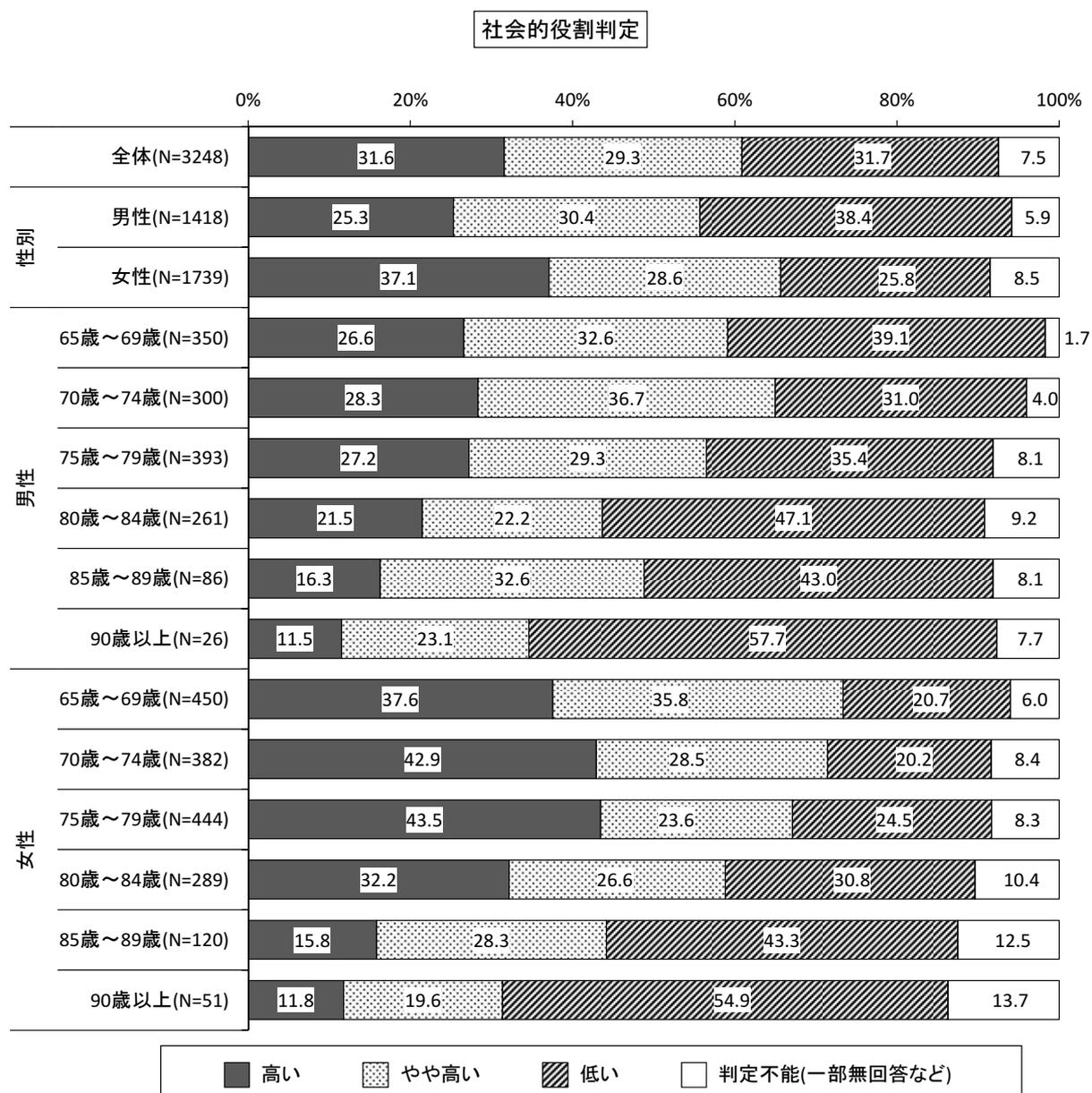


(7) 社会的役割判定

■ 社会的役割の判定・評価

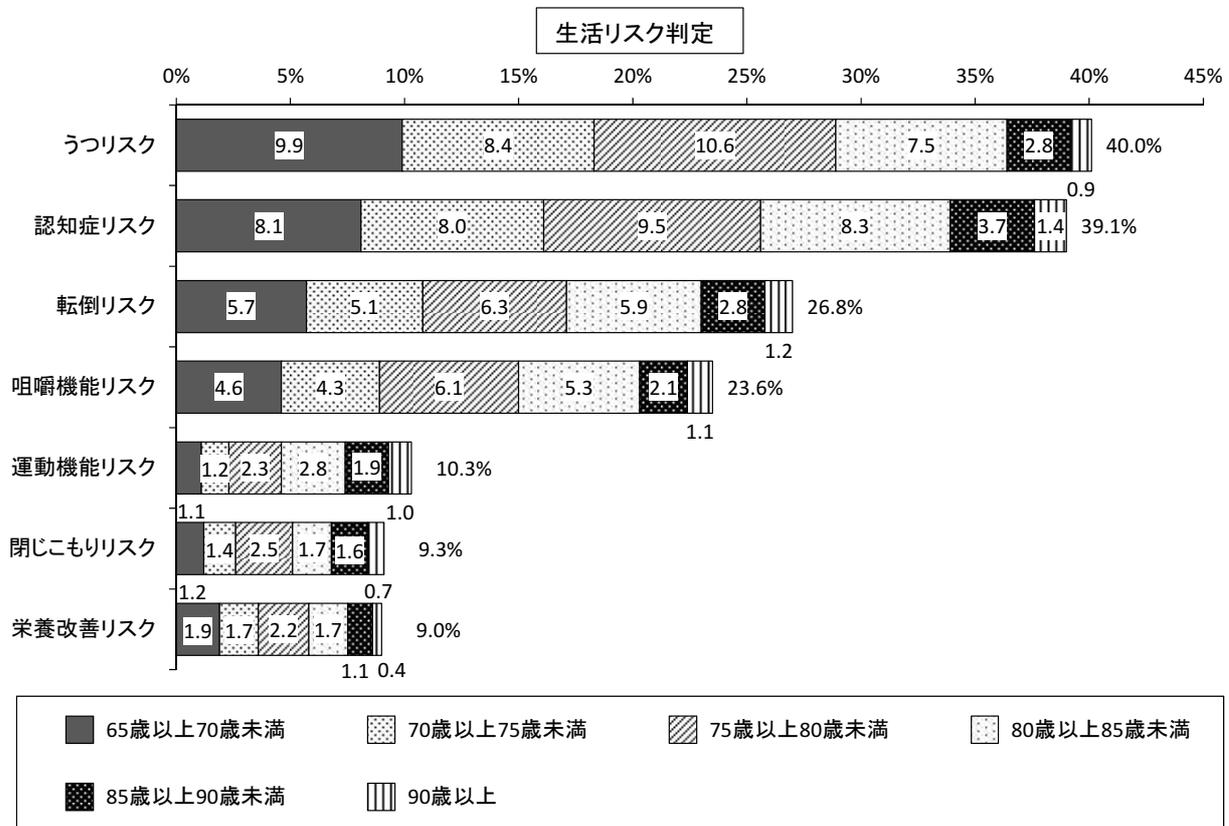
問番号	設問	該当する選択肢
問4-Q13	友人の家を訪ねていますか	「1. はい」1点
問4-Q14	家族や友人の相談にのっていますか	
問4-Q15	病人を見舞うことができますか	
問4-Q16	若い人に自分から話しかけることがありますか	
判定	4点：高い 3点：やや高い 0～2点：低い	

社会的役割の判定において「低い」と判定された人は、全体では31.7%です。性別には、女性に比べ男性で「低い」の割合が高くなっています。男女とも年齢が上がるにつれ「低い」と判定された人の割合が高くなる傾向にあり、男女とも90歳以上では5割を超えています。



(8) 生活リスク判定

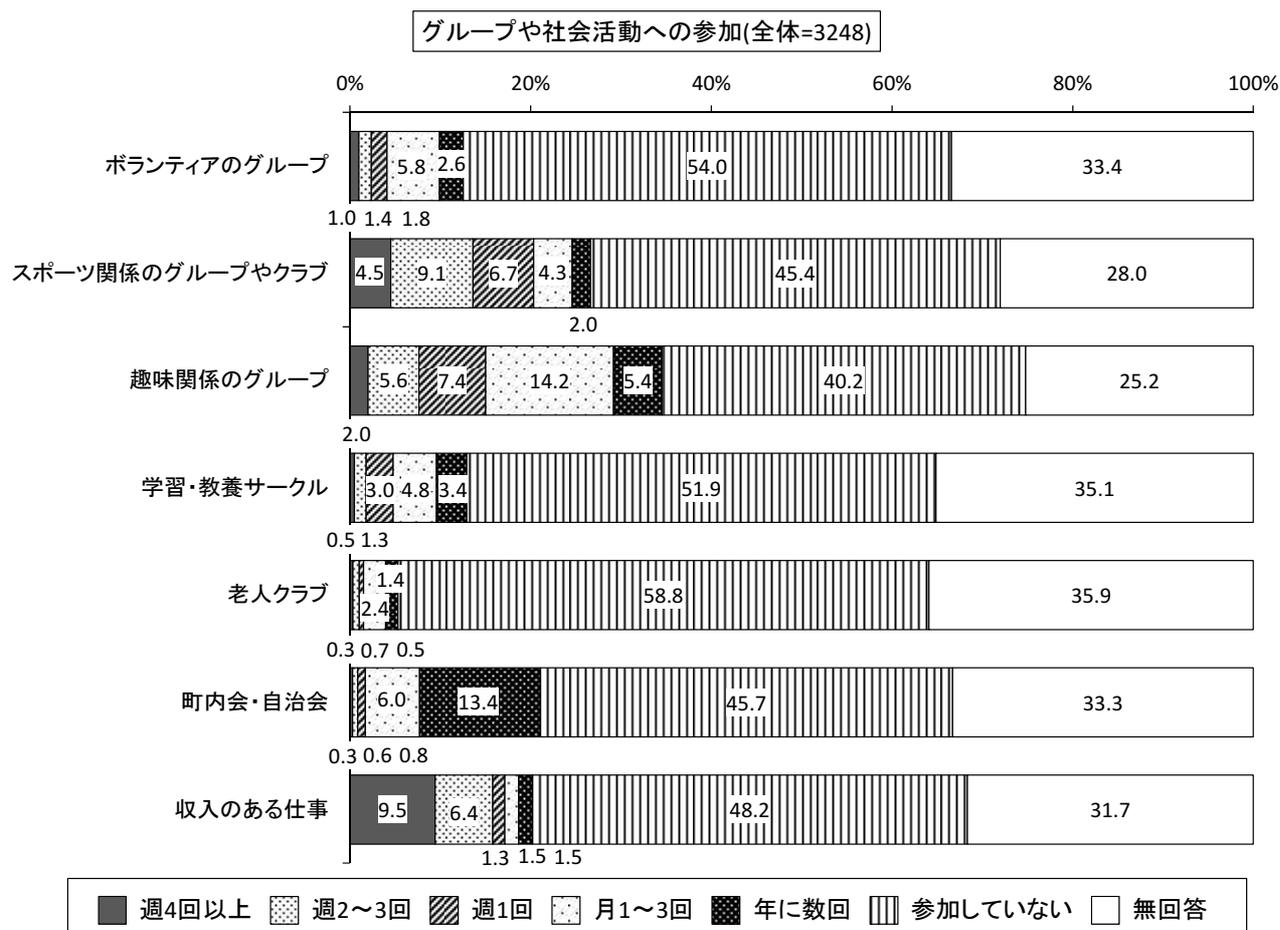
問7のQ3～Q4、問4のQ1～3等の回答を国から提供された「見える化システム」にて分析した結果、「うつリスク」40.0%が最も高く、次いで「認知症リスク」39.1%、「転倒リスク」26.8%、「咀嚼機能リスク」23.6%が続きます。



6 地域での活動について（問5）

(1) グループや社会活動への参加について（Q1-1~7）

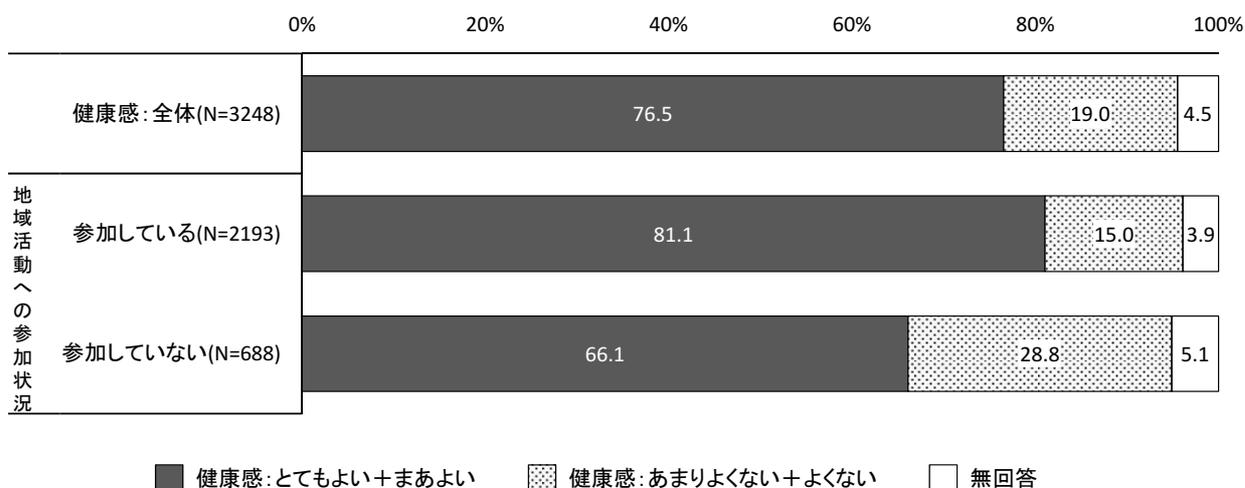
グループや社会活動への参加については、週4回以上～年に数回を合わせた参加している割合が高い活動は、多い順に「趣味関係のグループ」34.6%、「スポーツ関係のグループやクラブ」26.6%、「町内会・自治会」21.1%、「収入のある仕事」20.2%、「学習・教養サークル」13.0%などが続きます。



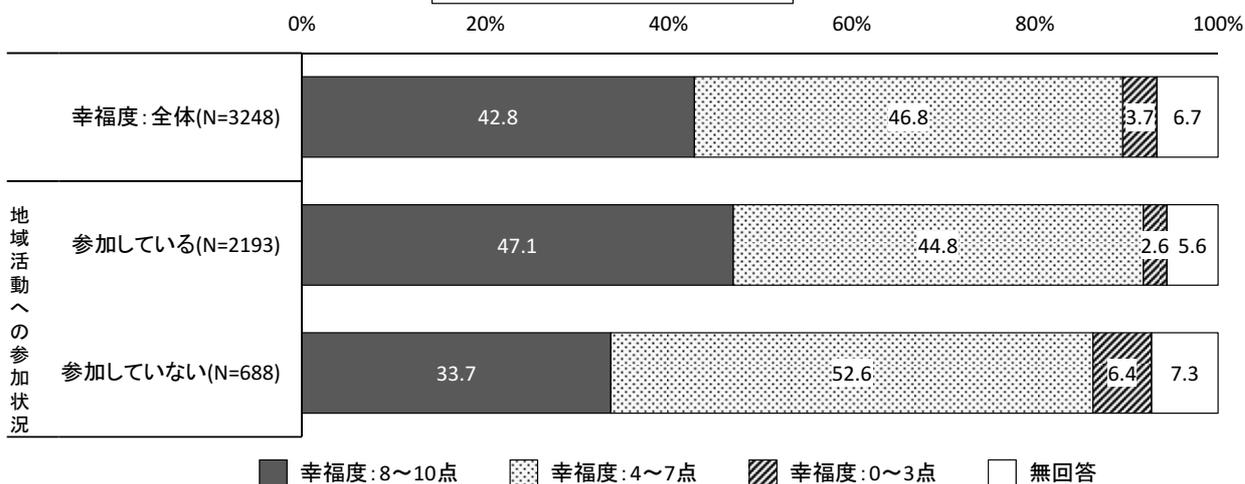
(2) 健康感や幸福度と地域活動への参加状況について

地域活動への参加を、健康感（38 ページ参照）や幸福度（39 ページ参照）別にみると、地域活動に「参加している」人は、健康感では「とてもよい」「まあよい」と答えた人の合計が 81.1%、幸福度は「8 点」から「10 点」と答えた人の合計が 47.1%と、健康感、幸福度ともに「参加している」と答えた人の方が高くなっています。

健康感とグループや社会活動への参加状況



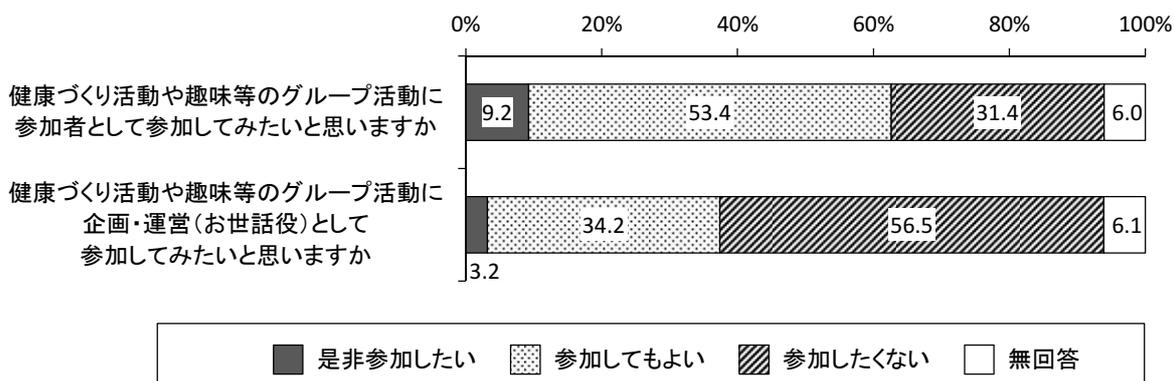
幸福度と地域活動への参加状況



(3) 地域づくり活動への参加について (Q2~3)

健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、地域づくりを進めるとしたら、参加してみたいかをお聞きしたところ、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると、「参加者として」は 62.6%、「企画・運営(お世話役)として」は 37.4%となっています。

地域づくり活動への参加(全体=3248)



7 たすけあいについて（問6）

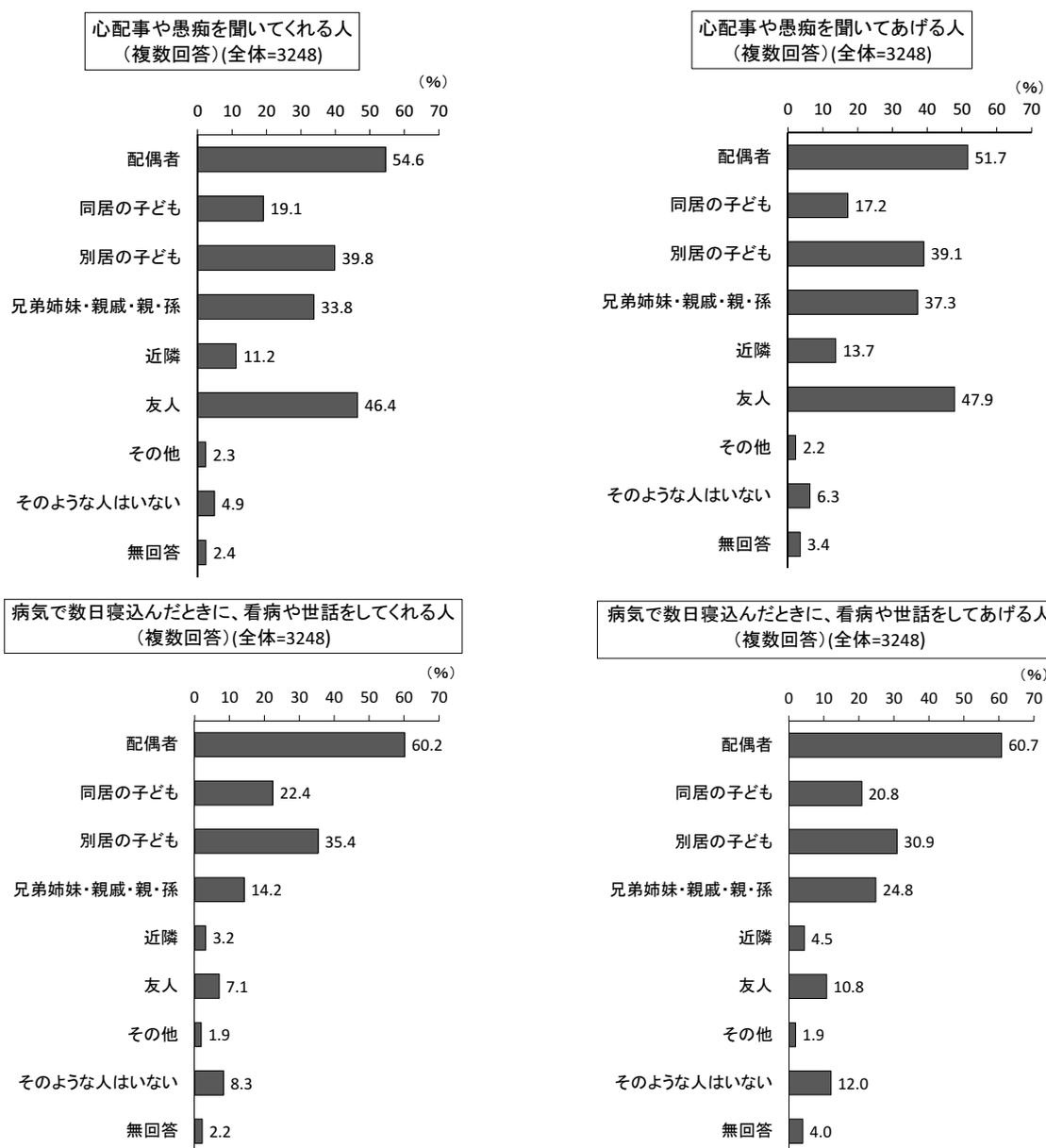
(1) たすけあいについて（Q1～4）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「配偶者」54.6%が最も多く、次いで「友人」46.4%、「別居の子ども」39.8%が続きます。

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人も順序は同様となっており、「配偶者」51.7%が最も多く、次いで「友人」47.9%、「別居の子ども」39.1%が続きます。

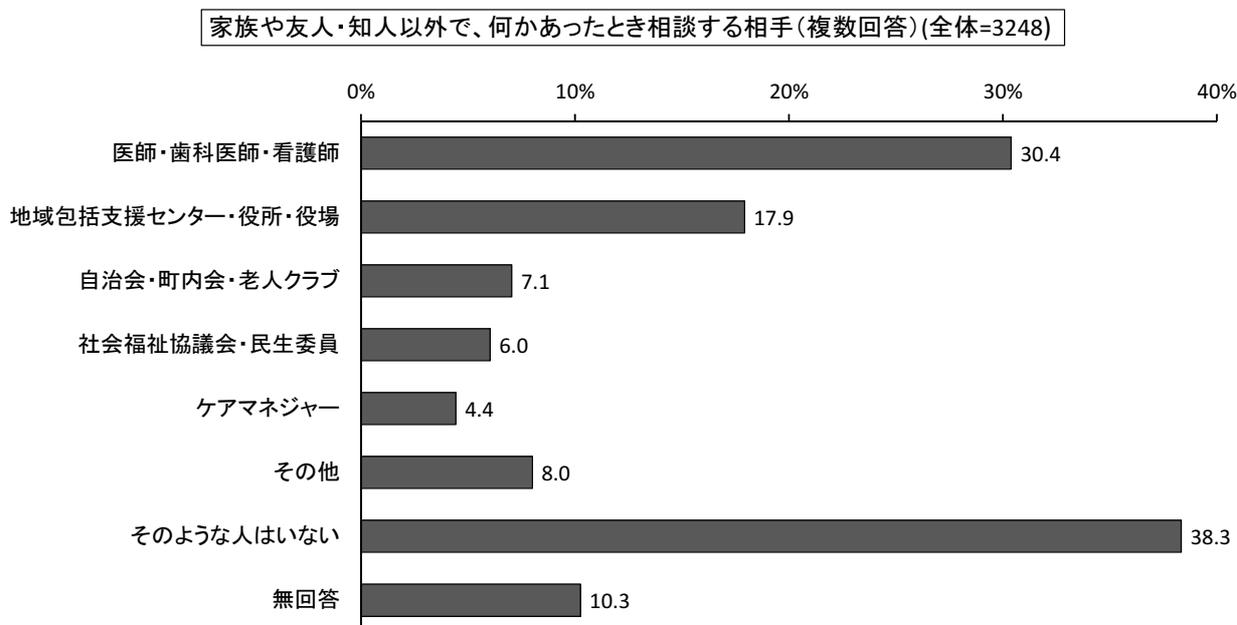
病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」60.2%が最も多く、次いで「別居の子ども」35.4%、「同居の子ども」22.4%が続きます。

反対に、看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」60.7%が最も多く、次いで「別居の子ども」30.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」24.8%が続きます。



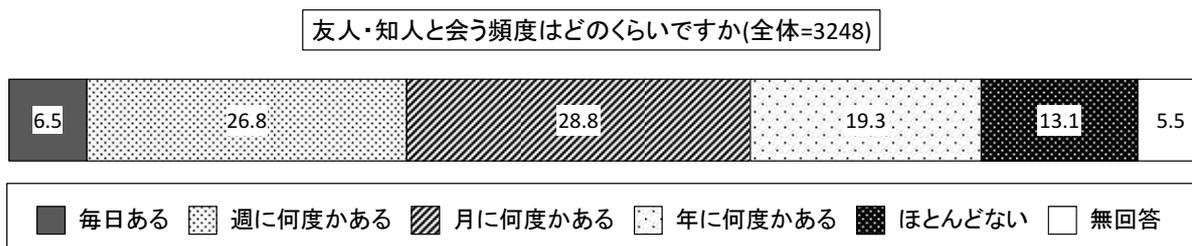
(2) 何かあったときに相談する相手 (Q5)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「そのような人はいない」38.3%が最も多くなっています。相談する相手としては「医師・歯科医師・看護師」が30.4%と多く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」17.9%が続きます。



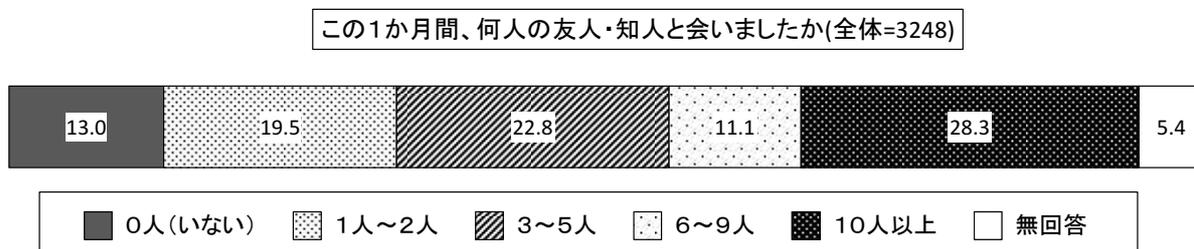
(3) 友人・知人と会う頻度 (Q6)

友人・知人と会う頻度は、全体では年数回を含め会っている人は81.4%で、「ほとんどない」は13.1%となっています。



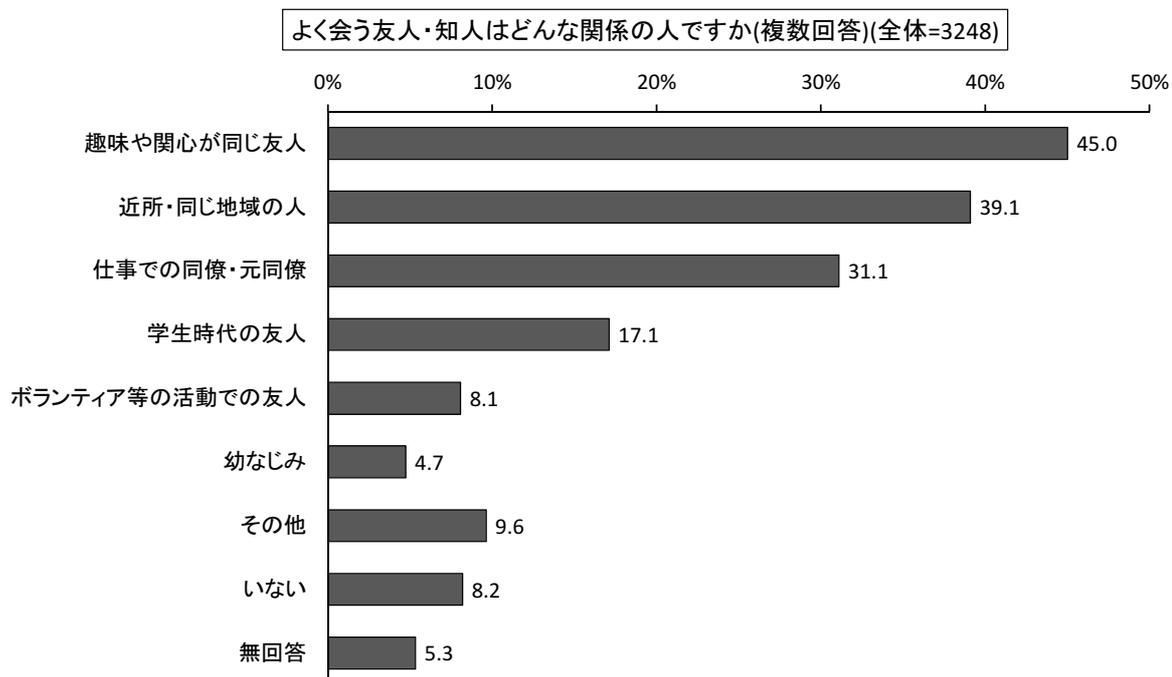
(4) この1か月の友人・知人と会った人数 (Q7)

この1か月の友人・知人と会った人数は、いない～10人以上まで回答は分散していますが、「10人以上」が28.3%と最も多く、次いで「3～5人」22.8%が続きます。



(5) よく会う友人・知人の関係 (Q8)

よく会う友人・知人の関係は、「趣味や関心が同じ友人」45.0%が最も多く、次いで「近所・同じ地域の人」39.1%、「仕事での同僚・元同僚」31.1%が続きます。



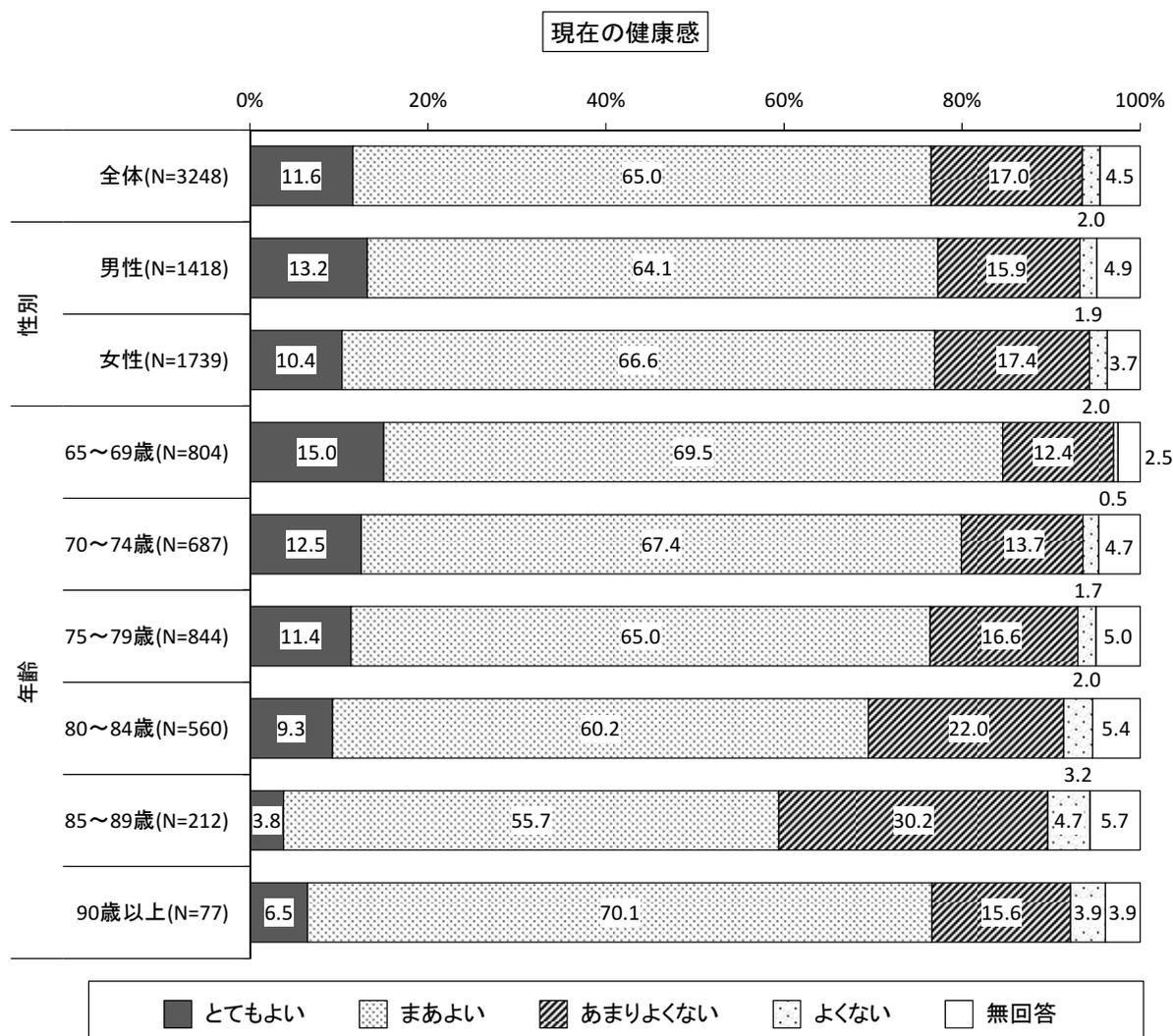
8 健康について（問7）

(1) 健康感について（Q1）

ご自身の健康への評価については、全体では「まあよい」が最も多く65.0%を占め、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“健康”は76.6%となっています。

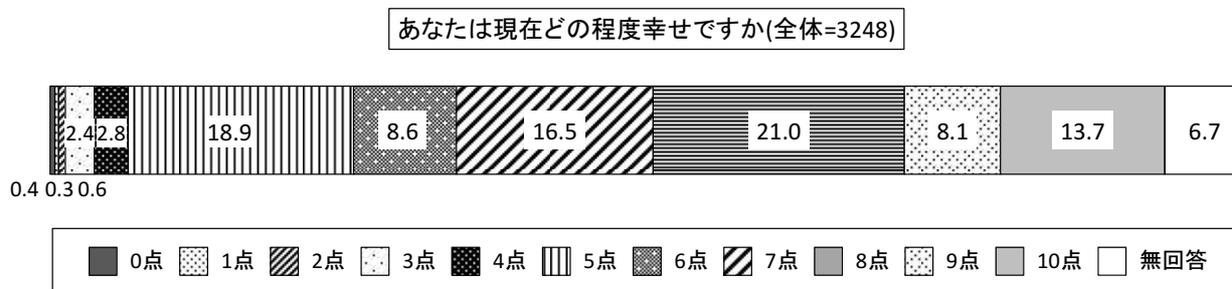
性別にはあまり大きな差はみられません。

年齢別には、年齢が上がるにつれ、おおむね“健康”が低下する傾向にあります。



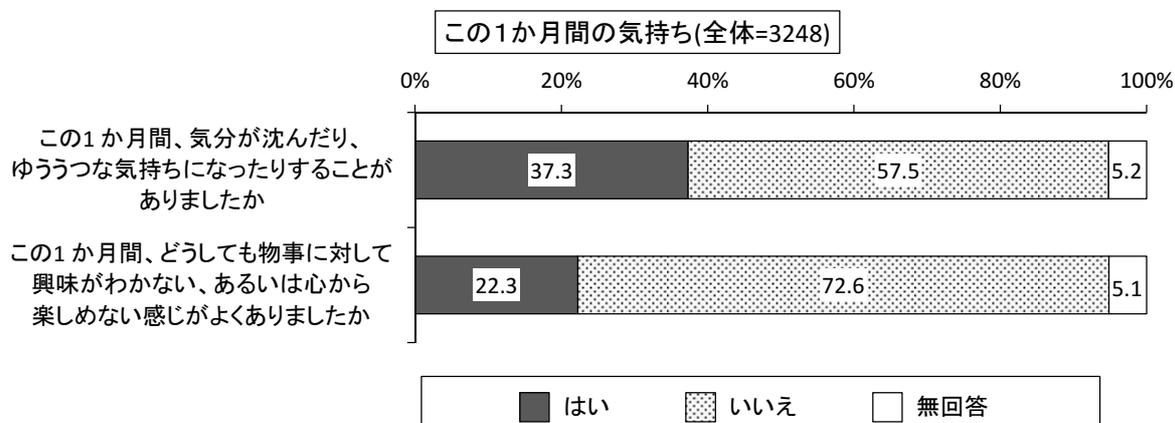
(2) 幸福度について (Q2)

現在どの程度幸せと感じるか (とても不幸を 0 点、とても幸せを 10 点として回答) については、5 点～10 点を合わせると 86.8%、8～10 点では 42.8% となっています。また、無回答を除いた回答の平均は 7.07 点でした。



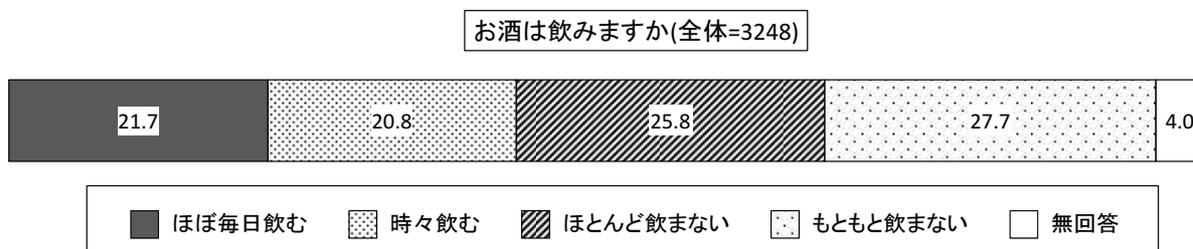
(3) この1か月の気持ちについて (Q3、Q4)

この1か月の気持ちについて、注意を要する回答 (はい) の割合は、「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたことがありますか」37.3%、「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」22.3%となっています。



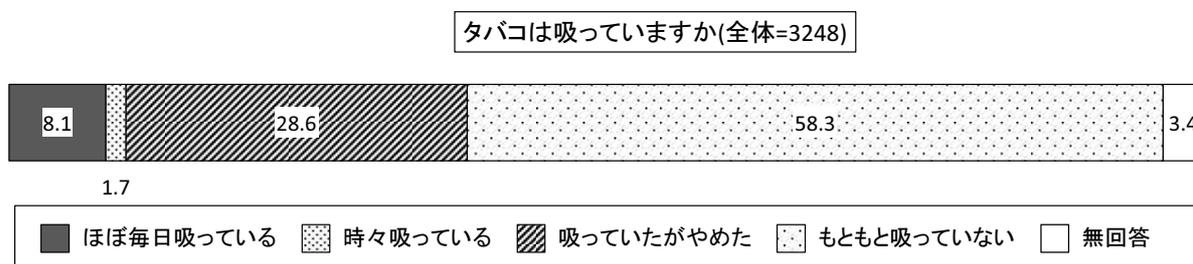
(4) 飲酒 (Q5)

飲酒の習慣については、全体では、「もともと飲まない」が27.7%と多く、「ほとんど飲まない」25.8%を合わせると5割を超えています。



(5) 喫煙 (Q6)

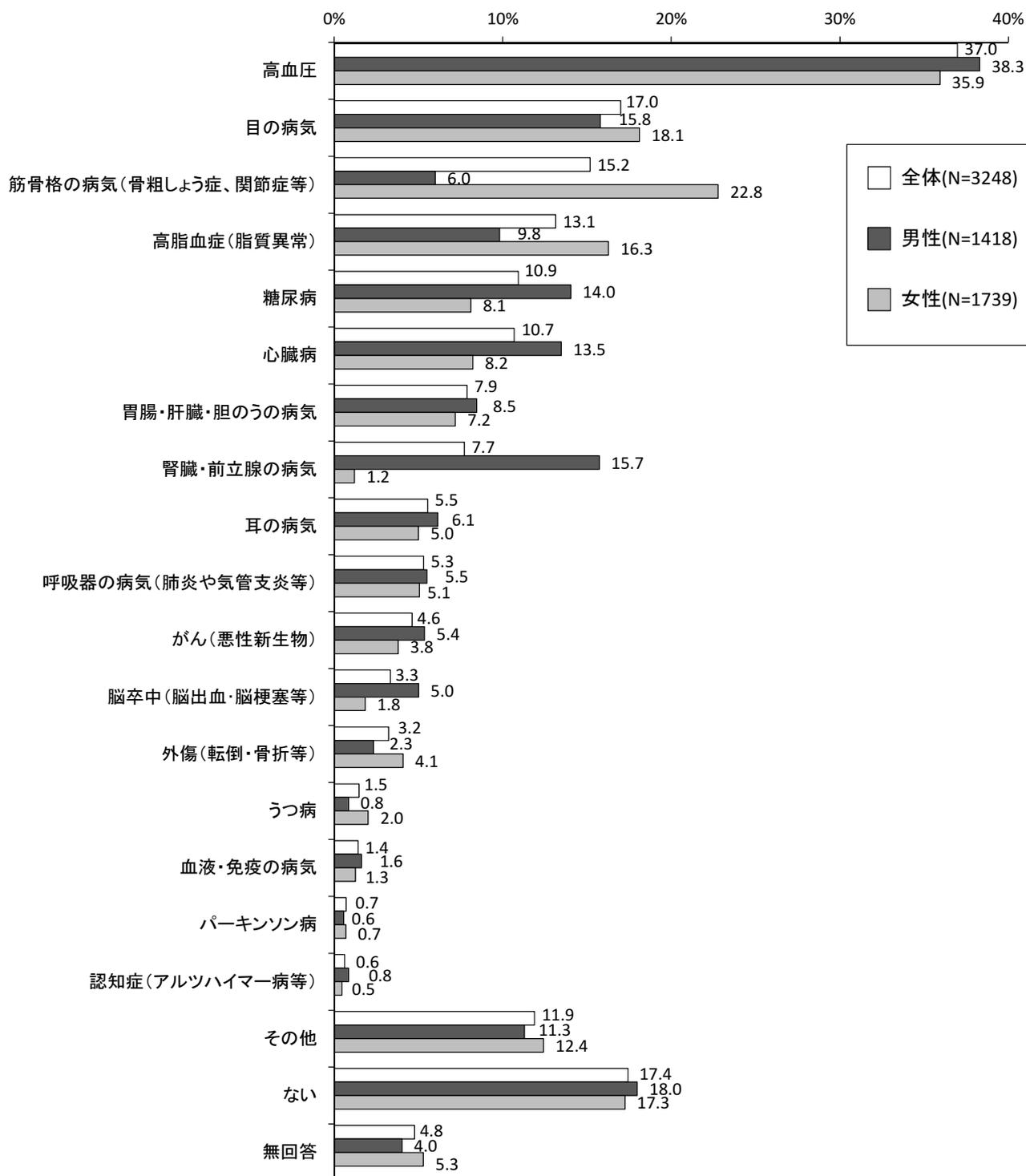
喫煙の習慣については、全体では、「もともと吸っていない」が58.3%と多く、「吸っていたがやめた」28.6%を合わせると8割を超えています。



(6) 治療中、または後遺症のある病気 (Q7)

現在治療中、または後遺症のある病気については、全体では、「高血圧」が37.0%と最も多く、次いで「目の病気」17.0%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」15.2%、「高脂血症(脂質異常)」13.1%などが続きます。性別には、男性は女性に比べ「高血圧」や「糖尿病」、「心臓病」、「腎臓・前立腺の病気」の割合が高く、女性は「目の病気」、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」や「高脂血症(脂質異常)」の割合が高くなっています。

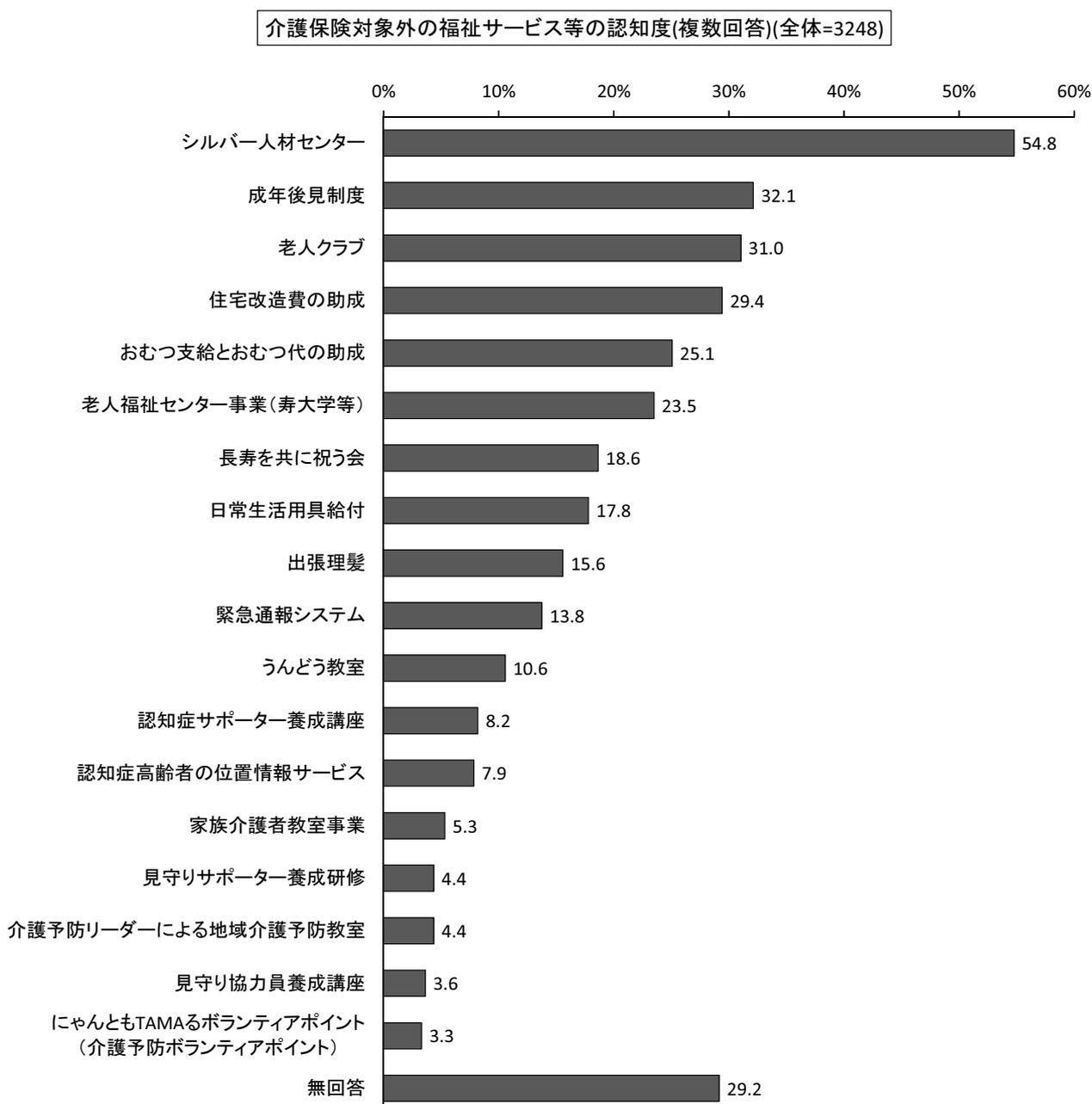
現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(複数回答)(全体=3248)



9 その他の福祉サービスについて（問8）

(1) 介護保険対象外の福祉サービス等の認知度（Q1）

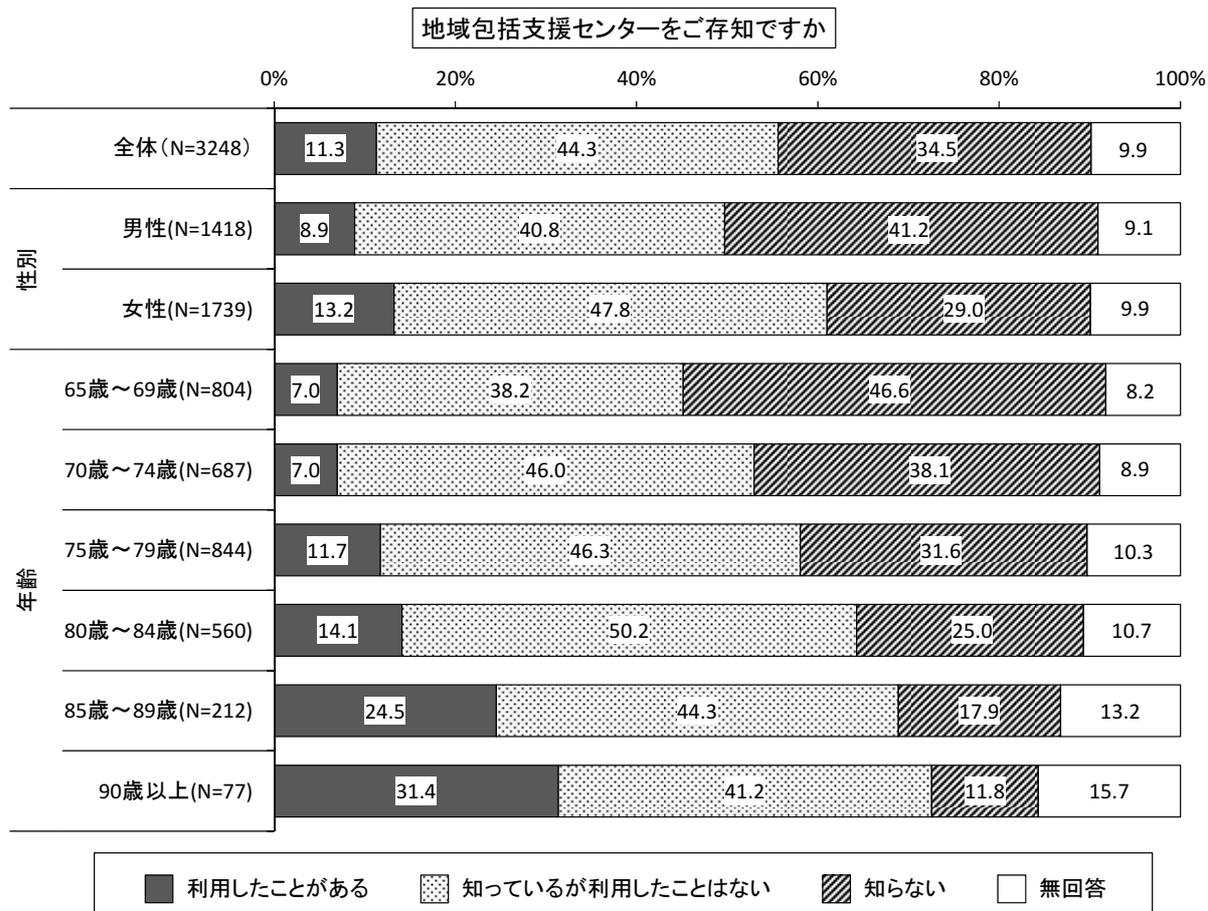
介護保険対象外の福祉サービス等の認知度については、高い順に「シルバー人材センター」54.8%、「成年後見制度」32.1%、「老人クラブ」31.0%、「住宅改造費の助成」29.4%、「おむつ支給とおむつ代の助成」25.1%、「老人福祉センター事業（寿大学等）」23.5%などが続きます。



(2) 地域包括支援センターの認知度 (Q2)

地域包括支援センターの認知度は、全体では「知っているが利用したことがない」が44.3%と最も多く、「利用したことがある」11.3%を合わせた認知度は55.6%となり、一方「知らない」は34.5%となっています。

性別には、男性に比べ女性の認知度がやや高くなっています。年齢別には年齢が上がるにつれて認知度が高まるとともに、「利用したことがある」の割合が増加します。90歳以上での認知度は72.6%となっています。



第3章 在宅介護実態調査

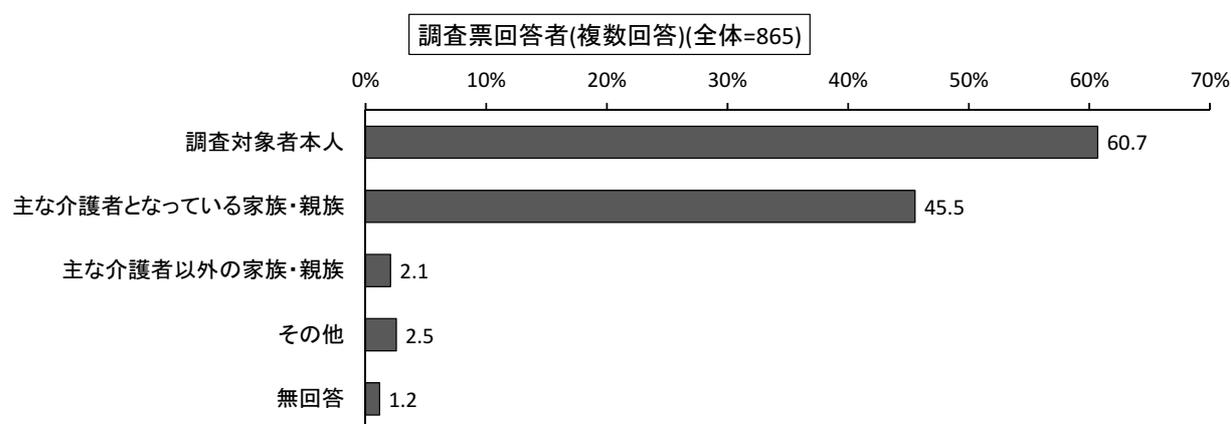
第3章 在宅介護実態調査

A 調査対象者本人への質問

1 回答者の属性

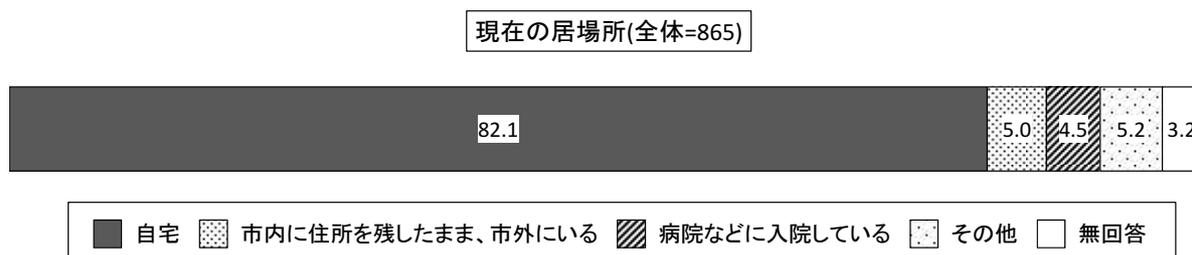
(1) 調査票回答者（A－問1）

調査票の回答者は、「あて名のご本人が自分で回答」が60.7%と最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族がご本人の代わりに回答」45.5%が続きます。



(2) 現在の居場所（A－問2）

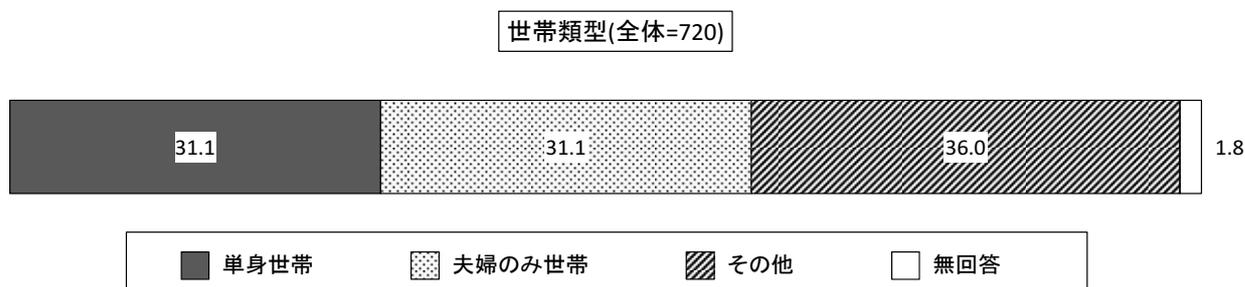
本人の現在の居場所は、「自宅」が最も多く82.1%を占めています。



※この問で「市外へ転出」の方はこれ以降回答していないため、集計対象から除く。

(3) 世帯類型（A-問3）

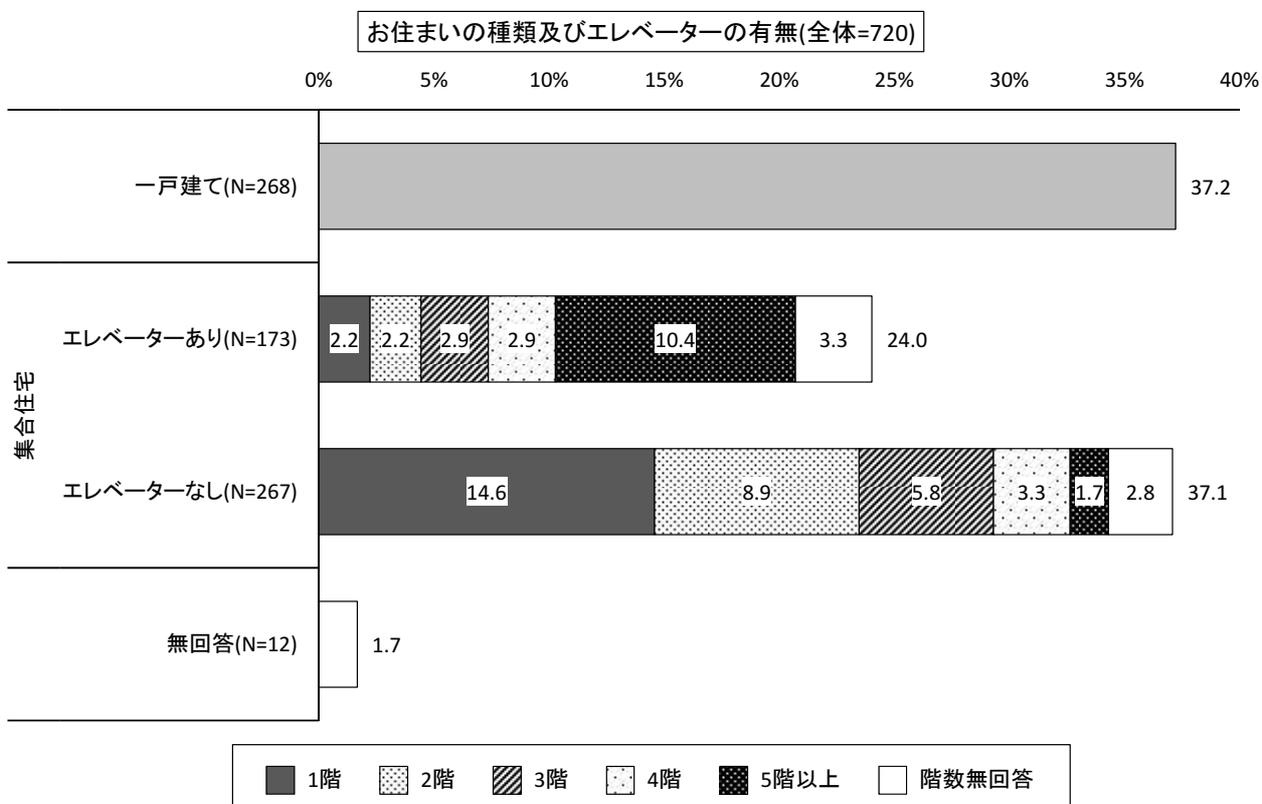
本人の家族構成は、「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」ともに 31.1%となっています。



(4) 住まいの種類とエレベーターの有無（A-問4）

住まいの種類とエレベーターの有無についてお聞きしたところ、「一戸建て」が 37.2%と最も多く、僅差で「エレベーターなし集合住宅」37.1%となっています。

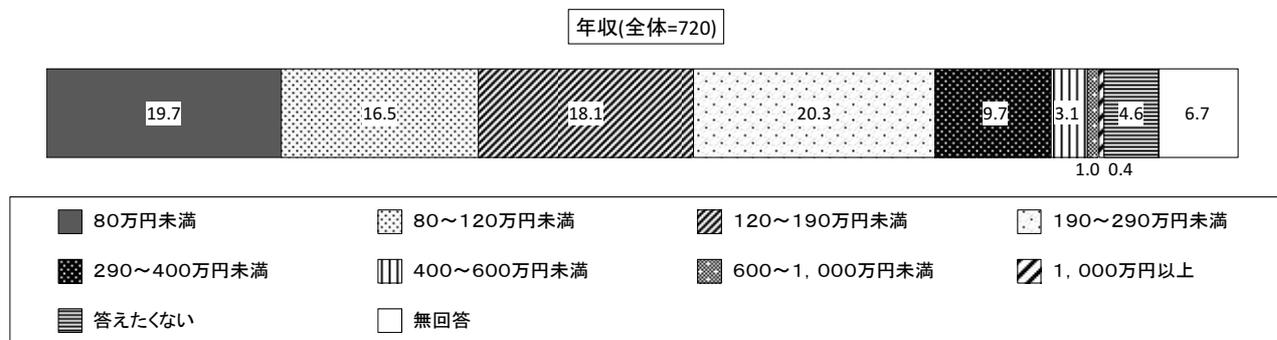
居住階数については、エレベーターあり集合住宅では「5階以上」10.4%が最も多く、エレベーターなし集合住宅では「1階」14.6%が最も多くなっています。



2 介護保険制度について

(1) 年 収（A－問5）

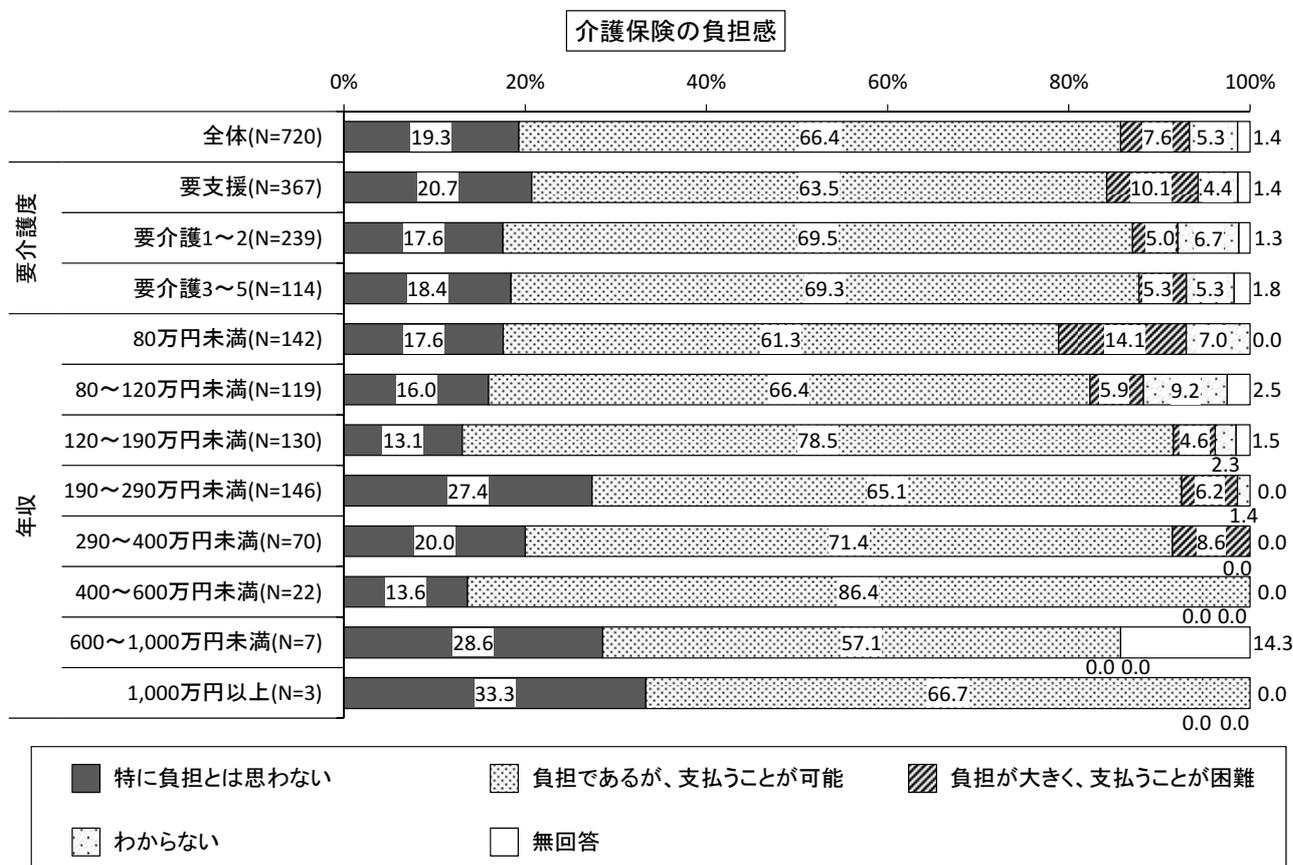
年金を含む昨年の年収は下図のとおりです。



(2) 介護保険料の負担感（A－問6）

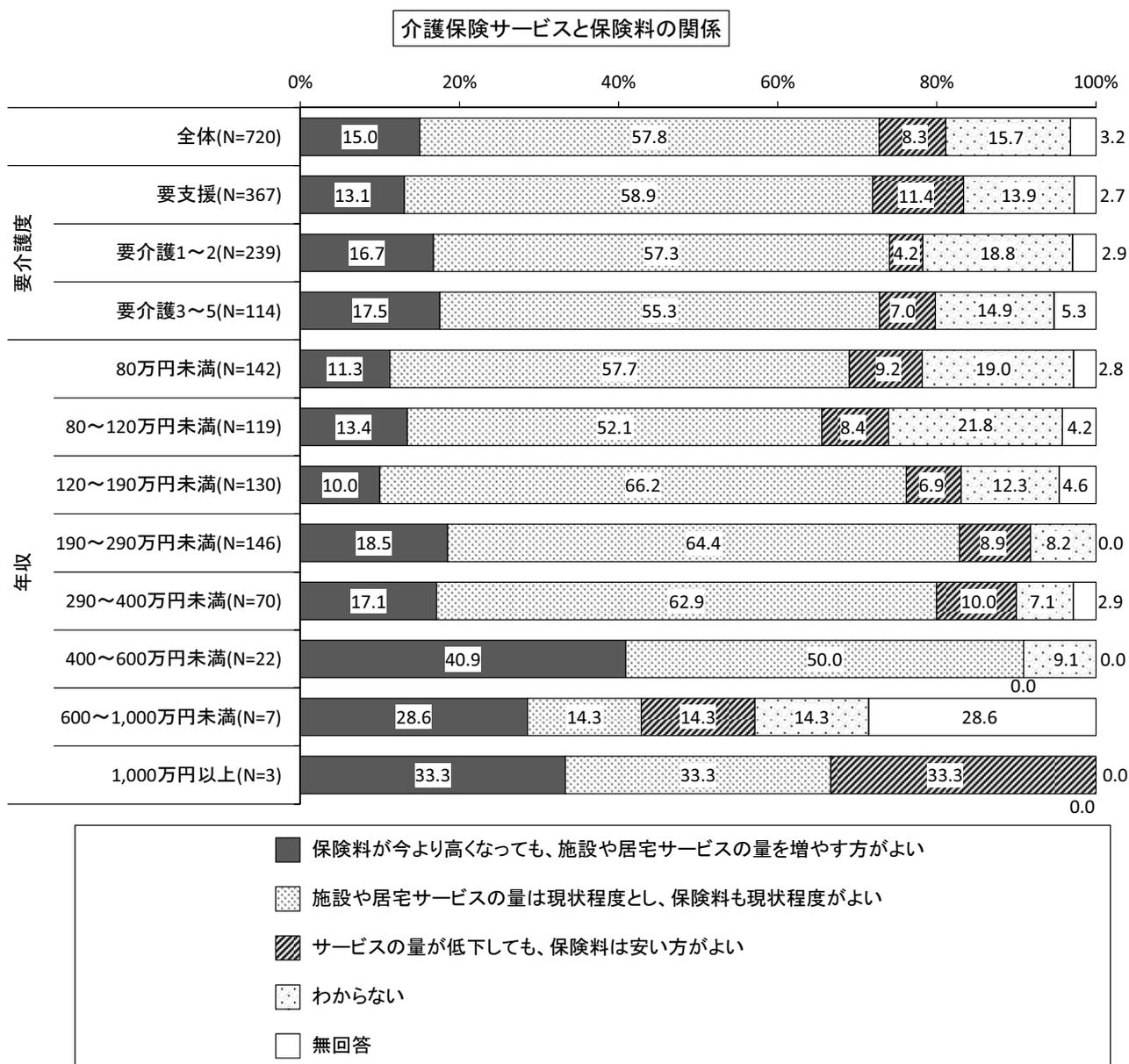
介護保険料の負担感は、全体では「負担であるが、支払うことが可能」が66.4%と最も多くなっています。次いで、「特に負担とは思わない」19.3%、「負担が大きく、支払うことが困難」7.6%と続いています。

要介護度別もおおむね同様の傾向にありますが、年収別では「80万円未満」で「負担が大きく、支払うことが困難」が14.1%と高くなっています。



(3) 介護保険サービスと保険料の関係について（A-問7）

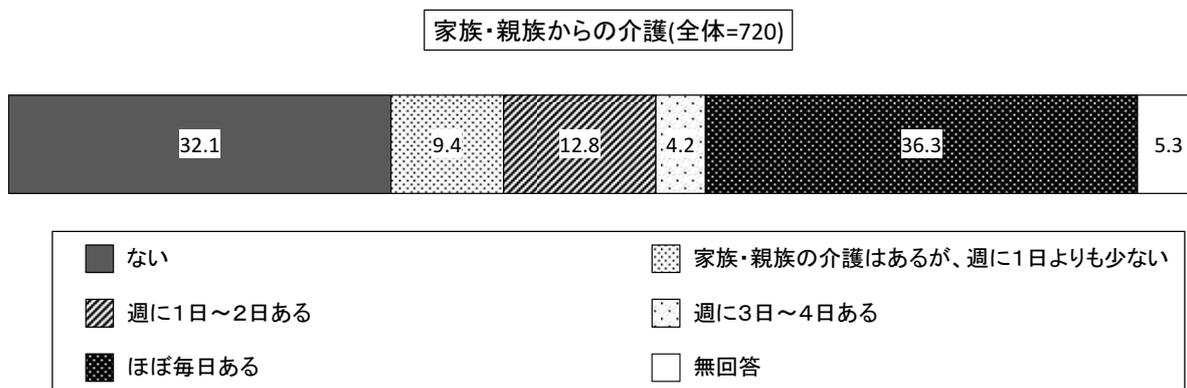
介護保険サービスと保険料の関係についての考え方をお聞きしたところ、全体では「施設や居宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度がよい」が57.8%を占め最も高く、次いで「わからない」15.7%、「保険料が今より高くなっても、施設や居宅サービスの量を増やす方がよい」15.0%が続きます。「サービスの量が低下しても、保険料は安い方がよい」は8.3%となっています。



3 介護保険サービスについて

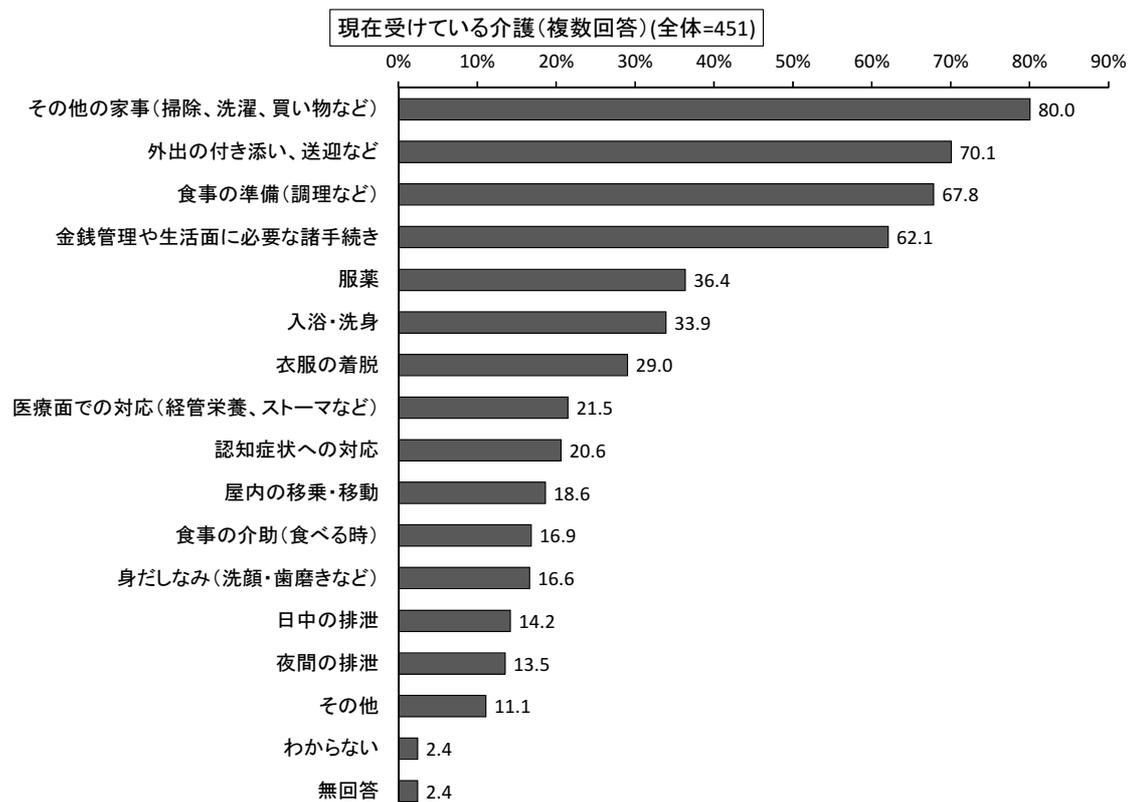
(1) 家族・親族からの介護について（A-問8）

ご家族やご親族の方からの介護は週にどのくらいあるかをお聞きしたところ、「ほぼ毎日ある」36.3%が最も多く、「ない」32.1%、「週1日～2日ある」12.8%と続いています。



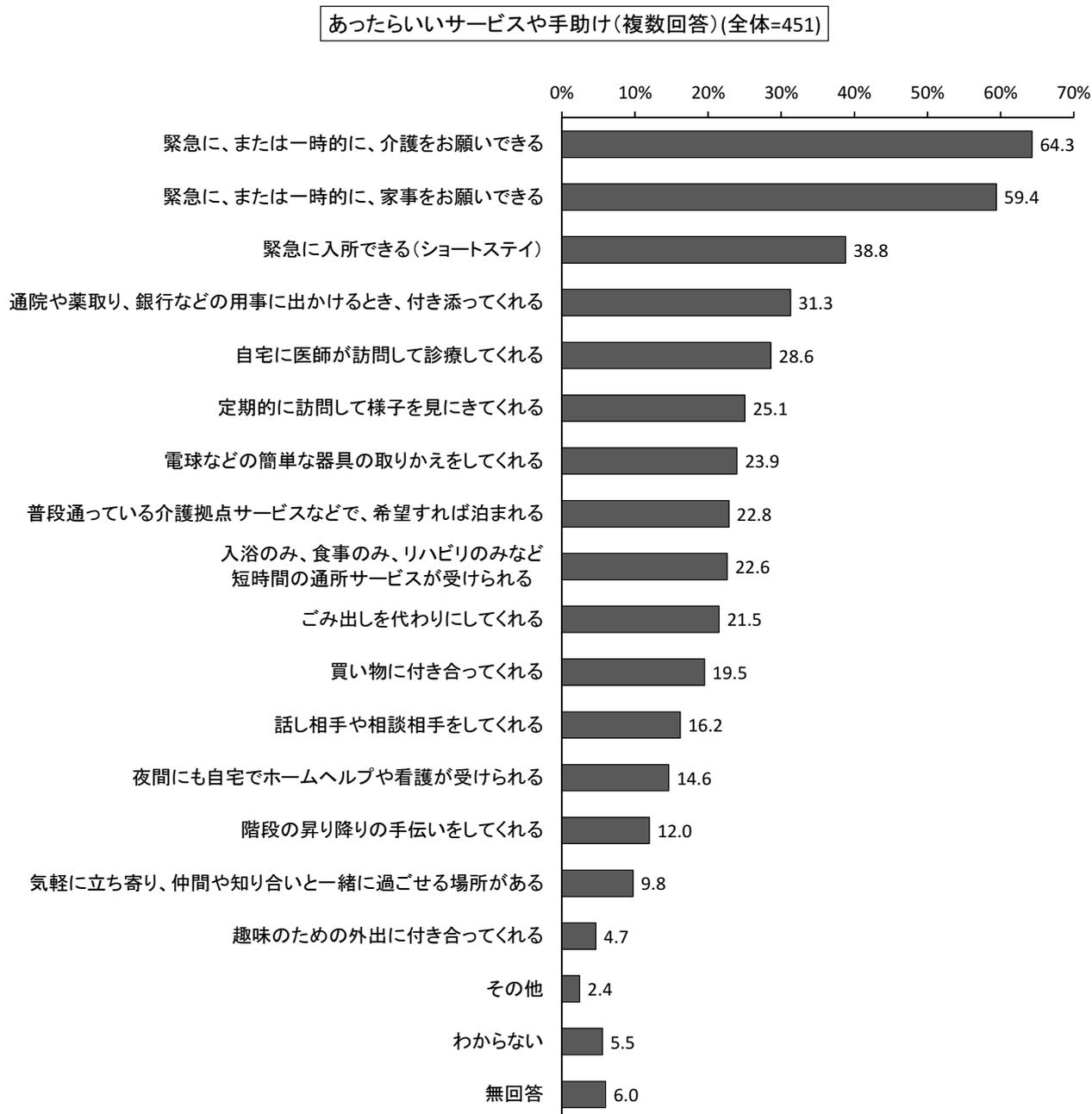
(2) 家族・親族から現在受けている介護について（A-問9）

家族・親族からの介護を受けている人に、現在受けている介護などについてお聞きしたところ、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」80.0%が最も多く、「外出の付き添い、送迎など」70.1%、「食事の準備（調理など）」67.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」62.1%と続いています。



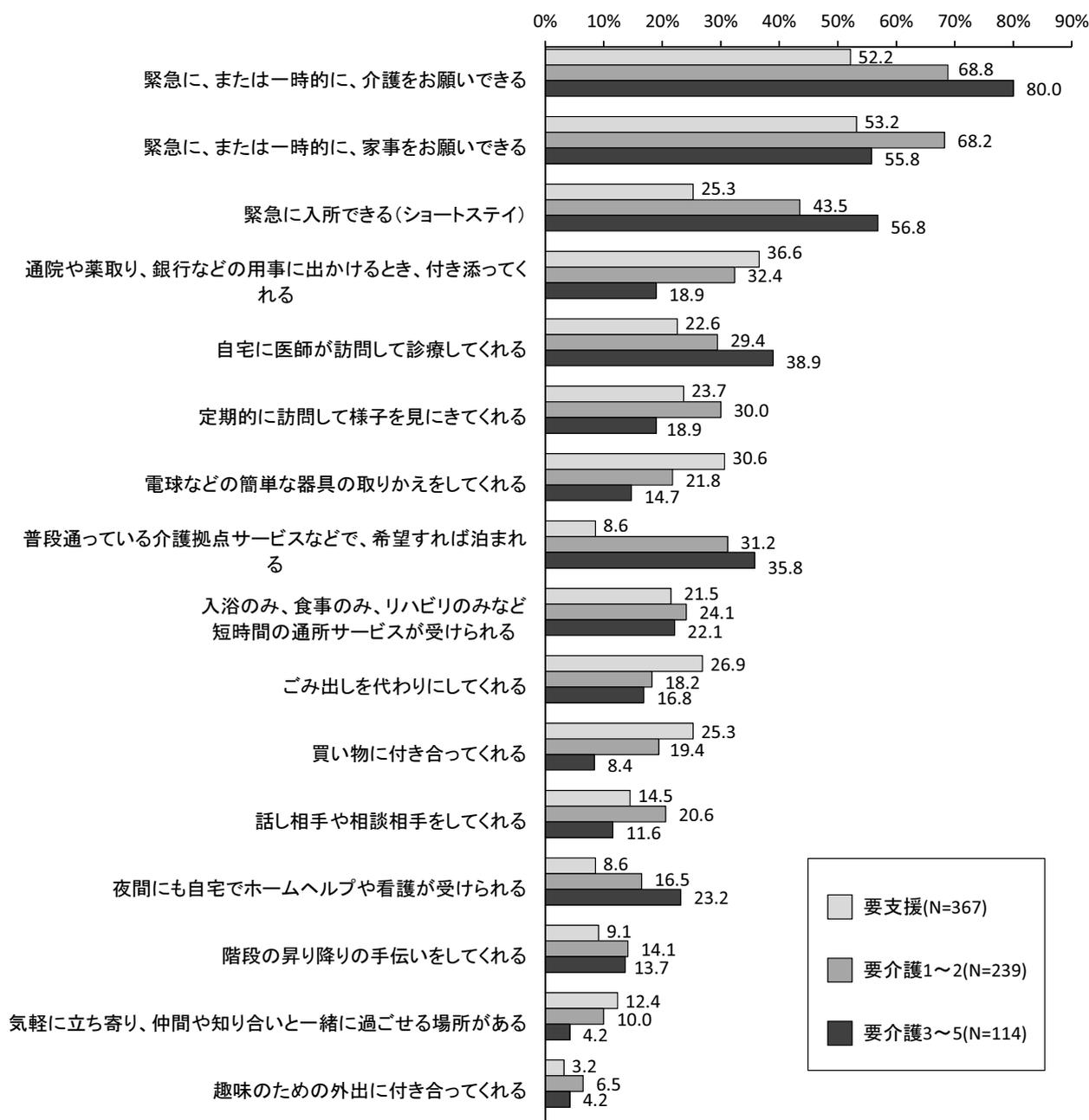
(3) あったらいいサービスや手助け (A-問10)

家族・親族からの介護を受けている人に、暮らしを支えるうえであったらいいサービスや手助けは、「緊急に、または一時的に、介護をお願いできる」64.3%が6割を超え最も多く、次いで「緊急に、または一時的に、家事をお願いできる」59.4%、「緊急に入所できる(ショートステイ)」38.8%などが続きます。



要介護度別にみると、軽度であるほど、「通院や薬取り、銀行などの用事に出かけるとき、付き添ってくれる」や「電球などの簡単な器具の取りかえをしてくれる」、「ごみ出しを代わりにしてくれる」など生活支援に関するサービスが高くなる傾向があります。他方、介護度が上がるにつれ「緊急に、または一時的に、介護をお願いできる」や「緊急に入所できる（ショートステイ）」、「自宅に医師が訪問して診療してくれる」など介護や医療に対する支援が必要とされています。

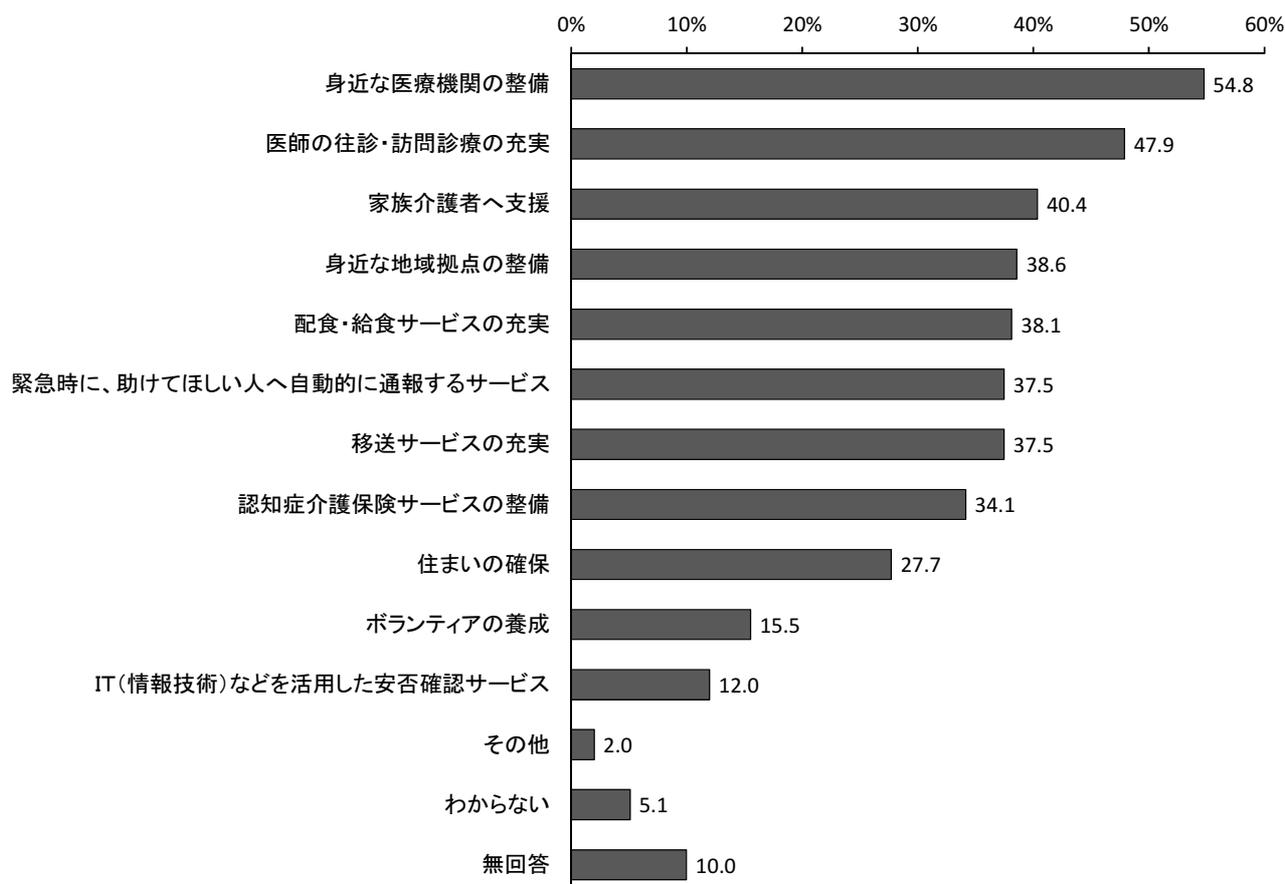
あったらいいサービスや手助け(要介護度別)



(4) 住宅で安心して暮らすためにほしいサービスや条件（A-問11）

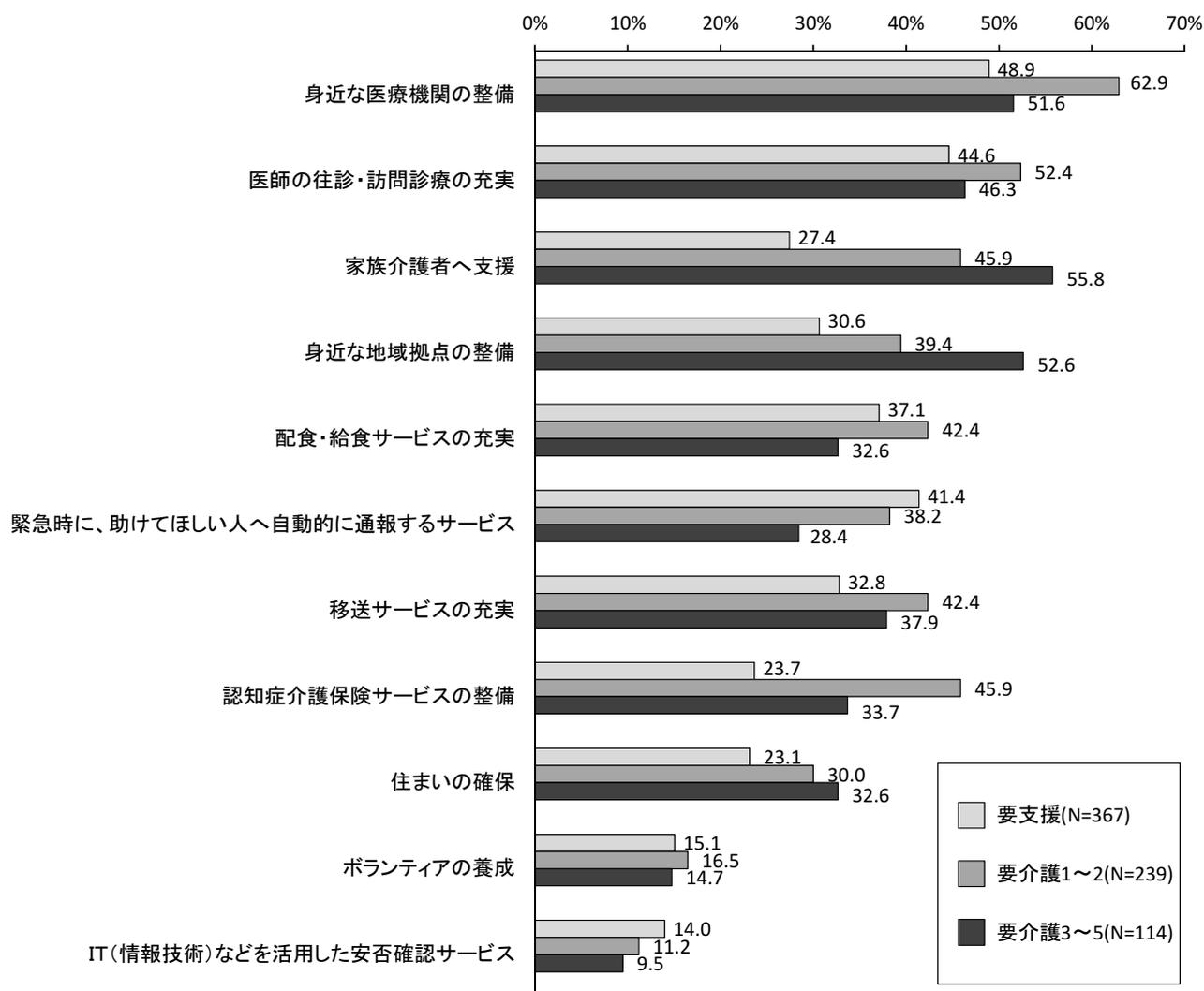
家族・親族からの介護を受けている人に、住宅で安心して暮らすためにほしいサービスや条件をお聞きしたところ、「身近な医療機関の整備」54.8%が最も多く、次いで「医師の往診・訪問診療の充実」47.9%と、医療体制の充実への期待が多くなっています。

住宅で安心して暮らすためにほしいサービスや条件(複数回答)(全体=451)



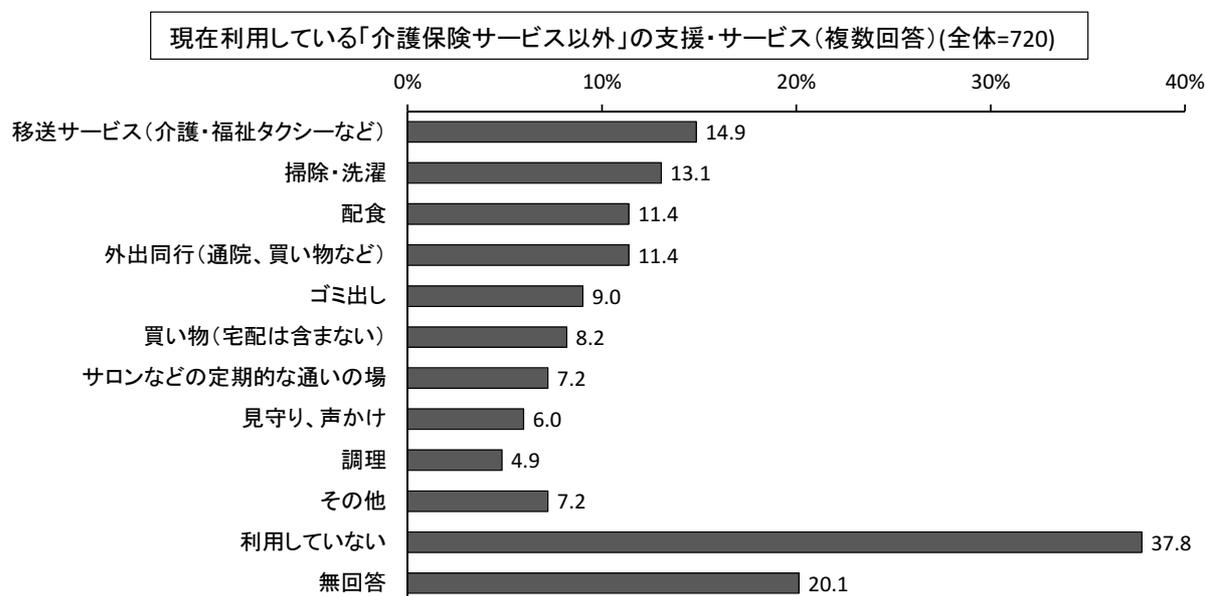
要介護度別には、要支援では「緊急時に、助けてほしい人へ自動的に通報するサービス」、要介護1～2では「身近な医療機関の整備」や「医師の往診・訪問診療の充実」、要介護3～5では「家族介護者へ支援」や「身近な地域拠点の整備」などが高くなっています。

在宅で安心して暮らすためにほしいサービスや条件(要介護度別)



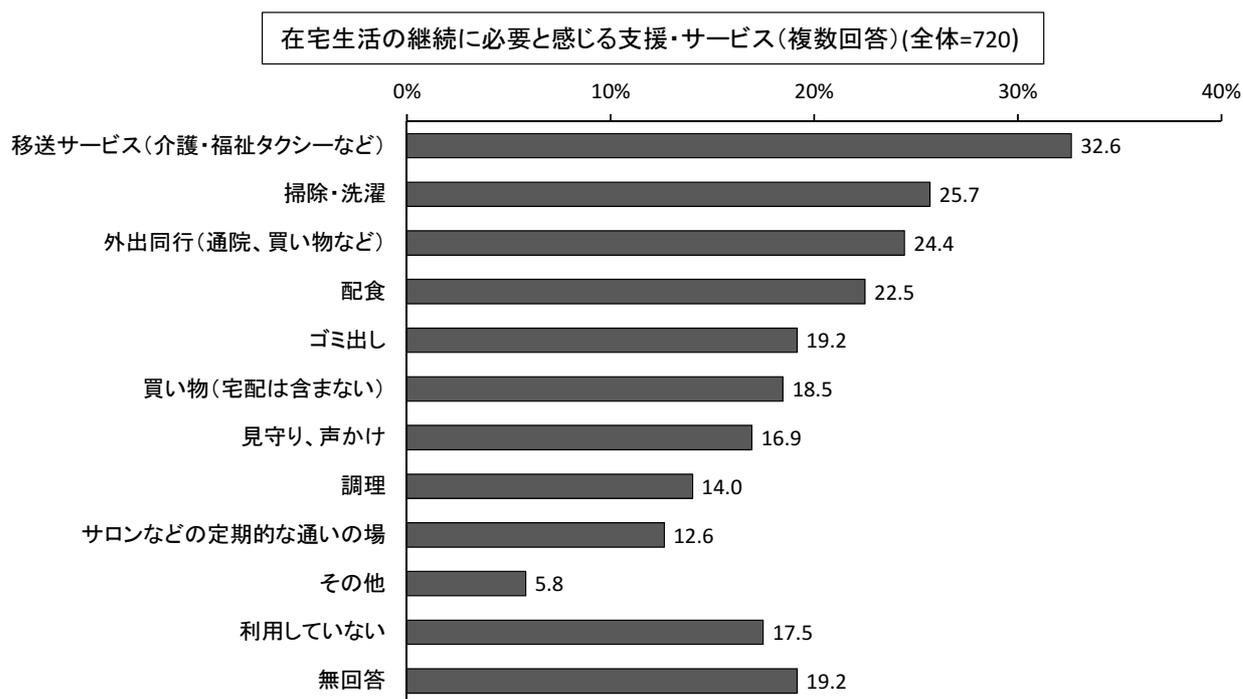
(5) 利用している介護保険外サービス（A-問12）

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「利用していない」37.8%が最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」14.9%、「掃除・洗濯」13.1%、「配食」「外出同行（通院、買い物など）」11.4%などが続いています。

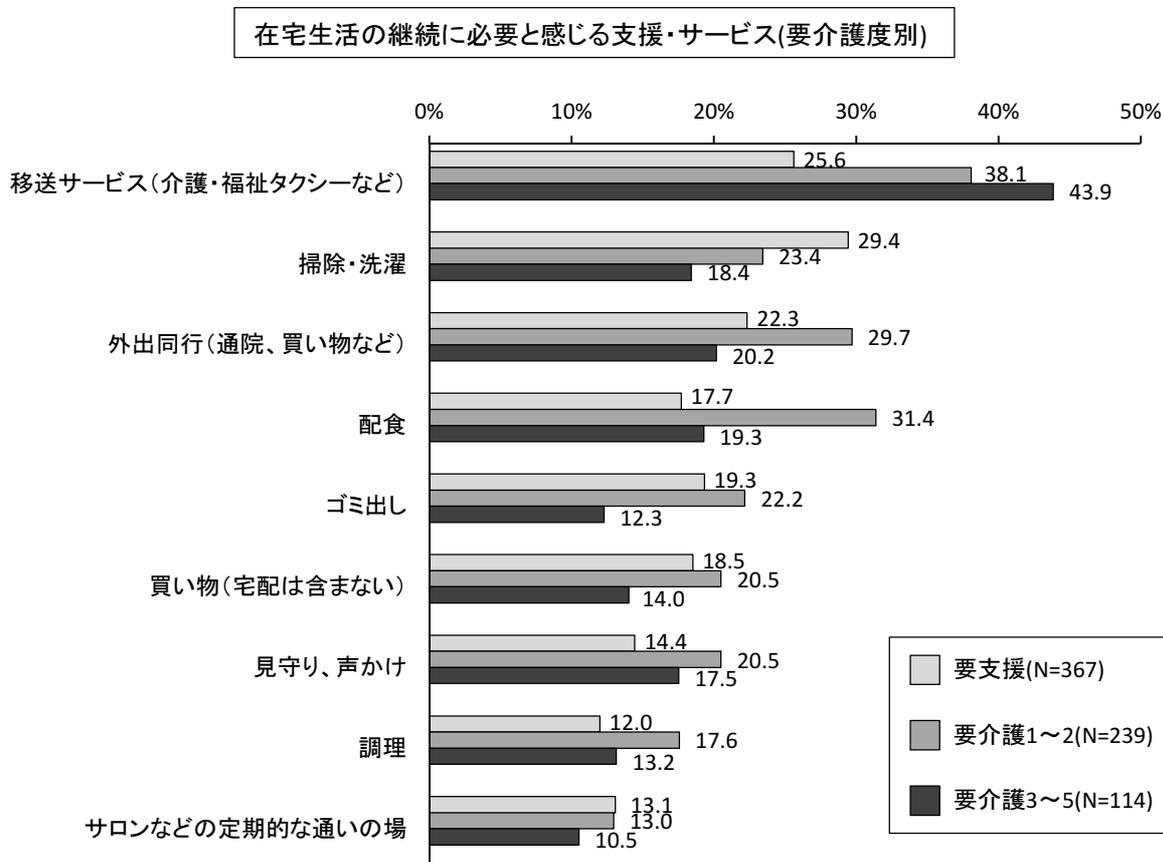


(6) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス（A-問13）

在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」32.6%が最も多く、次いで「掃除・洗濯」25.7%、「外出同行（通院、買い物など）」24.4%、「配食」22.5%などが続いています。

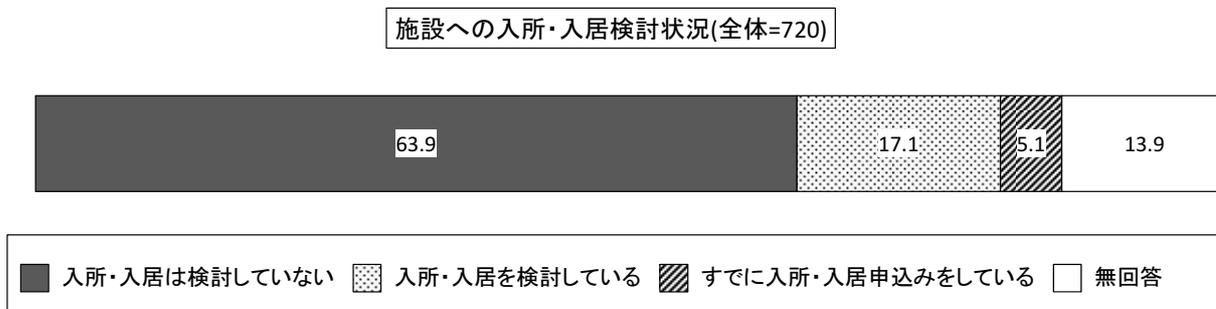


要介護度別には、「掃除・洗濯」や「サロンなどの定期的な通いの場」は軽度であるほど高くなり、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」は介護度が上がるにつれ高くなっています。



(7) 施設への入所・入居検討状況（A-問14）

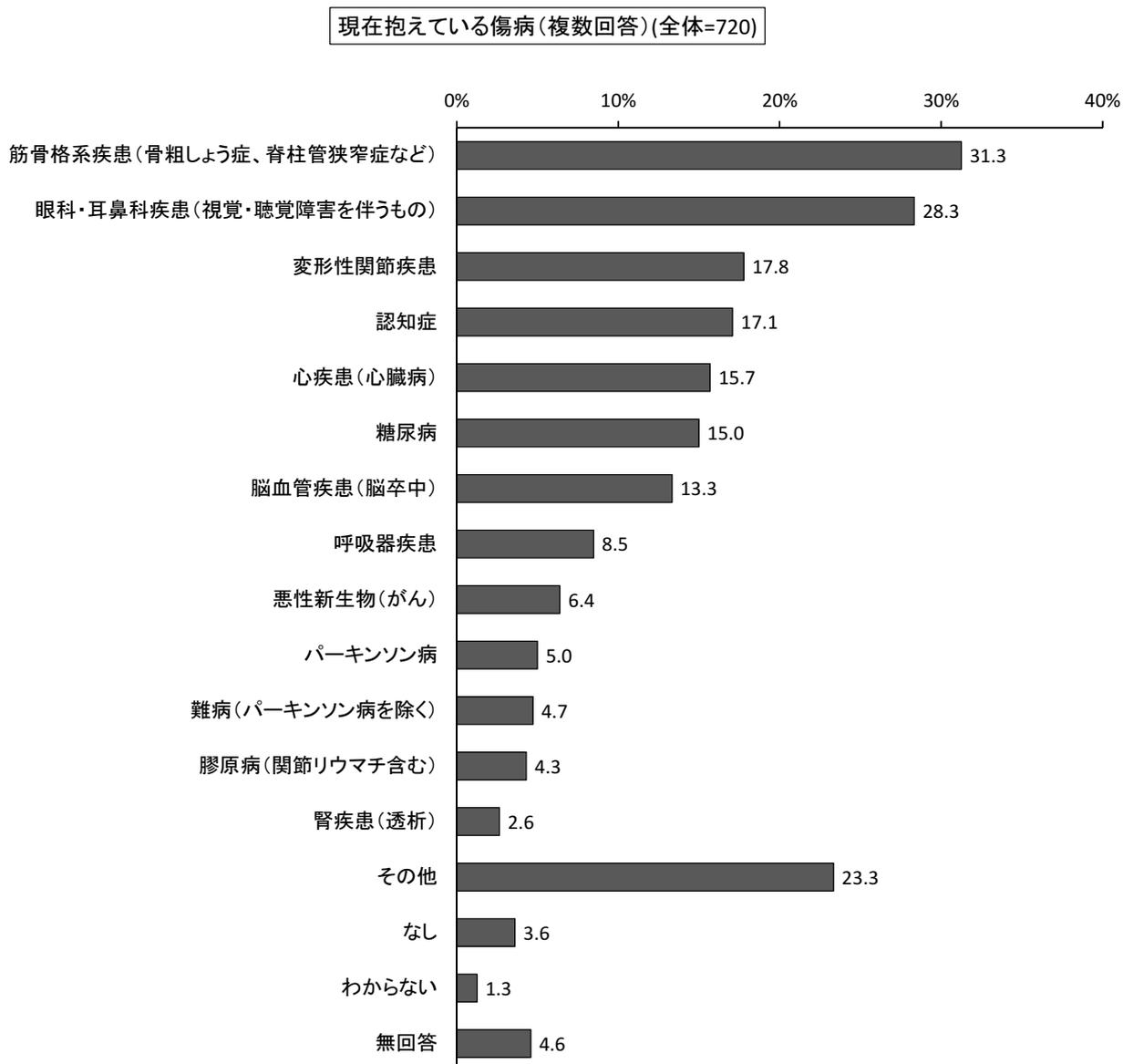
現時点での、施設などへの入所・入居検討状況については、「入所・入居は検討していない」63.9%が最も多くなっており、約6割を占めています。「入所・入居を検討している」は17.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は5.1%となっています。



4 医療の状況について

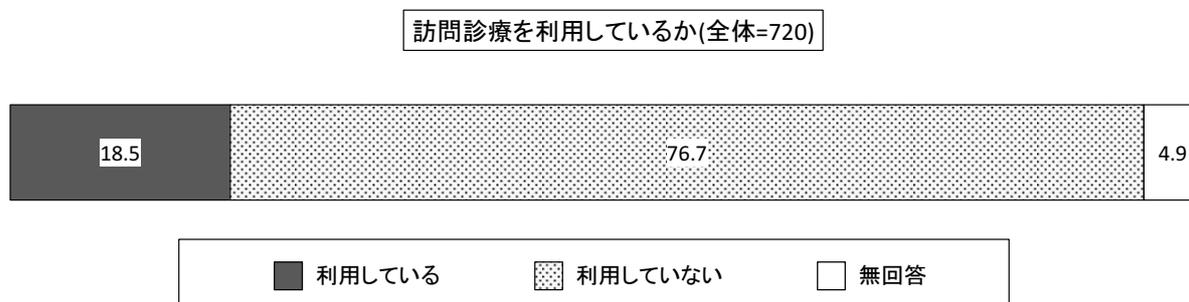
(1) 現在抱えている傷病について（A－問 15）

現在抱えている傷病についてお聞きしたところ、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など）」31.3%が最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」28.3%、「変形性関節疾患」17.8%などが続きます。



(2) 訪問診療の利用について（A－問 16）

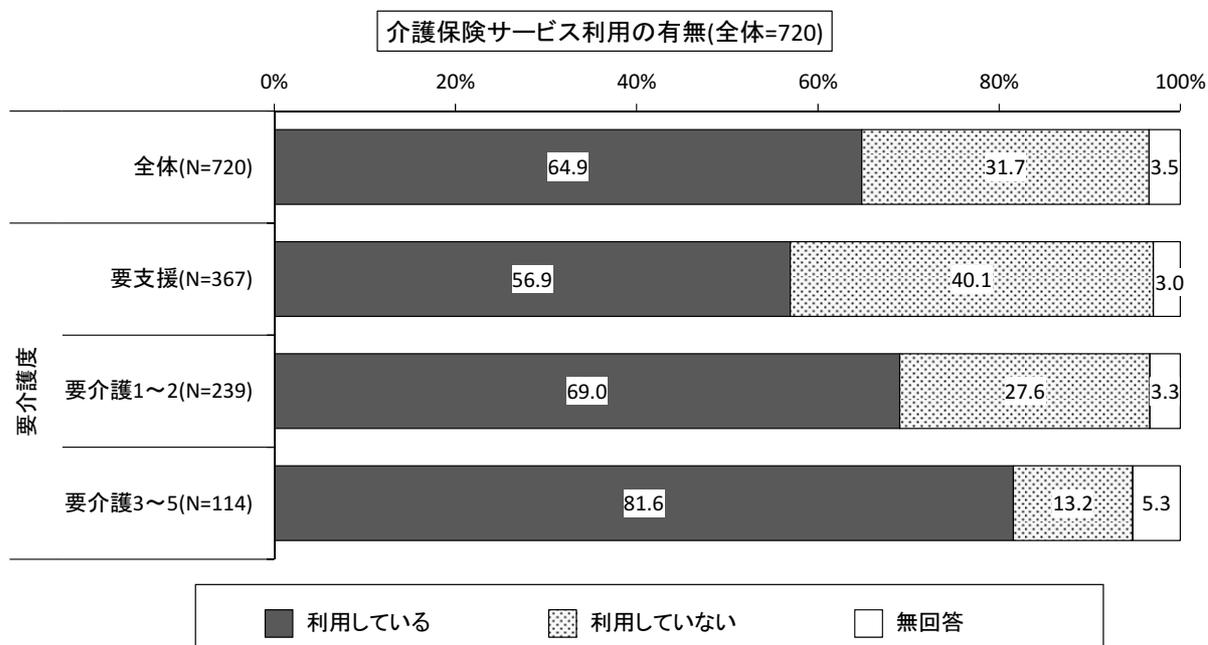
訪問診療を利用しているかをお聞きしたところ、「利用していない」が76.7%、「利用している」は18.5%となっています。



(3) 介護保険サービス利用の有無（A－問 17）

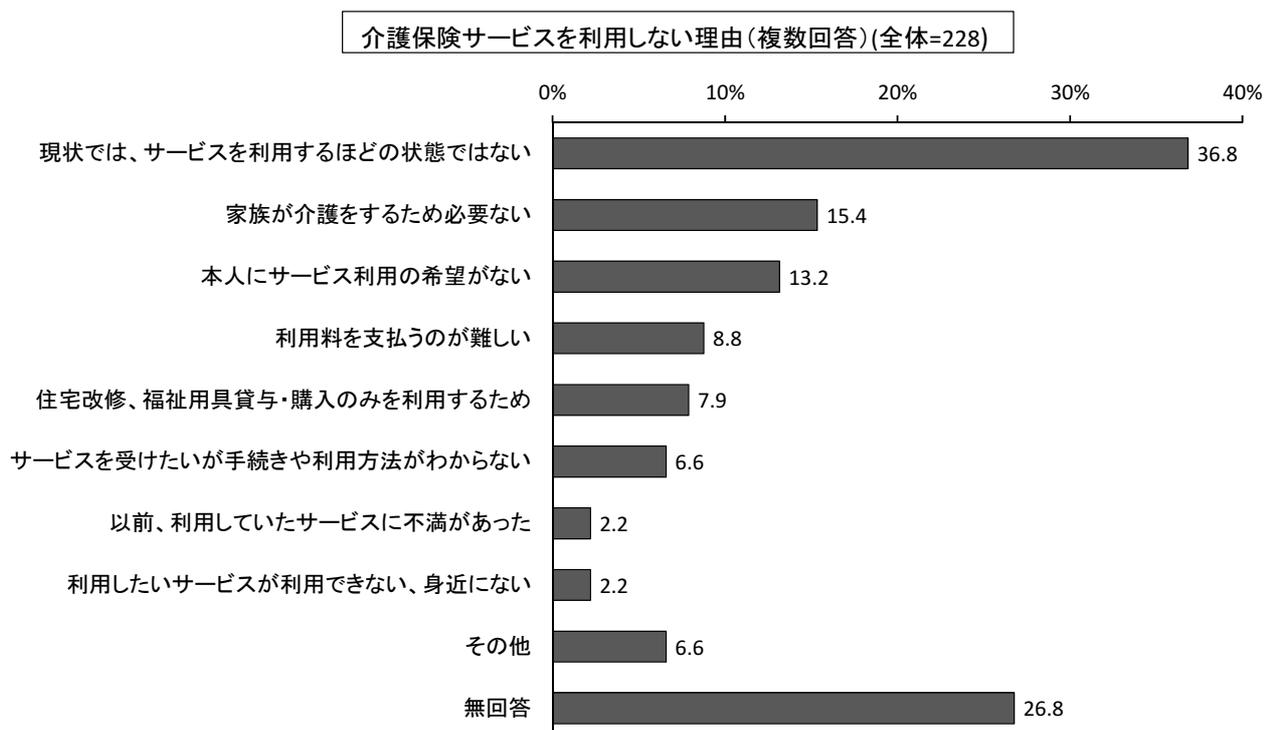
現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しているかをお聞きしたところ、全体では、「利用している」が64.9%、「利用していない」が31.7%となっています。

要介護度別には、介護度が上がるほど「利用している」が高くなる傾向にあり、「要介護度3～5」では8割を超えています。



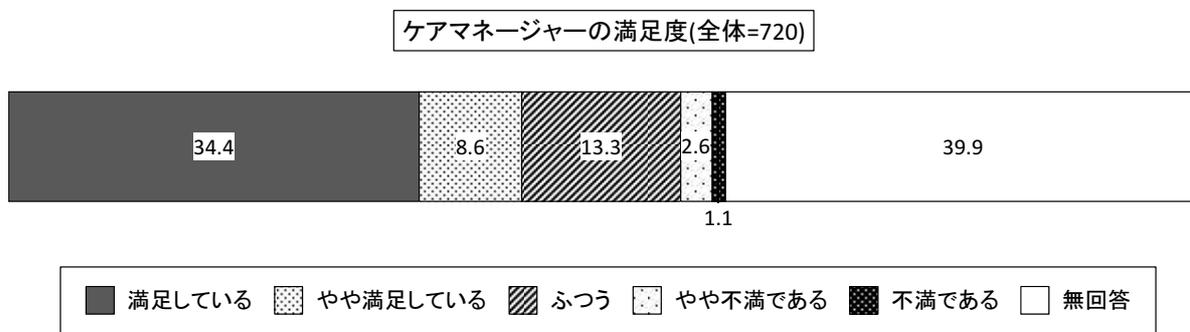
(4) 介護保険サービスを利用しない理由（A－問 18）

介護保険サービスを利用していない人に、利用しない理由をお聞きしたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」36.8%が最も多く、次いで「家族が介護するため必要ない」15.4%、「本人にサービス利用の希望がない」13.2%などが続いています。



(5) ケアマネジャーの満足度（A－問 19）

ケアマネジャーの満足度は、「満足している」は34.4%で、「やや満足している」と合わせた“満足”は43.0%、「不満である」「やや不満である」を合わせた“不満”は3.7%となっています。



B 主な介護者への質問

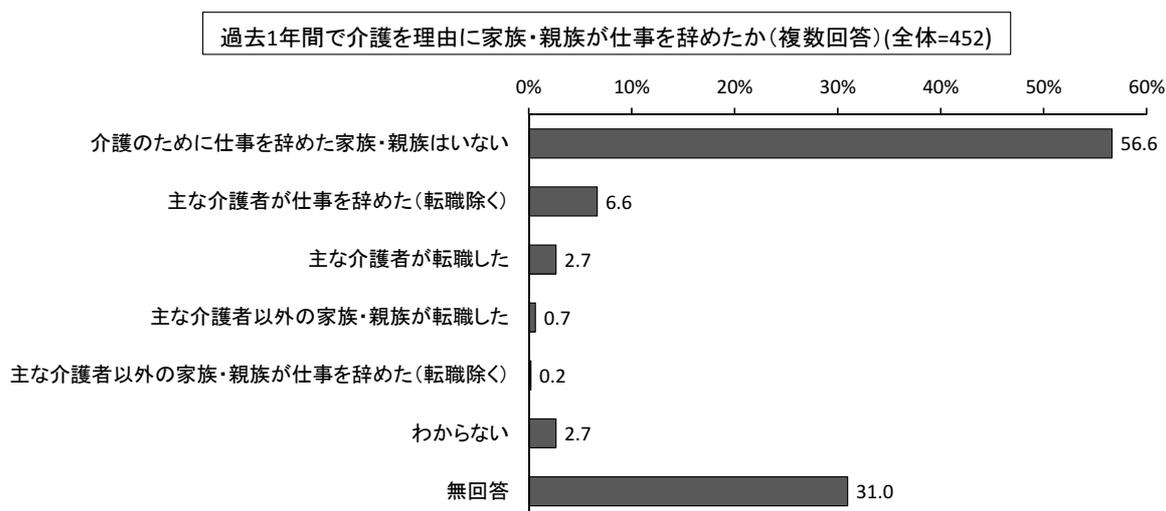
5 主な介護者の属性

※ここからは、「宛名本人を主に介護している方」に対して質問しており、該当者がいない場合は、調査票記入はここまでで終了しています。したがって、全体数は該当者がいない場合を除いた数となっています。

(1) 介護を理由とした仕事への影響（B-問1）

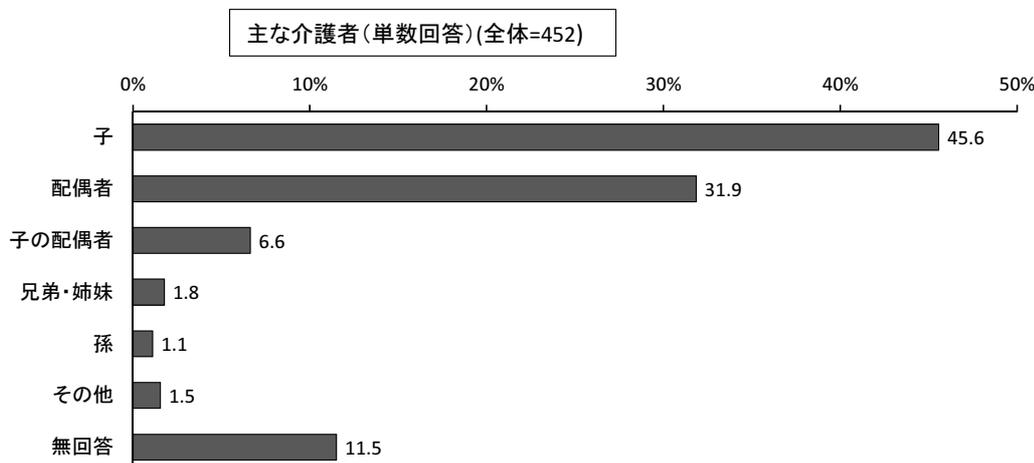
介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方がいるかをお聞きしたところ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」56.6%が最も多くなっています。

「仕事を辞めた」「転職した」を合わせると、「主な介護者」が9.3%、「主な介護者以外の家族・親族」が0.9%となり、介護者合計では10.2%の方が介護を主な理由に仕事を辞めた・転職したと答えています。



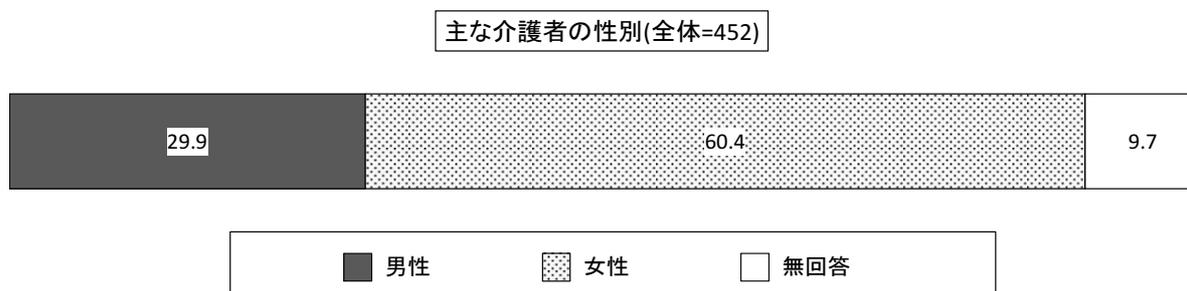
(2) 主な介護者（B-問2）

主な介護者（以下「介護者」という）は、「子」45.6%が最も多く、次いで「配偶者」31.9%、「子の配偶者」6.6%、「兄弟・姉妹」1.8%が続いています。



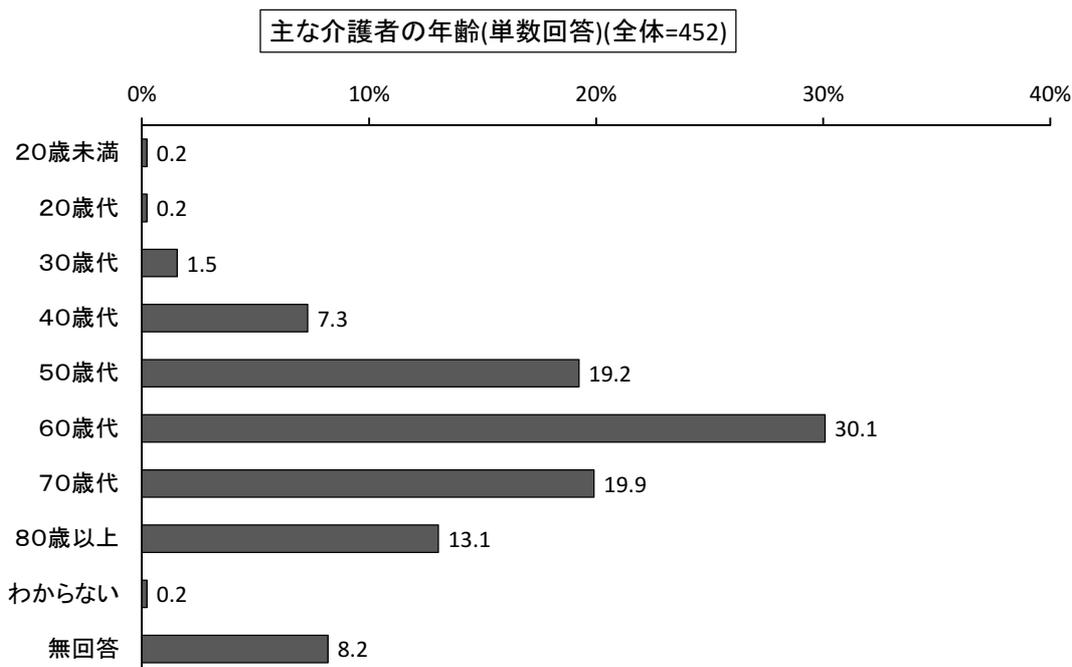
(3) 介護者の性別（B-問3）

介護者の性別は、「女性」60.4%、「男性」29.9%となっています。



(4) 介護者の年齢（B-問4）

介護者の年齢は、「60歳代」30.1%が最も多く、次いで「70歳代」19.9%が続いています。60歳以上の介護者を合計すると63.1%です。

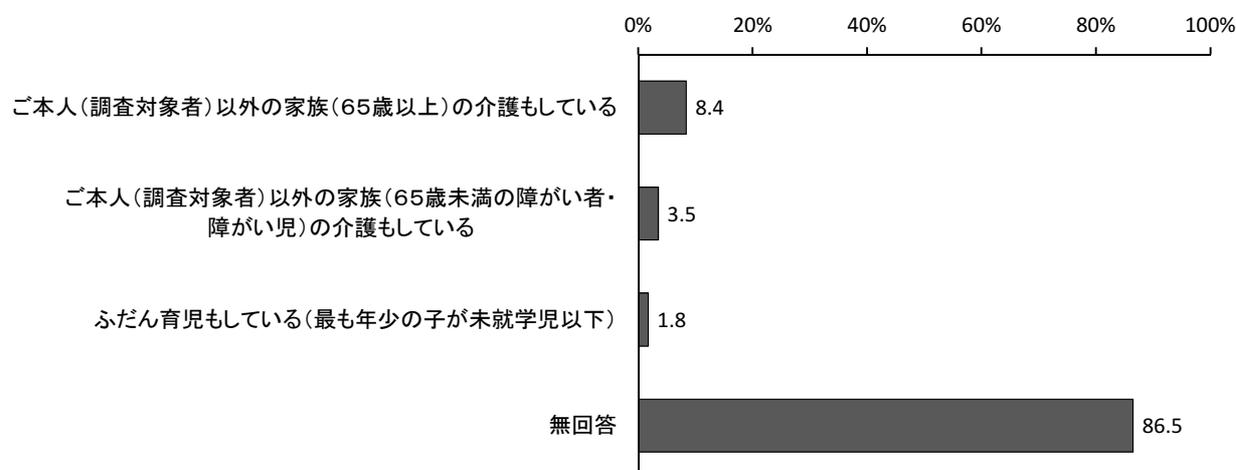


6 主な介護者の就労について

(1) 調査対象者以外に介護や育児を行っているか（B-問5）

介護者が調査対象者以外に育児や親族の介護を行っているかについてお聞きしたところ、「調査対象者以外の家族（65歳以上）の介護もしている」は8.4%で、1人の介護者が介護や育児を複数行う状態となっているのは全体で13.7%となっています。

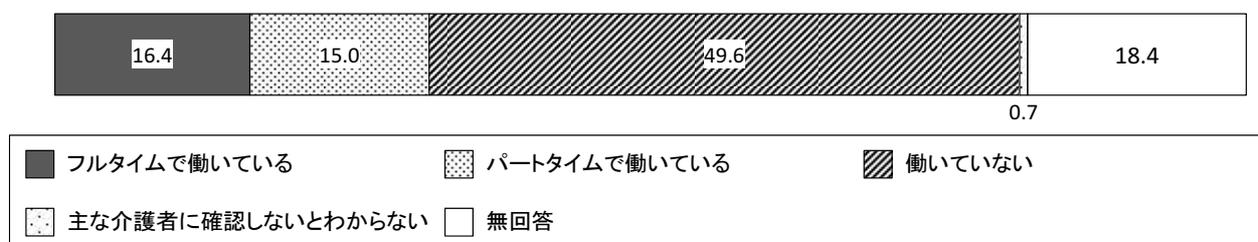
介護者が調査対象者以外に育児や親族の介護を行っているか(複数回答)(全体=452)



(2) 介護者の雇用形態（B-問6）

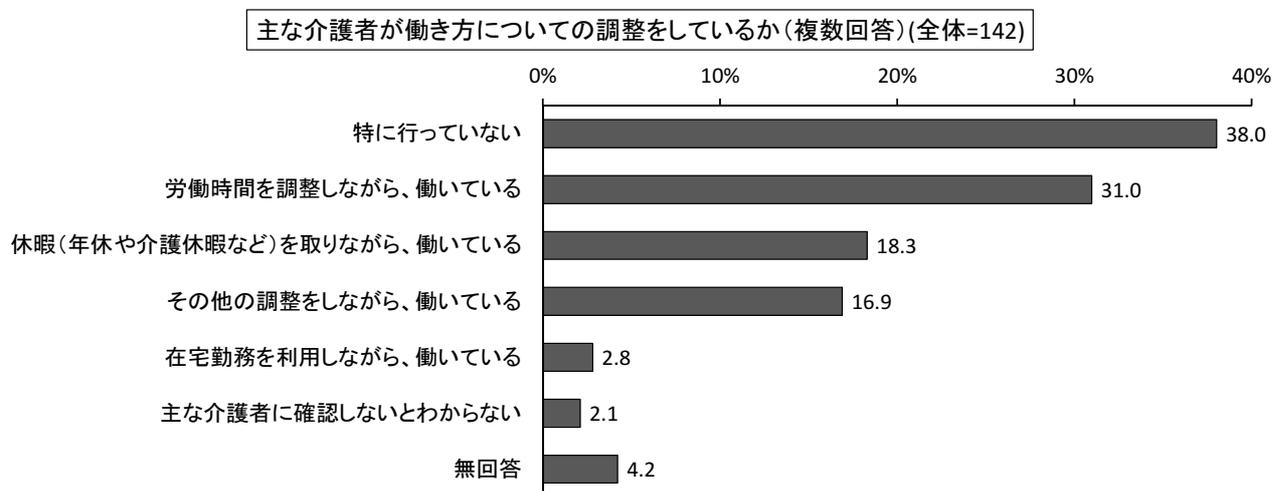
介護者に雇用形態をお聞きしたところ、「働いていない」49.6%が最も多く、次いで「フルタイムで働いている」16.4%、「パートタイムで働いている」15.0%が続いています。

主な介護者の勤務形態(全体=452)



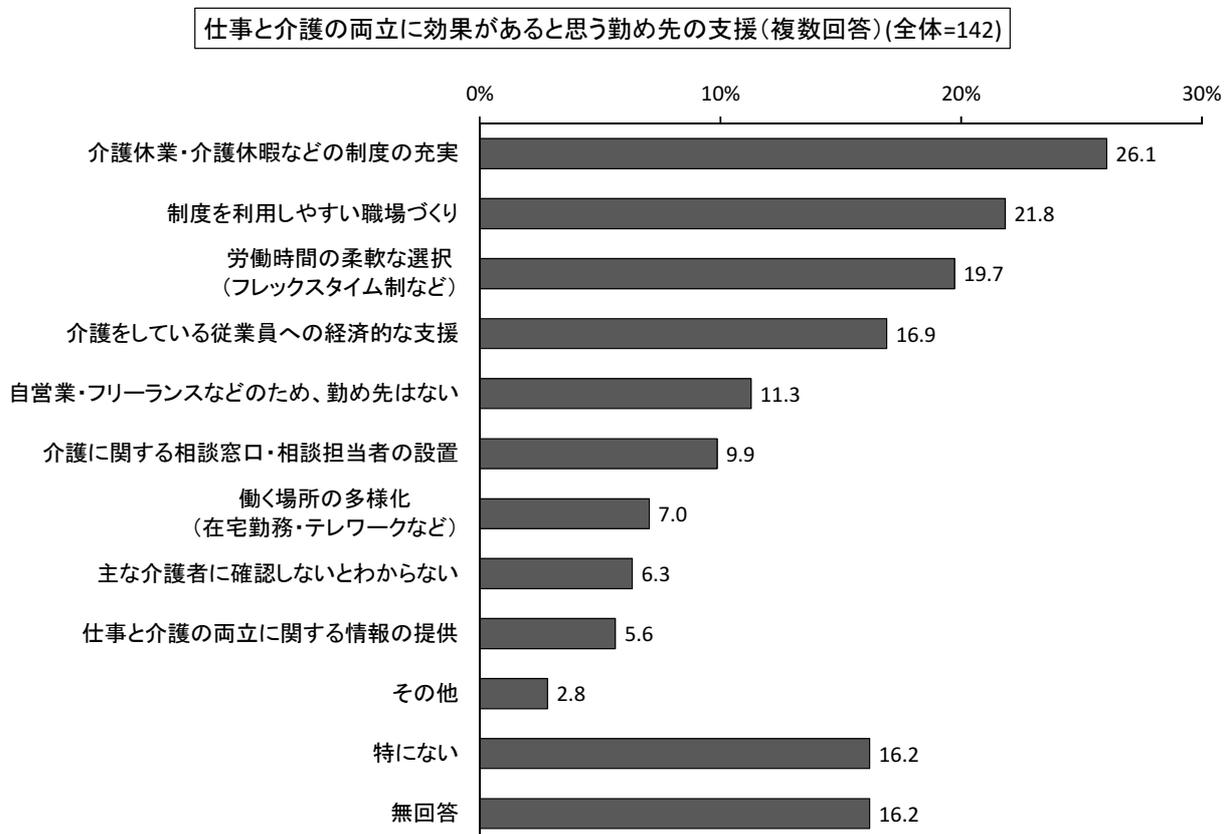
(3) 介護による仕事への影響（B-問7）

働いていると答えた介護者に、働き方についての調整をしているかをお聞きしたところ、「特に行っていない」38.0%が最も多く、「労働時間を調整しながら、働いている」31.0%、「休暇（年休や介護休暇など）を取りながら、働いている」18.3%、「その他の調整をしながら、働いている」16.9%と続いています。



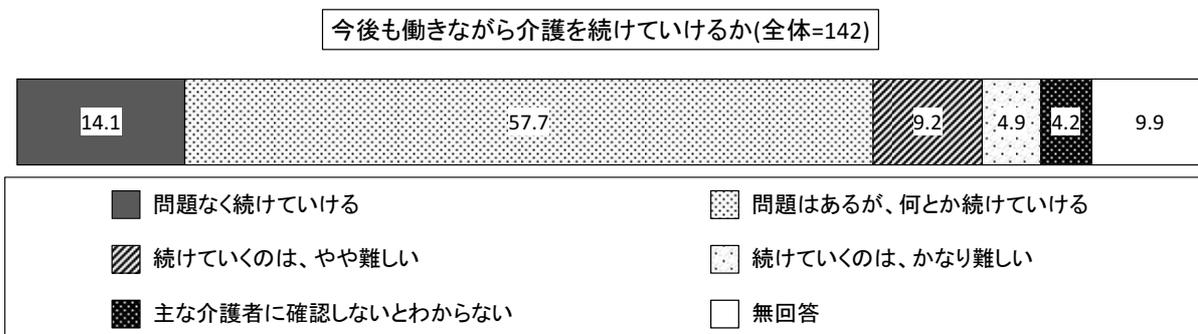
(4) 仕事と介護の両立に必要な勤め先の支援（B-問8）

働いていると答えた介護者に、仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先の支援をお聞きしたところ、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」26.1%が最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」21.8%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」19.7%と続いています。



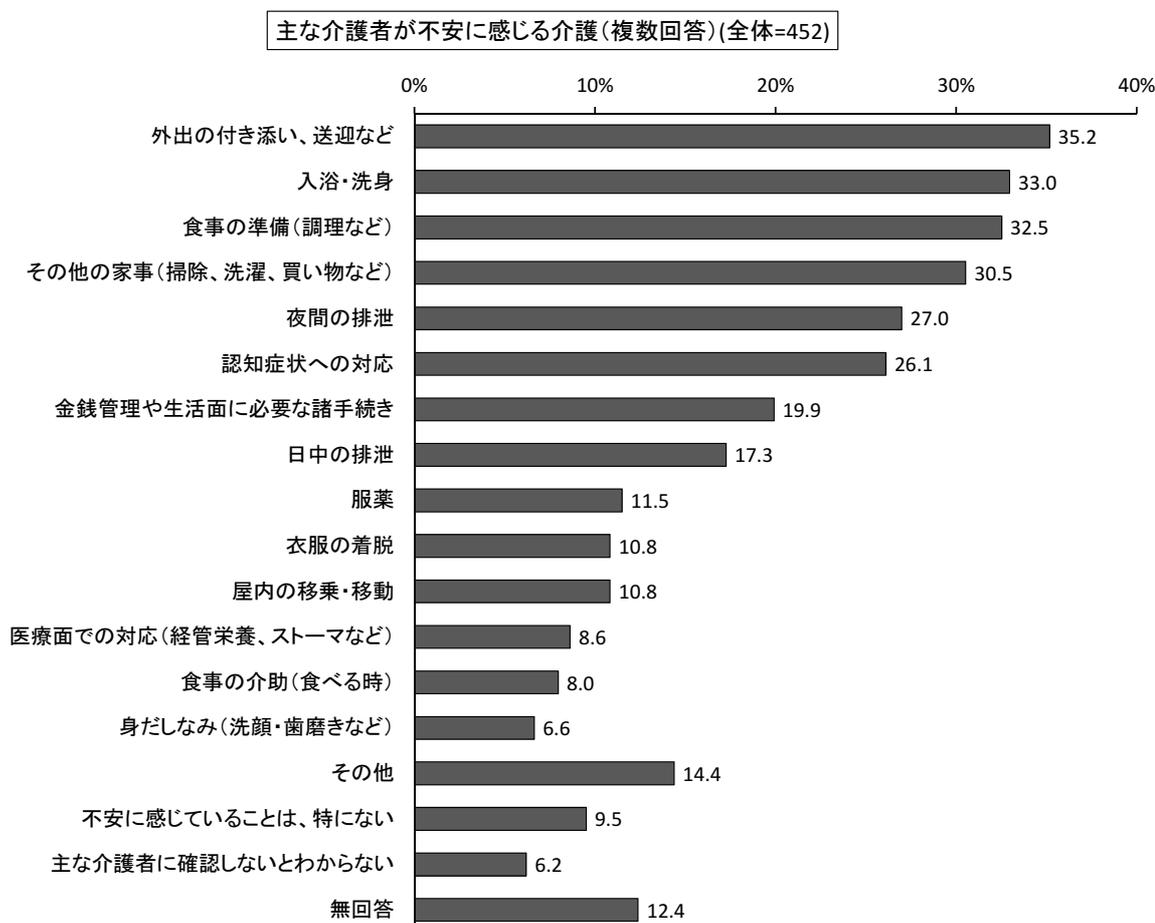
(5) 今後も働きながら介護を続けていけるか (B-問9)

働いていると答えた介護者に、今後も働きながら介護を続けていけそうかをお聞きしたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」57.7%が最も多く、次いで「問題なく続けていける」14.1%、「続けていくのは、やや難しい」9.2%と続いています。



(6) 介護者が不安に感じる介護 (B-問10)

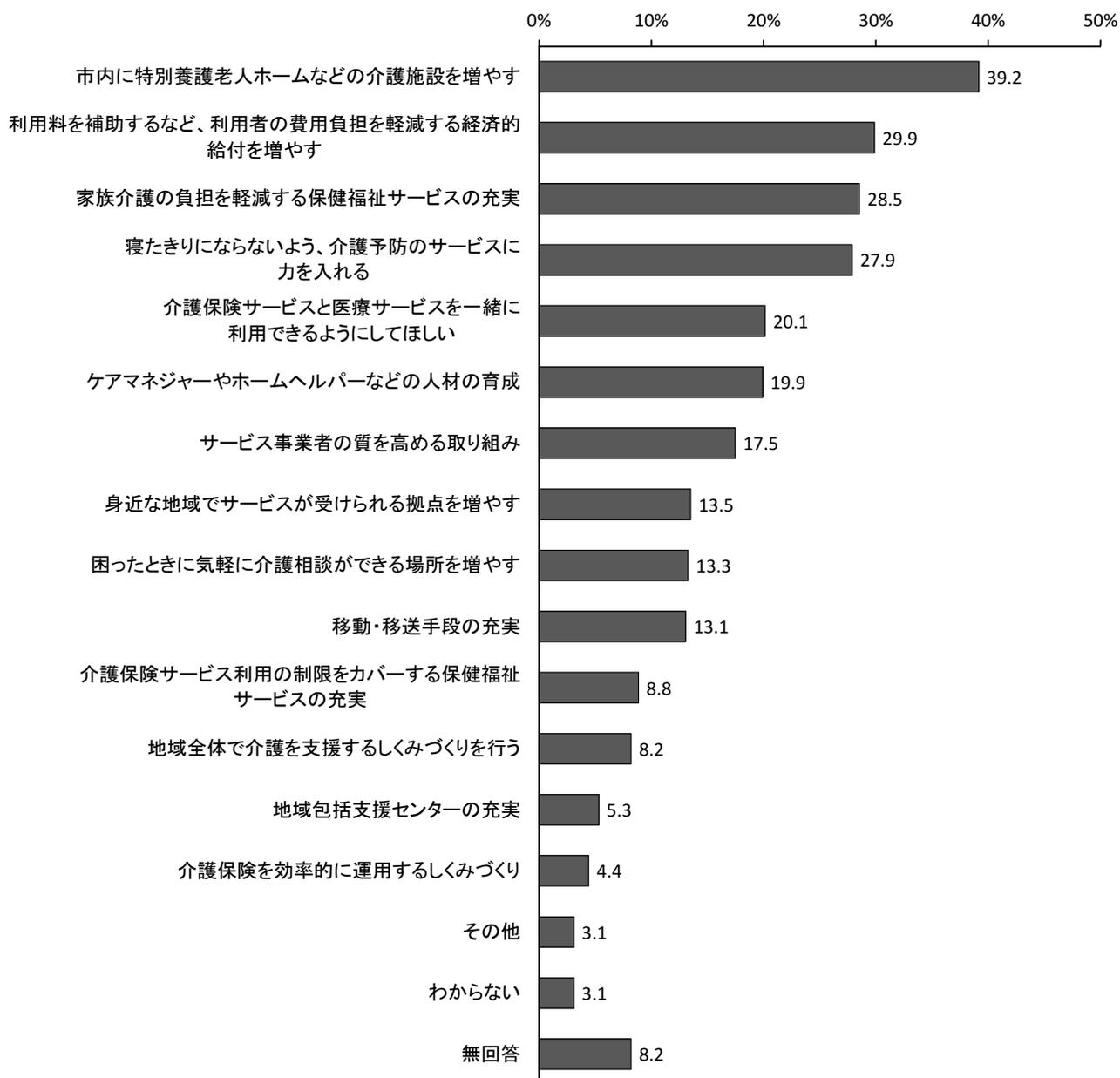
介護者が不安に感じる介護は、「外出の付き添い、送迎など」35.2%が最も多く、次いで「入浴・洗身」33.0%、「食事の準備 (調理など)」32.5%、「その他の家事 (掃除、洗濯、買い物など)」30.5%と続いています。



(7) 介護サービスをよりよくするために市が力を入れるべきこと（B-問11）

介護サービスをよりよくするために市が力を入れるべきことは、「市内に特別養護老人ホームなどの介護施設を増やす」39.2%が最も多く、次いで「利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やす」29.9%、「家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスの充実」28.5%などが続きます。

介護サービスをよりよくするため、市が力を入れるべきこと(複数回答)(全体=452)



第4章 介護保険事業所調査

第4章 介護保険事業所調査

1 事業所の属性（問2）

(1) 組織形態

組織形態は、「株式会社」41.6%が最も多く、「医療法人」14.3%、「社会福祉法人」13.0%、「社団法人」「有限会社」「NPO」がそれぞれ6.5%と続いています。

	全体	社会福祉法人	社会福祉協議会	福祉公社・事業団	社団法人	財団法人	医療法人	J A・生協	株式会社	有限会社	N P O	その他	無回答
事業所数	77事業所	10	0	0	5	1	11	1	32	5	5	7	0
割合(%)	100.0%	13.0	0.0	0.0	6.5	1.3	14.3	1.3	41.6	6.5	6.5	9.1	0.0

(2) 事業所の種類

主な事業所の種類は、「通所介護」「地域密着型通所介護」19.5%が最も多く、「居宅介護支援」「訪問介護」11.7%が続いています。

(3) 併設する事業所の種類

併設する事業所の種類は、「居宅介護支援」18.2%が最も多く、「通所介護」13.0%が続いています。

	主な事業所の種類		併設する事業所の種類 (複数回答)	
	事業所数	割合(%)	事業所数	割合(%)
合計	77事業所	100.0	—	—
地域包括支援センター	—	—	7	9.1
居宅介護支援	9	11.7	14	18.2
訪問介護	9	11.7	9	11.7
通所介護	15	19.5	10	13.0
訪問入浴介護	0	0.0	0	0.0
訪問看護	8	10.4	9	11.7
訪問リハビリ	0	0.0	1	1.3
通所リハビリ	3	3.9	4	5.2
居宅療養管理指導	0	0.0	3	3.9
住宅改修・福祉用具	0	0.0	1	1.3
短期入所生活・療養介護	0	0.0	6	7.8
介護老人福祉施設	3	3.9	2	2.6
介護老人保健施設	2	2.6	1	1.3
介護療養型医療施設	1	1.3	0	0.0
特定施設入居者生活介護	2	2.6	0	0.0
小規模多機能型居宅介護	3	3.9	4	5.2
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0.0	0	0.0

＜前のページから続く＞

	主な事業所の種類		併設する事業所の種類 (複数回答)	
	事業所数	割合 (%)	事業所数	割合 (%)
合計	77 事業所	100.0	—	—
夜間対応型訪問介護	0	0.0	0	0.0
認知症対応型通所介護	1	1.3	3	3.9
認知症対応型共同生活介護	5	6.5	4	5.2
看護小規模多機能型居宅介護	0	0.0	0	0.0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0	0	0.0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0.0	0	0.0
地域密着型通所介護	15	19.5	8	10.4
その他	0	0.0	3	3.9
無回答	1	1.3	9	11.7
特になし	—	—	20	26.0

(4) 職員・スタッフの人数

1 事業所あたりの職員・スタッフの平均人数は、以下のとおりです。

	介護支援専門員 (42 事業所)						事務管理者 (77 事業所)	
	常勤	非常勤	うち専従		うち兼務		常勤	非常勤
			常勤	非常勤	常勤	非常勤		
平均 (人)	2.6	0.4	1.4	0.2	0.9	0.1	0.3	0.2

※介護支援専門員の平均人数は、介護支援専門員がいる 42 事業所を母数としています。

(5) 職員の資格の所持状況

1 事業所あたりの職員の資格の所持状況は、以下のとおりです。

事業所数 77	常勤 平均 (人)	非常勤 平均 (人)
社会福祉士	0.4	0.1
介護福祉士	4.6	2.3
精神保健福祉士	0.0	0.0
医師	0.1	0.2
歯科医師	0.0	0.0
保健師・看護師	1.0	1.0
管理栄養士・栄養士	0.1	0.0
薬剤師	0.1	0.0
理学療法士	0.3	0.2
作業療法士	0.1	0.1
言語聴覚士	0.0	0.0
歯科衛生士	0.0	0.0
あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	0.1	0.1
ホームヘルパー 実務者研修修了者 (旧1級)	0.3	0.5
ホームヘルパー 初任者研修修了者 (旧2級)	0.8	2.8

2 居宅介護支援事業所の状況について

(1) ケアプランの給付管理件数（問3）

多摩市の要支援・要介護認定者に対し作成した平成28年4月のケアプランの給付管理件数は、総件数は1,548件、1事業所あたり平均103.2件で、内訳をみると「要介護1」が平均30.6件と最も多く、「要介護2」平均26.7件、「要介護3」平均17.1件が続いています。

15事業所	総件数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中
件数	1,548件	90	96	459	400	256	149	98	4
平均件数	103.2	6.0	6.4	30.6	26.7	17.1	9.9	6.5	0.3

※平均件数は、居宅介護支援事業所のうち回答のあった15事業所を母数としています。

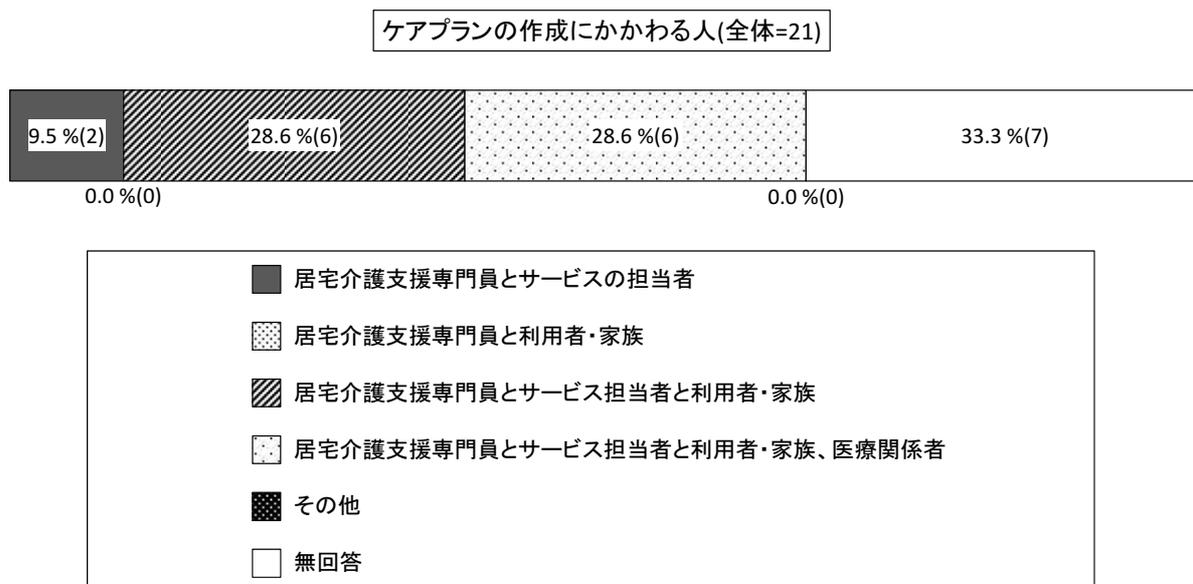
(2) ケアマネジャーの人数（問4）

多摩市を中心に活動しているケアマネジャーの人数は、1事業所あたり平均4.9人であり、そのうち主任ケアマネジャーは平均1.1人となっています。

※平均人数は、居宅介護支援事業所のうち回答のあった11事業所を母数としています。

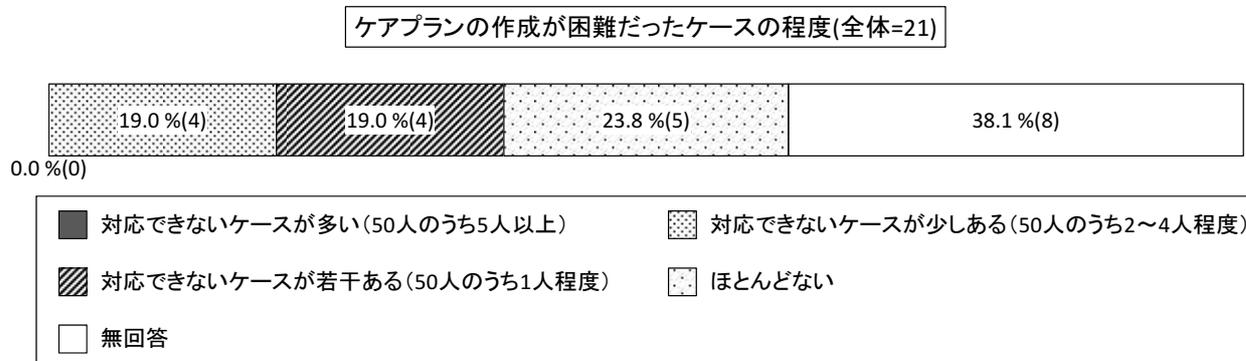
(3) ケアプランの作成にかかわる人（問5）

ケアプランの作成にかかわる人は、「居宅介護支援専門員とサービス担当者」と利用者・家族」「居宅介護支援専門員とサービス担当者」と利用者・家族、医療関係者」28.6%が最も多く、「居宅介護支援専門員とサービスの担当者」9.5%が続いています。



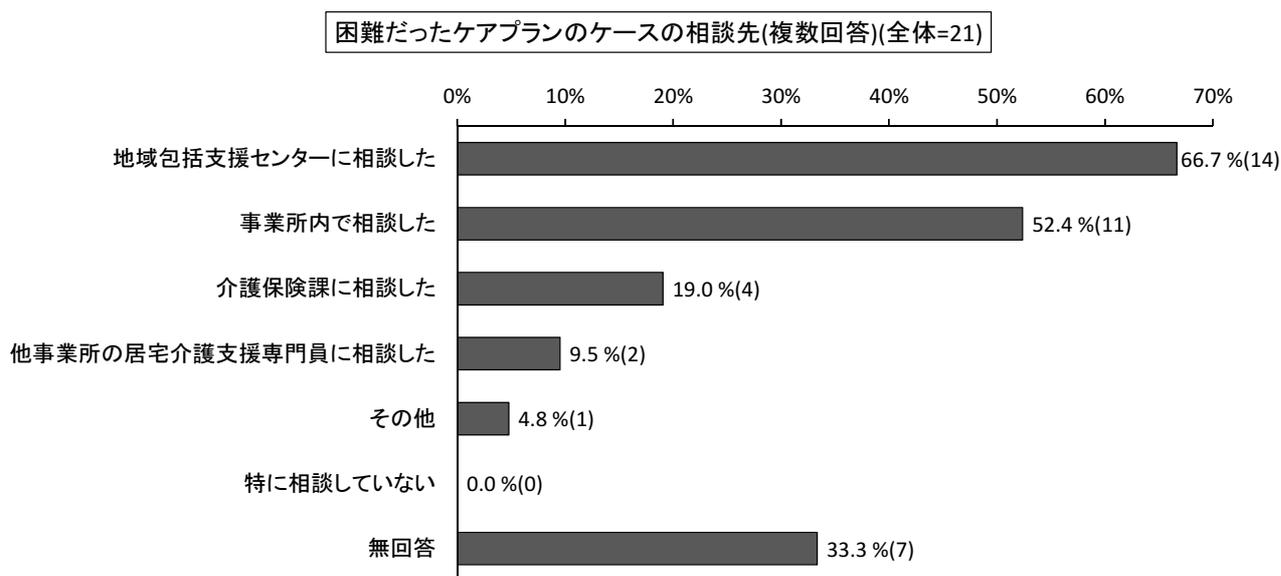
(4) ケアプランの作成が困難だったケースの程度（問6）

事業所だけでケアプランの作成が困難だったケースの程度は、「ほとんどない」が 23.8%と最も多く、「対応できないケースが少しある（50 人のうち2～4人程度）」「対応できないケースが若干ある（50 人のうち1人程度）」19.0%が続いています。



(5) 困難だったケアプランのケースの相談先（問7）

困難だったケアプランのケースの相談先は、「地域包括支援センターに相談した」66.7%が最も多く、次いで「事業所内で相談した」52.4%、「介護保険課に相談した」19.0%となっています。



3 居宅・施設サービス提供事業所の状況について

(1) 市内の利用者数（問8）

平成 28 年 4 月の市内の利用者の総人数は 1 事業所あたり平均 135.9 人で、内訳をみると「要介護 2(平均 38.2 人)」が最も多く、「要介護 3(平均 30.2 人)」、「要介護 1(平均 20.5 人)」が続いています。

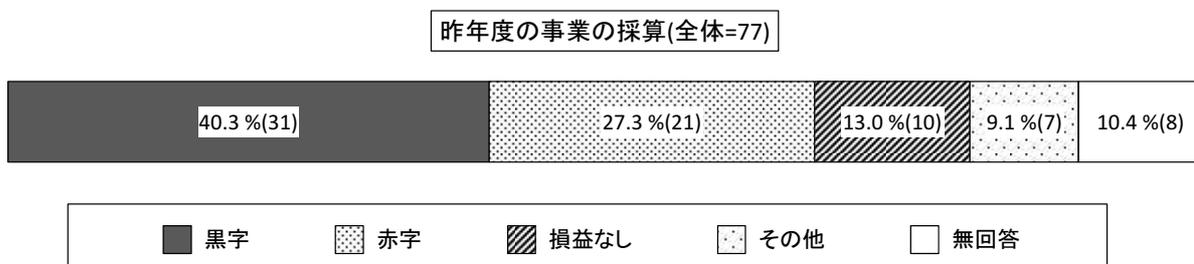
53 事業所	総人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中
人数	7,205 人	319	372	1,087	2,022	1,602	1,194	593	16
平均人数	135.9 人	6.0	7.0	20.5	38.2	30.2	22.5	11.2	0.3

※平均件数は、居宅・施設サービス提供事業所のうち回答のあった 53 事業所を母数としています。

4 事業運営について

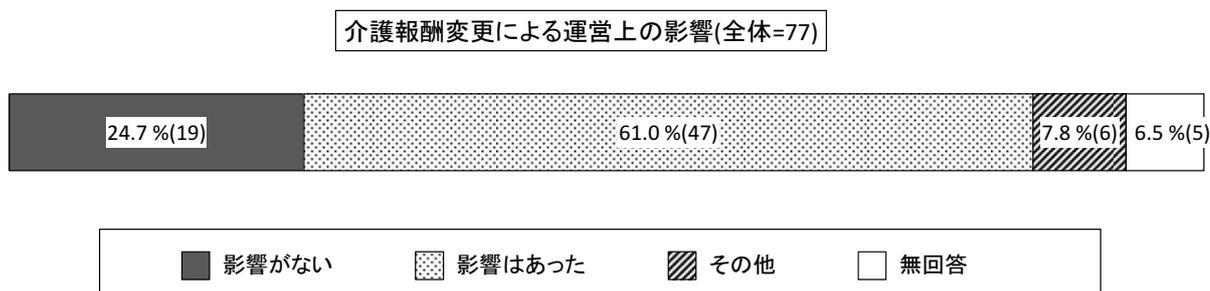
(1) 昨年度の事業の採算（問9）

昨年度の事業の採算は、「黒字」が40.3%、「赤字」が27.3%であり、黒字が赤字を上回っています。



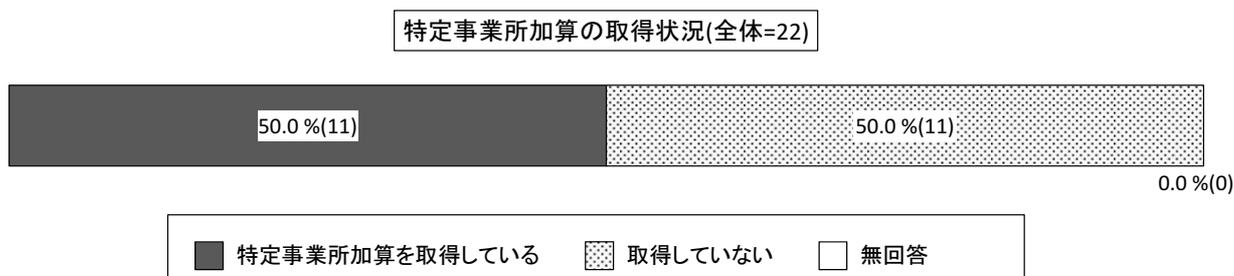
(2) 介護報酬変更による運営上の影響（問10）

平成27年度介護報酬改定による運営上の影響は、「影響はあった」が61.0%、「影響がない」が24.7%となっています。



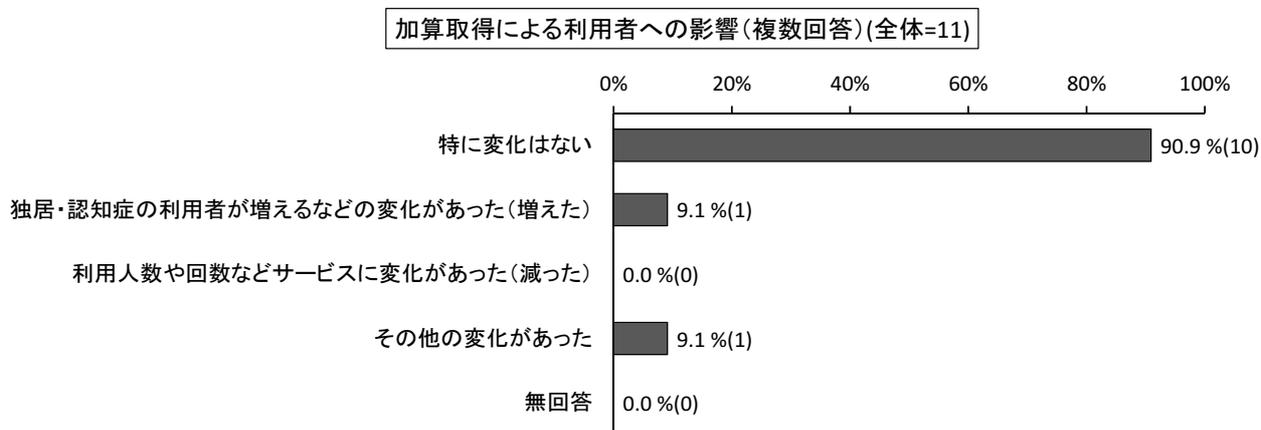
(3) 特定事業所加算の取得状況（問11）

特定事業所加算の取得状況は、「特定事業所加算を取得している」「取得していない」ともに50.0%となっています。



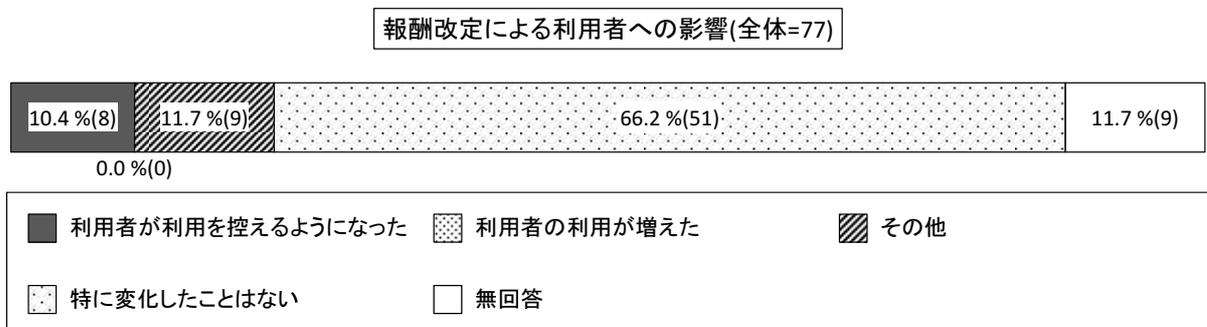
(4) 加算取得による利用者への影響（問 11-1）

特定事業所加算を取得している事業所に、取得による利用者への影響をお聞きしたところ、11 事業所のうち 10 事業所が「特に変化はない」90.9%と回答しています。なお、「利用人数や回数などサービスに変化があった（減った）」の回答はありません。



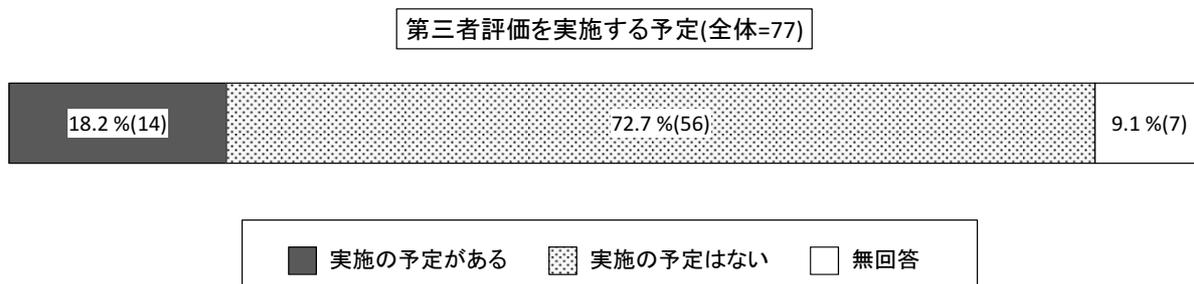
(5) 報酬改定による利用者への影響（問 12）

平成 27 年度の報酬改定による利用者への影響は、6 割以上が「特に変化したことはない」66.2%と回答しています。また、「利用者が利用を控えるようになった」と「その他」が1 割を超えています。なお「利用者の利用が増えた」はありません。



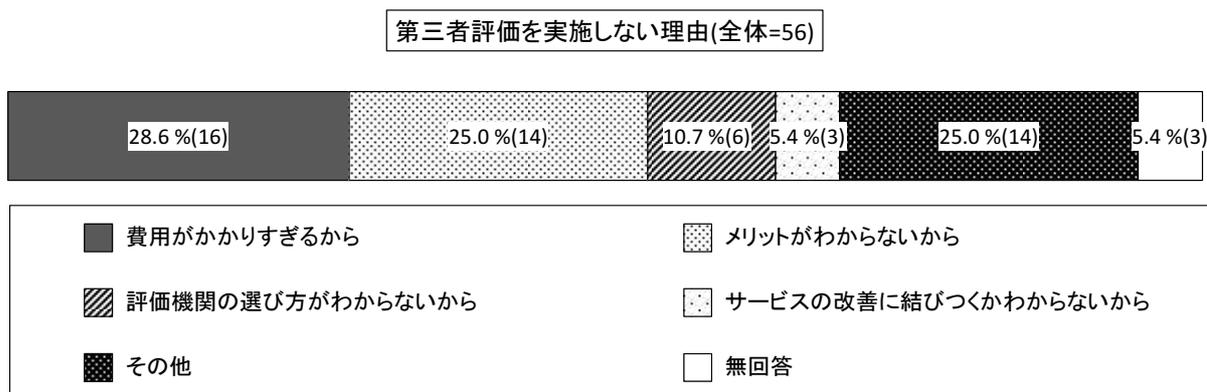
(6) 第三者評価の実施予定（問 13）

第三者評価の実施予定は、「実施の予定がある」18.2%が2割近くとなっています。



(7) 第三者評価の実施予定がない理由（問 13-1）

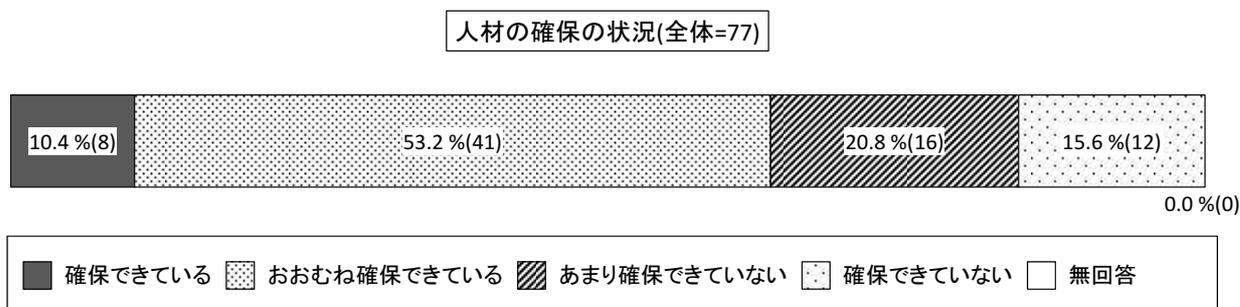
第三者評価の実施予定がない事業所に、第三者評価の実施予定がない理由をお聞きしたところ、「その他」を除き、「費用がかかりすぎるから」28.6%が最も多く、「メリットがわからないから」25.0%、「評価機関の選び方がわからないから」10.7%が続いています。



5 人材育成・人材確保について

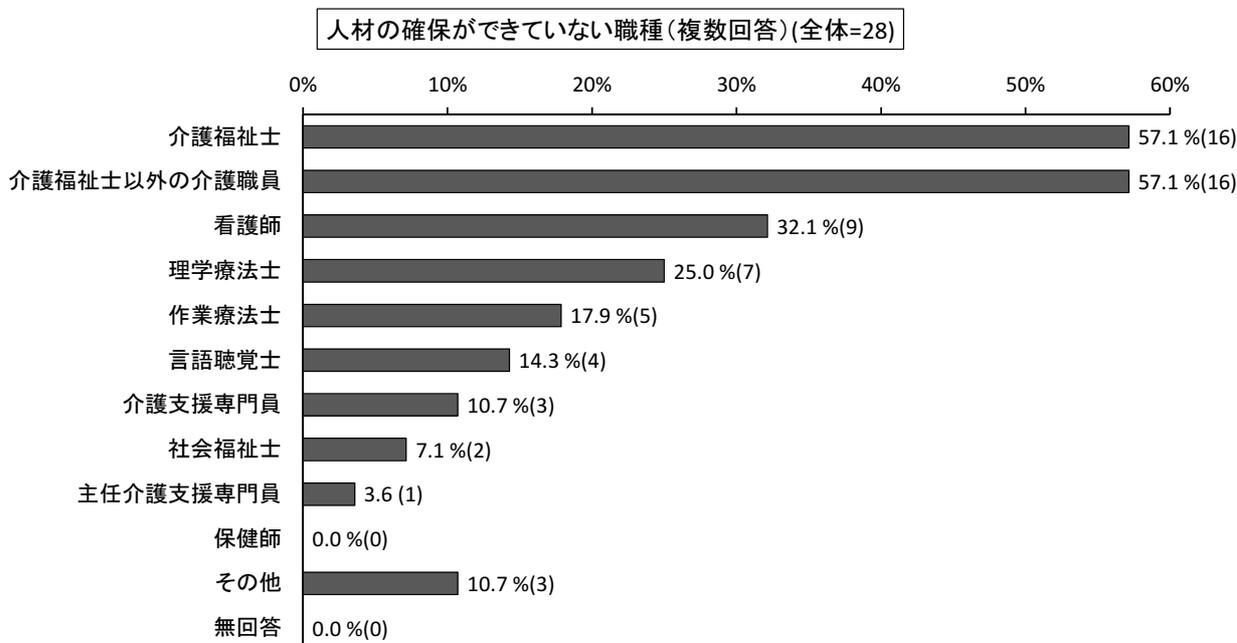
(1) 人材の確保状況（問 15）

人材の確保状況は、「おおむね確保できている」53.2%が最も多く、次いで「あまり確保できていない」20.8%、「確保できていない」15.6%と続いています。



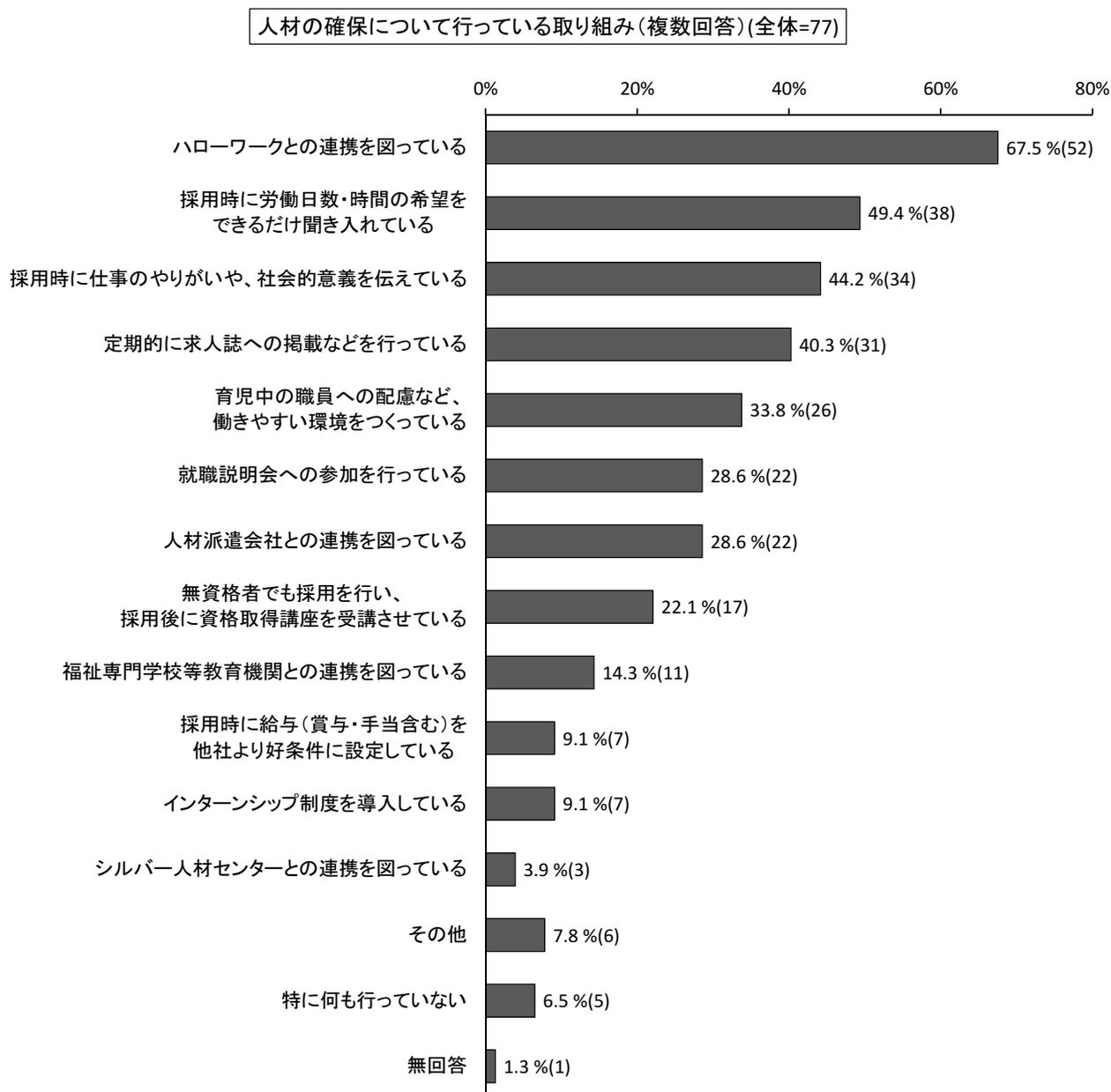
(2) 人材の確保ができていない職種（問 15-1）

人材の確保が「あまり確保できていない」「確保できていない」と答えた事業所に、人材の確保ができていない職種をお聞きしたところ、「介護福祉士」「介護福祉士以外の介護職員」57.1%がそれぞれ多く、「看護師」32.1%、「理学療法士」25.0%と続いています。



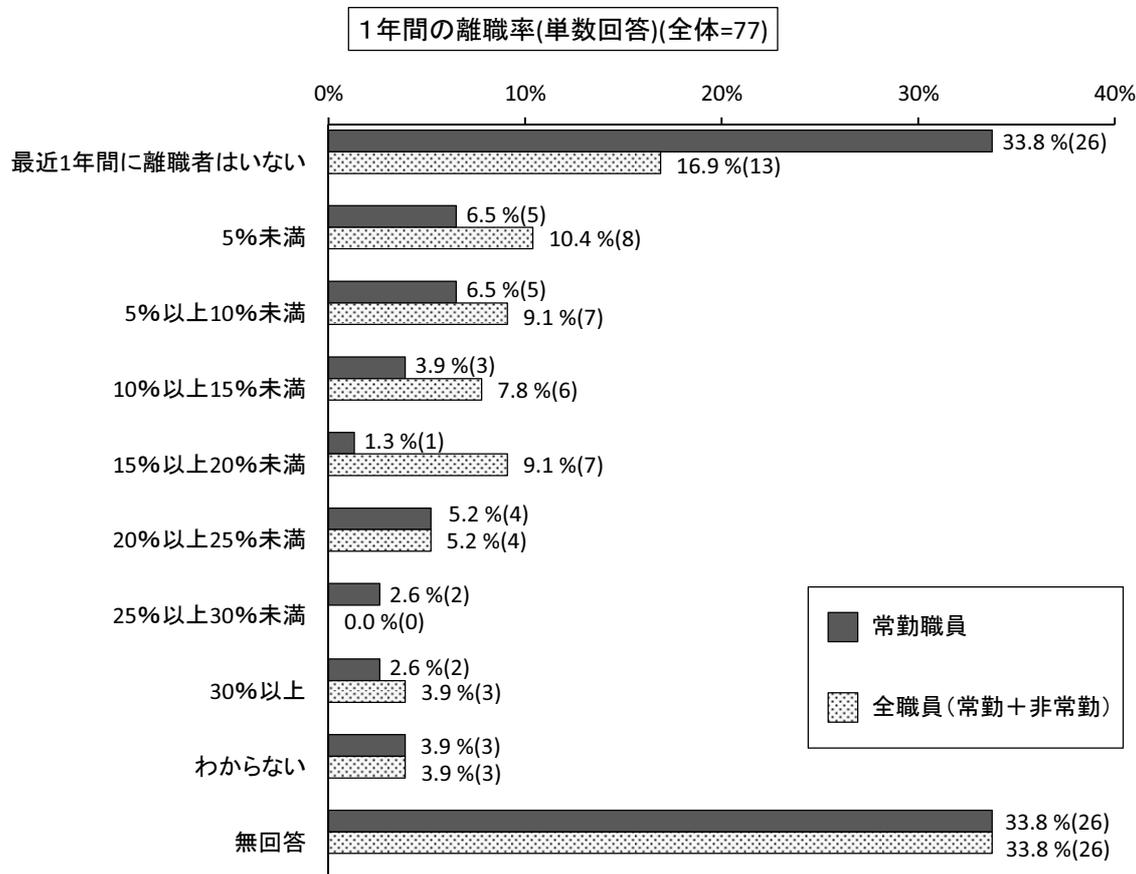
(3) 人材の確保について行っている取り組み（問16）

人材の確保について行っている取り組みは、「ハローワークとの連携を図っている」67.5%が最も多く、「採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている」49.4%、「採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている」44.2%と続いています。



(4) 1年間の離職率について (問 17)

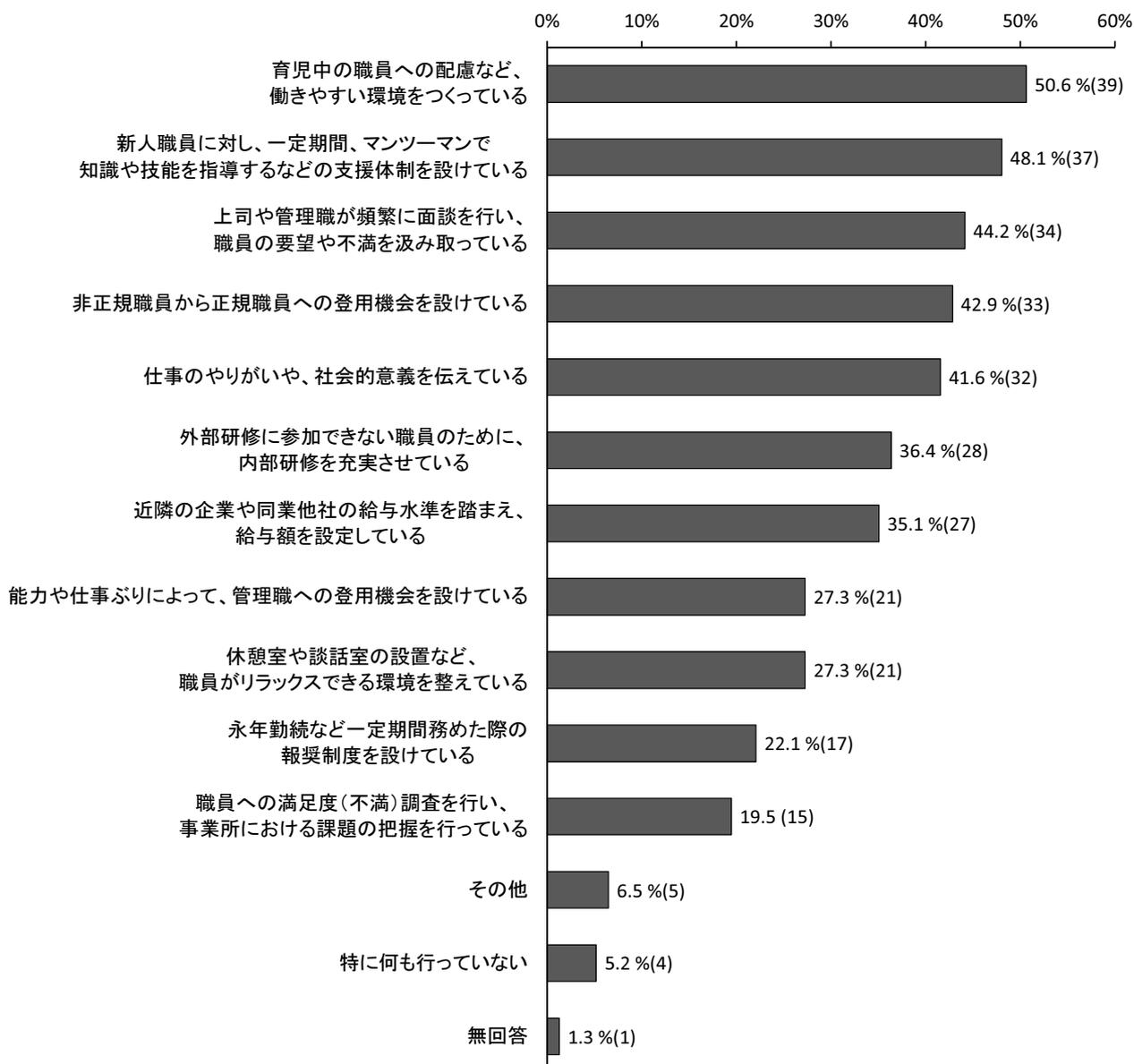
平成27年度1年間の職員の離職率については、常勤職員、全職員（常勤＋非常勤）ともに「最近1年間に離職者はいない」が最も多くなっています。



(5) 人材の定着・育成（離職の防止）についての取り組み（問18）

人材の定着・育成（離職の防止）についての取り組みは、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」50.6%が最も多く、「新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている」48.1%、「上司や管理職が頻繁に面接を行い、職員の要望や不満を汲み取っている」44.2%などが続いています。

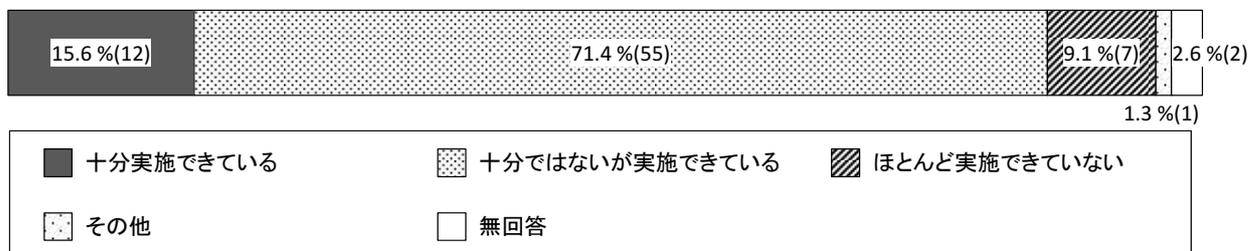
人材の定着・育成（離職の防止）についての取り組み（複数回答）(全体=77)



(6) 事業所内での講習会・研修の実施状況（問 19(1)）

事業所内での講習会・研修の実施状況は、「十分実施できている」は 15.6%となっており、「十分ではないが実施できている」が 71.4%と約7割を占めています。

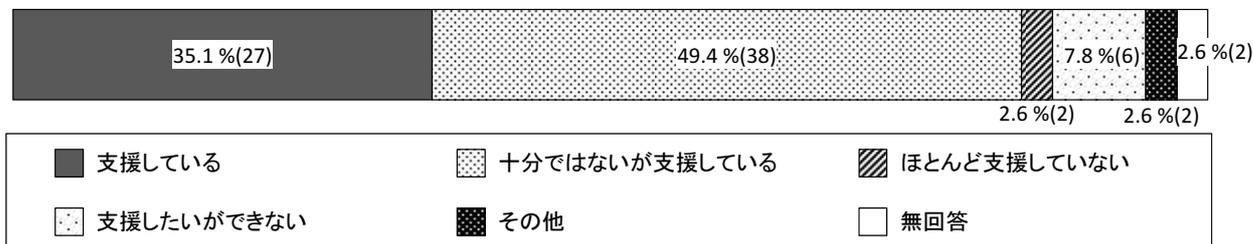
事業所内での講習会・研修の実施状況(全体=77)



(7) 職員の外部の研修等への参加支援状況（問 19(2)）

職員が外部の研修や事例検討会、勉強会に積極的に参加できるように支援しているかをお聞きしたところ、「支援している」35.1%、「十分でないが支援している」49.4%を合計すると 84.5%に達し、8割を超える事業所が支援しています。

職員の外部の研修等への参加支援状況(全体=77)



(8) 介護職員処遇改善加算の取得状況（問 20）

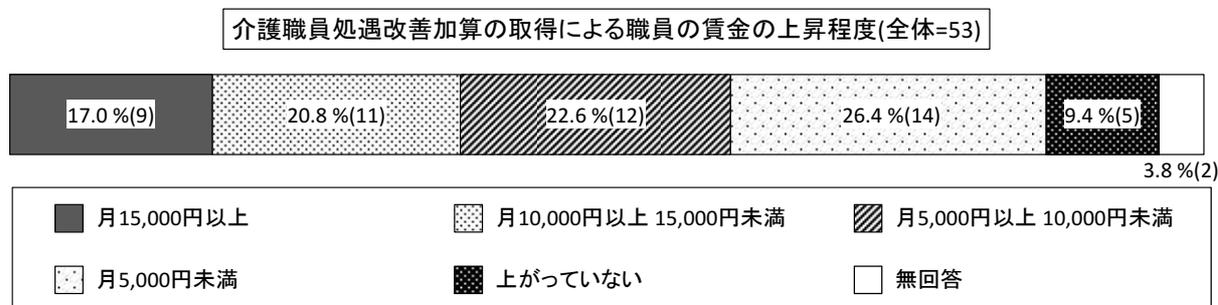
介護職員処遇改善加算の取得は、「取得している」が 68.8%と約7割となっています。

介護職員処遇改善加算取得状況(全体=77)



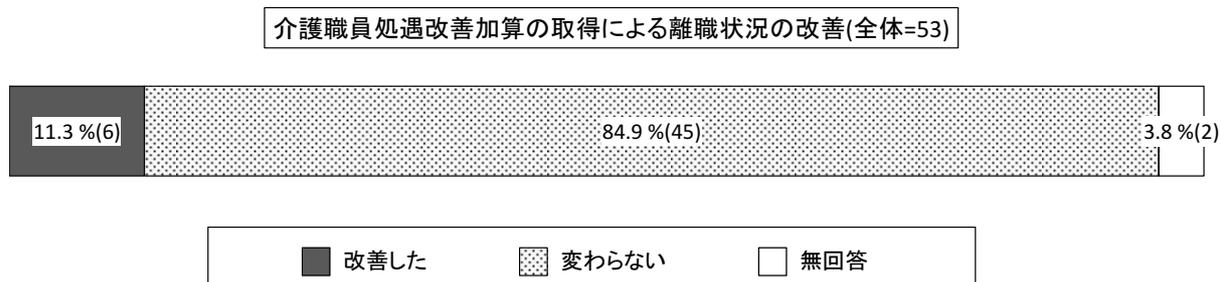
(9) 介護職員処遇改善加算の取得による職員の賃金の上昇程度（問 20-1）

介護職員処遇改善加算の取得による職員の賃金の上昇程度は、「月 5,000 円未満」26.4%が最も多く、次いで「月 5,000 円以上 10,000 円未満」22.6%、「月 10,000 円以上 15,000 円未満」20.8%が続いています。



(10) 介護職員処遇改善加算の活用による職員の離職状況の改善（問 20-2）

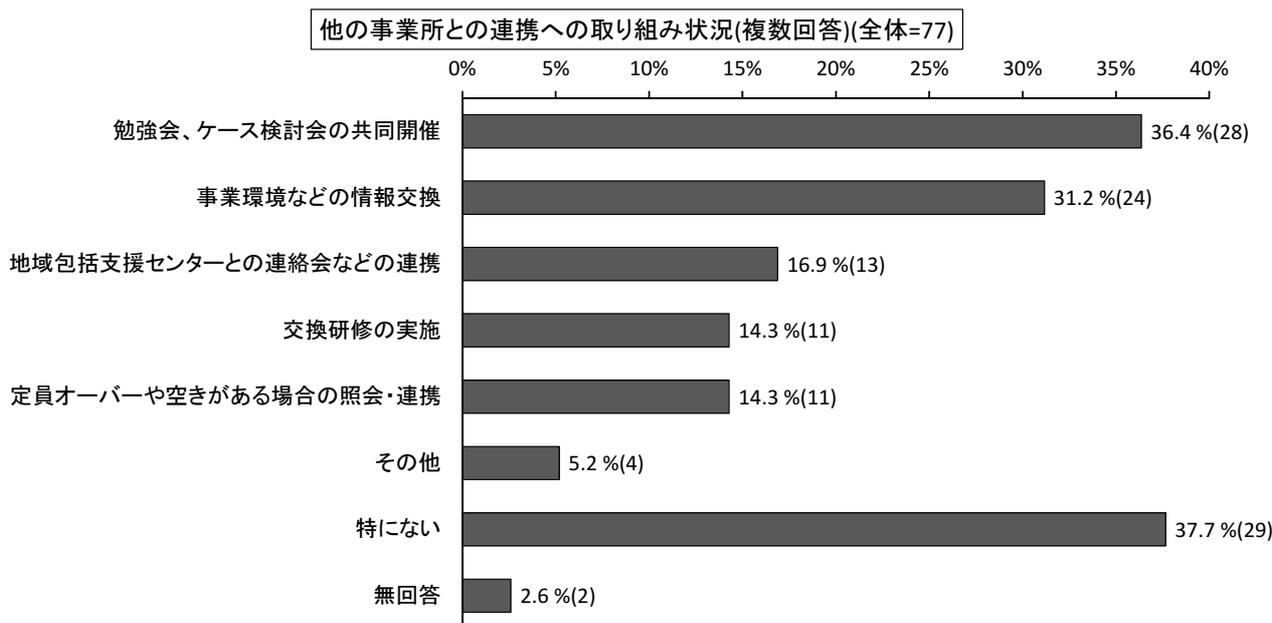
介護職員処遇改善加算の活用による職員の離職状況の改善は、「改善した」が11.3%にとどまっています。



6 他事業所との連携について

(1) 他の事業所等との連携への取り組み状況（問 21）

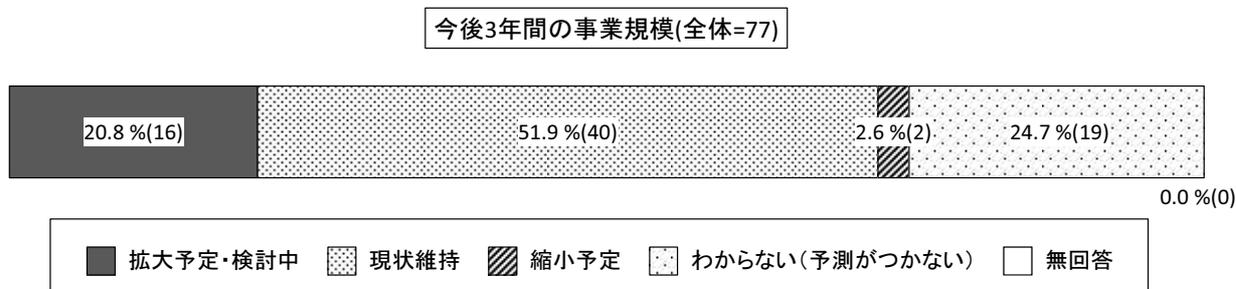
他の事業所等との連携への取り組み状況は、「勉強会、ケース検討会の共同開催」36.4%が最も多く、次いで「事業環境などの情報交換」31.2%、「地域包括支援センターとの連絡会などの連携」16.9%が続いています。なお、「特にない」は37.7%となっています。



7 今後の事業運営について

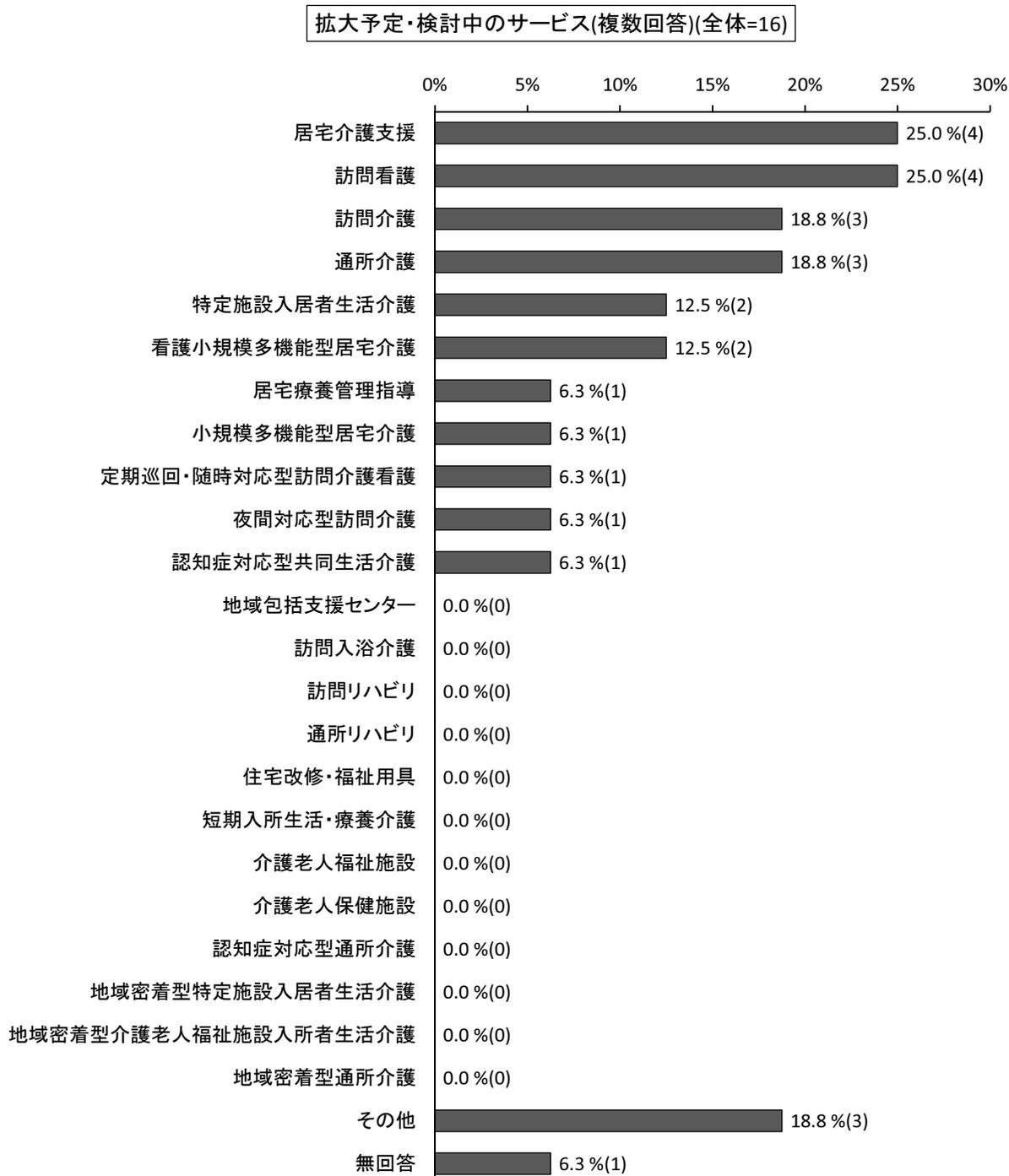
(1) 今後3年間の事業規模（問 22）

今後3年間の事業規模は、「現状維持」が51.9%、「わからない（予測がつかない）」が24.7%、「拡大予定・検討中」が20.8%となっています。



(2) 拡大予定・検討中のサービス（問 22-1）

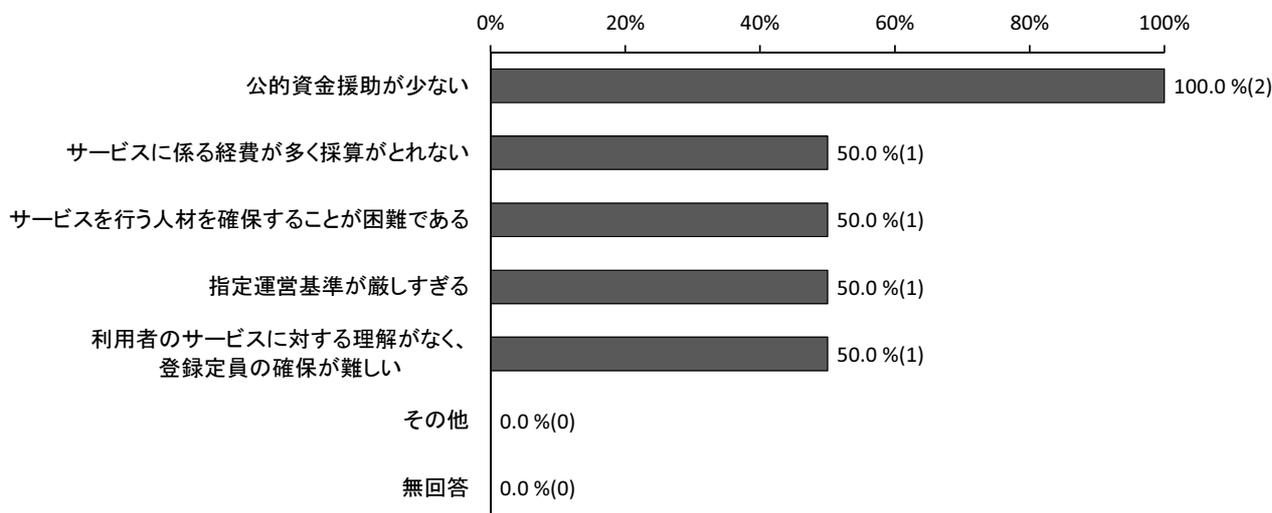
今後 3 年間の事業規模を拡大予定・検討中と答えた事業所に、拡大予定・検討中のサービスをお聞きしたところ、「居宅介護支援」及び「訪問看護」がそれぞれ 25.0%と多く、「訪問介護」「通所介護」がそれぞれ 18.8%と続いています。



(3) サービス参入に対する課題（問 22-2）

拡大予定・検討中のサービスにおいて、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」及び「夜間対応型訪問介護」と答えた事業所に、参入にあたっての課題をお聞きしたところ、対象の2事業所ともに「公的資金援助が少ない」と答えています。

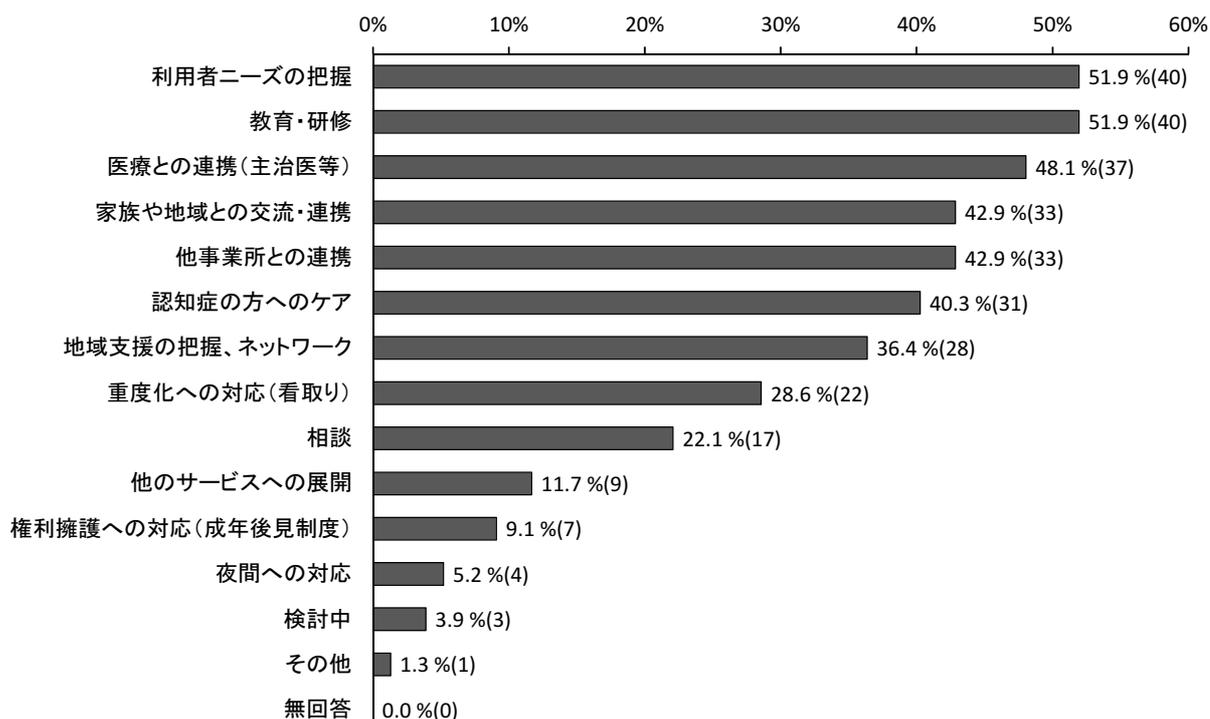
「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」及び「夜間対応型訪問介護」の参入にあたっての課題（複数回答）(全体=2)



(4) これから特に力を入れたいこと（問 23）

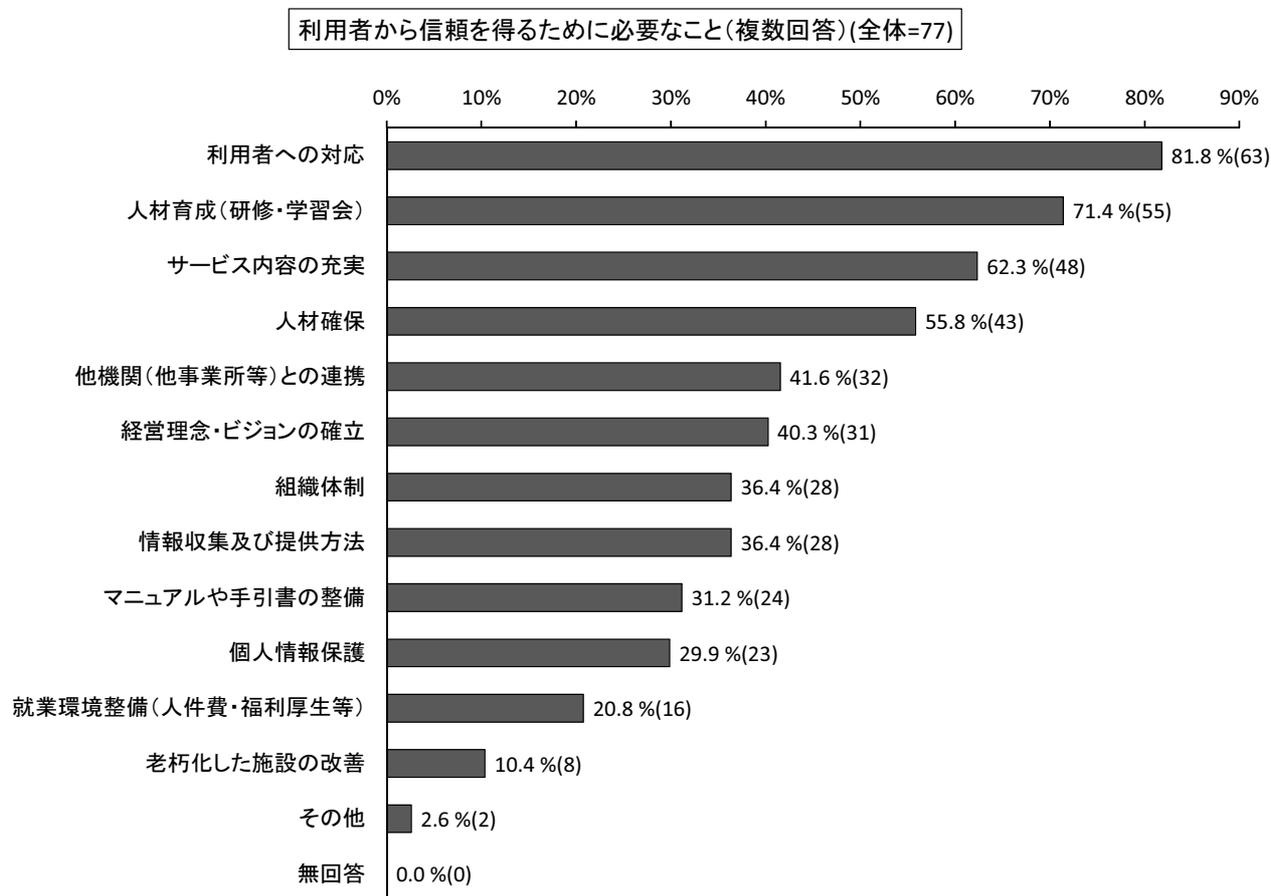
これから特に力を入れたいことは、「利用者ニーズの把握」及び「教育研修」51.9%が最も多く、「医療との連携（主治医等）」48.1%、「家族や地域との交流・連携」及び「他事業所との連携」がともに42.9%と続いています。

これから特に力を入れたいこと（複数回答）(全体=77)



(5) 利用者から信頼を得るために必要なこと（問 24）

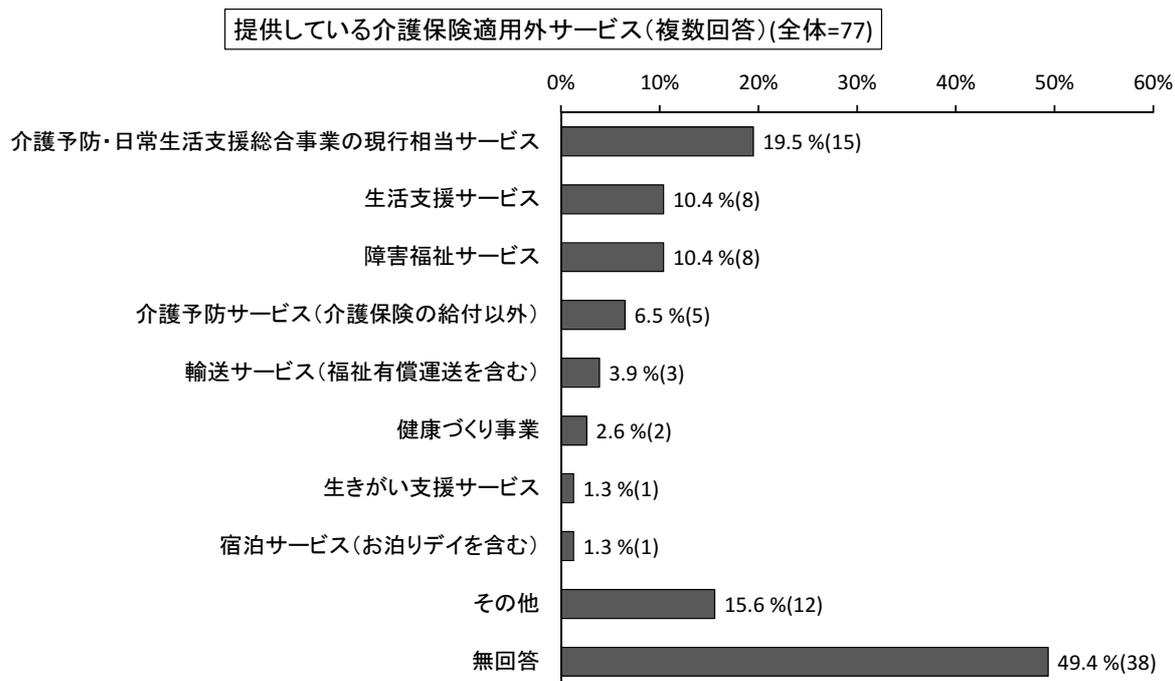
利用者から信頼を得るために必要なことは、「利用者への対応」81.8%が最も多く、「人材育成（研修・学習会）」71.4%、「サービス内容の充実」62.3%、「人材確保」55.8%が続いています。



8 介護保険外サービスについて

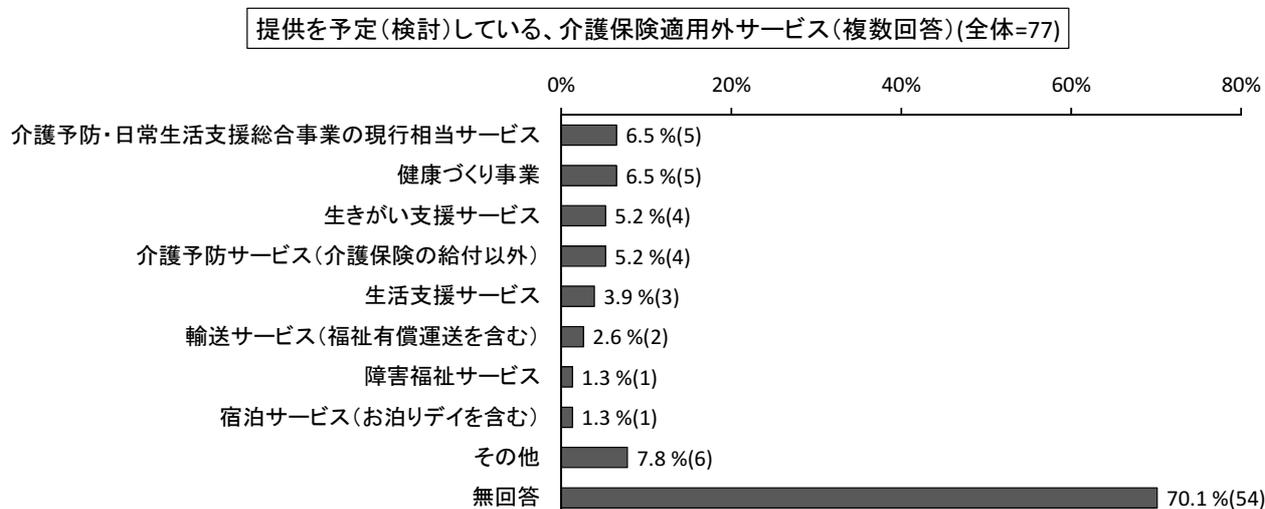
(1) 介護保険適用外サービスの提供状況（問 25）

介護保険適用外サービスの提供状況は、「介護予防・日常生活支援総合事業の現行相当サービス」19.5%が最も多く、次いで「生活支援サービス」及び「障害福祉サービス」が10.4%、「介護予防サービス（介護保険の給付以外）」6.5%が続いています。



(2) 提供を予定（検討）している介護保険適用外サービス（問 26）

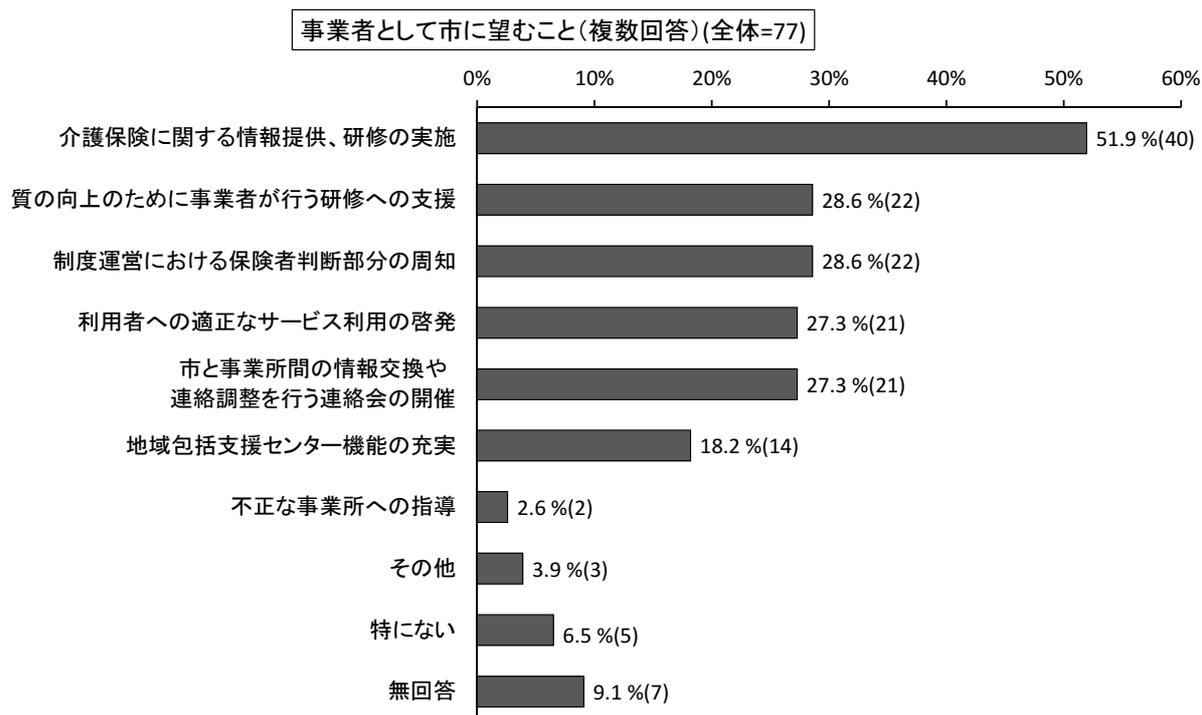
介護保険適用外サービスの提供予定（検討）については、「介護予防・日常生活支援総合事業の現行相当サービス」及び「健康づくり事業」がともに6.5%と最も多く、「生きがい支援サービス」、「介護予防サービス（介護保険の給付以外）」がそれぞれ5.2%となっています。



9 市への意向について

(1) 事業者として市に望むこと（問 27）

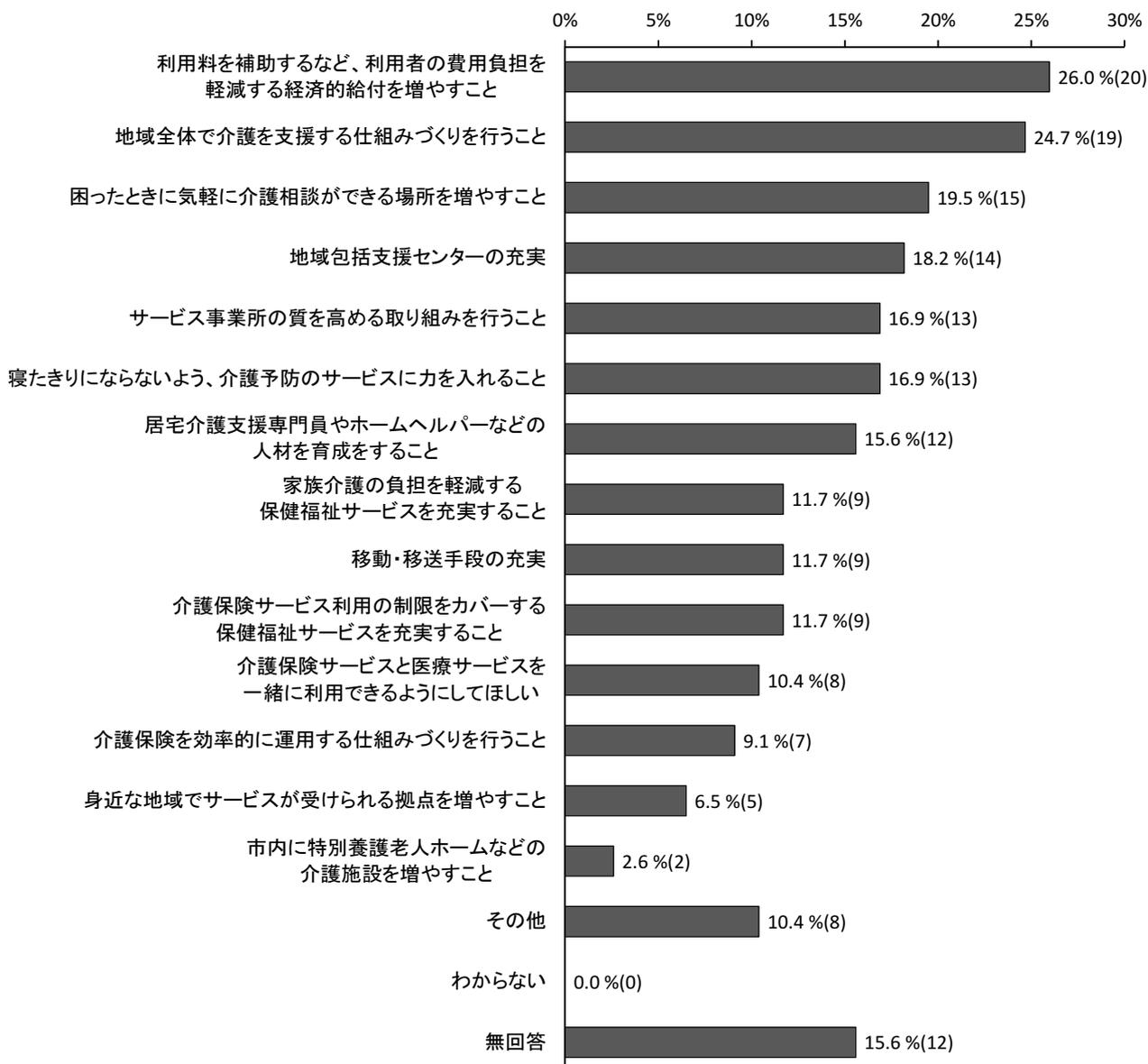
事業者として保険者である市に望むことは、「介護保険に関する情報提供、研修の実施」51.9%が最も多く、「質の向上のために事業者が行う研修への支援」及び「制度運営における保険者判断部分の周知」が 28.6%、「利用者への適正なサービス利用の啓発」、「市と事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催」が 27.3%と続いています。



(2) 介護サービスをよりよくするために市が力を入れるべきこと（問 28）

介護サービスをよりよくするために市が力を入れるべきことは、「利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」26.0%が最も多く、次いで「地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行うこと」24.7%、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと」19.5%、「地域包括支援センターの充実」18.2%が続いています。

介護サービスをよりよくするために市が力を入れるべきこと(複数回答)(全体=77)



資料編 調査票及び集計結果

あなたご自身について

(1) あなたの性別を教えてください

(N=3248)

1. 男性 43.7% (1418) 2. 女性 53.5% (1739)

無回答 2.8% (91)

(2) あなたの年齢を教えてください

(N=3248)

1. 65～69歳 24.8% (804) 2. 70～74歳 21.2% (687) 3. 75～79歳 26.0% (844)
 4. 80～84歳 17.2% (560) 5. 85～89歳 6.5% (212) 6. 90～94歳 1.9% (61)
 7. 95～99歳 0.4% (14) 8. 100歳以上 0.1% (2) 無回答 2.0% (64)

(3) お住まいの地域はどこですか。該当の地域番号に○をつけてください。

(N=3248)

地域番号	地域包括支援センター	お住まいの地域 (包括支援センター担当地域)
1.	西部地域包括支援センター地域 20.7% (672)	落川、百草、桜ヶ丘、関戸6丁目、 和田 (3丁目を除く)、東寺方 (3丁目を除く) 19.0% (618)
2.		貝取 (地番) 1.7% (54)
3.	東部地域包括支援センター地域 19.8% (643)	連光寺、聖ヶ丘、馬引沢、諏訪
4.	多摩センター地域 包括支援センター地域 19.7% (639)	落合、鶴牧、唐木田、中沢、山王下、南野2～3丁目
5.	中部地域包括支援センター地域 18.1% (589)	永山2～7丁目、貝取2～5丁目、豊ヶ丘2～6丁目、南野1丁目
6.	北部地域包括センター地域 18.8% (611)	一ノ宮、和田3丁目、東寺方3丁目、関戸1～5丁目 11.0% (358)
7.		愛宕、乞田、貝取1丁目、豊ヶ丘1丁目、永山1丁目 7.8% (253)
	無回答 2.9% (94)	

(4) あなたのお身体の状況 (要介護度) について教えてください

(N=3248)

1. 事業対象者 (介護予防・日常生活支援総合事業対象者) である 1.2% (38)
 2. 要支援1 2.3% (76) 3. 要支援2 1.2% (38) 4. 要介護1～5 0.4% (13)
 5. 事業対象者、要支援、要介護の認定を受けていない 94.2% (3058)

無回答 0.8% (25)

※ 平成29年2月1日現在の要介護度でお答えください。
 事業対象者、要支援、要介護の認定を受けている方は、介護保険被保険者証に記載されています。

※この欄をご確認ください。

介護保険被保険者証		見本	
番号	住所	氏名	性別
被	保	険	者
132241	東京都多摩市関戸六丁目12番地	田中 太郎	男
交付年月日	保険者番号	並にに保険	者の名称及
	132241	東京	印
認定年月日 (事業対象者の場合は、事業対象者の認定年月日)	認定の有効期間	居住サービス等	区分支給限度基準額
		1月当たり	
要介護区分等	区分支給限度基準額	1月当たり	要介護区分等
		サービスの種類 介護支援給付基準額	
認定審査会の 意見及び サービス 種類の指定			

問1 あなたの家族や生活状況について	
(1) 家族構成をお教えてください (N=3248)	
1. 1人暮らし	20.3% (659)
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	44.1% (1433)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	3.8% (122)
4. 息子・娘との2世帯	14.0% (455)
5. その他	14.6% (473)
	無回答 3.3% (106)
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (N=3248)	
1. 介護・介助は必要ない	85.1% (2763)
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	6.4% (207)
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	4.3% (140)
	無回答 4.2% (138)
【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】	
① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも) (N=347)	
1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	10.7% (37)
2. 心臓病	14.1% (49)
3. がん(悪性新生物)	6.1% (21)
4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)	5.8% (20)
5. 関節の病気(リウマチ等)	9.2% (32)
6. 認知症(アルツハイマー病等)	6.6% (23)
7. パーキンソン病	3.2% (11)
8. 糖尿病	9.5% (33)
9. 腎疾患(透析)	1.7% (6)
10. 視覚・聴覚障害	6.6% (23)
11. 骨折・転倒	13.8% (48)
12. 脊椎損傷	8.1% (28)
13. 高齢による衰弱	15.9% (55)
14. その他()	16.1% (56)
15. 不明	1.4% (5)
	無回答 20.2% (70)
【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】	
② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも) (N=347)	
1. 配偶者(夫・妻)	35.2% (122)
2. 息子	18.7% (65)
3. 娘	21.0% (73)
4. 子の配偶者	6.1% (21)
5. 孫	1.7% (6)
6. 兄弟・姉妹	2.6% (9)
7. 介護サービスのヘルパー	9.2% (32)
8. その他()	7.5% (26)
	無回答 25.1% (87)

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (N=3248)	
1. 大変苦しい	6.4% (208)
2. やや苦しい	20.8% (675)
3. ぶつう	59.3% (1925)
4. ややゆとりがある	8.2% (265)
5. 大変ゆとりがある	1.5% (48)
	無回答 3.9% (127)
(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (N=3248)	
1. 持家(一戸建て)	32.9% (1067)
2. 持家(集合住宅)	35.5% (1152)
3. 公営賃貸住宅	20.7% (673)
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)	0.2% (7)
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)	6.1% (198)
6. 借家	0.7% (23)
7. その他	1.4% (44)
	無回答 2.6% (84)
(5) お住まい(主に生活する部屋)は、何階ですか (N=3248)	
1. 1階	42.8% (1391)
2. 2階	19.1% (621)
3. 3階	10.8% (352)
4. 4階	8.3% (271)
5. 5階以上	15.9% (515)
	無回答 3.0% (98)
【(5)で「2～5」(2階以上で生活している)の方のみ】	
① お住まいにエレベーターが設置されていますか (N=1759)	
1. はい	37.9% (667)
2. いいえ	53.5% (941)
	無回答 8.6% (151)

問2 からだを動かすことについて	
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (N=3248)	
1. できるし、している	65.5% (2129)
2. できるけどしていない	18.2% (591)
3. できない	12.7% (413)
無回答	3.5% (115)
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (N=3248)	
1. できるし、している	78.3% (2542)
2. できるけどしていない	9.6% (312)
3. できない	8.5% (276)
無回答	3.6% (118)
(3) 15分位離れて歩いていきますか (N=3248)	
1. できるし、している	83.8% (2723)
2. できるけどしていない	7.8% (253)
3. できない	5.3% (173)
無回答	3.0% (99)
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (N=3248)	
1. 何度もある	6.7% (219)
2. 1度ある	20.1% (654)
3. ない	71.0% (2306)
無回答	2.1% (69)
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (N=3248)	
1. とても不安である	11.2% (363)
2. やや不安である	31.1% (1009)
3. あまり不安でない	29.7% (965)
4. 不安でない	25.1% (815)
無回答	3.0% (96)
(6) 週に1回以上は外出していますか (N=3248)	
1. ほとんど外出しない	3.0% (96)
2. 週1回	6.5% (210)
3. 週2~4回	42.7% (1387)
4. 週5回以上	45.5% (1478)
無回答	2.4% (77)
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (N=3248)	
1. とても減っている	2.7% (88)
2. 減っている	18.1% (589)
3. あまり減っていない	29.2% (949)
4. 減っていない	47.9% (1555)
無回答	2.1% (67)

(8) 外出を控えていますか (N=3248)	
1. はい	12.6% (410)
2. いいえ	84.8% (2755)
無回答	2.6% (83)
【(8) で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】	
① 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも) (N=410)	
1. 病氣	15.4% (63)
2. 障害(脳卒中の後遺症など)	4.1% (17)
3. 足腰などの痛み	52.7% (216)
4. トイレの心配(失禁など)	17.3% (71)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	7.8% (32)
6. 目の障害	9.8% (40)
7. 外での楽しみがない	18.5% (76)
8. 経済的に出られない	12.7% (52)
9. 交通手段がない	4.6% (19)
10. その他 ()	16.8% (69)
無回答	2.4% (10)

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも) (N=3248)	
1. 徒歩	78.5% (2549)
2. 自転車	16.0% (520)
3. バイク	2.9% (95)
4. 自動車(自分で運転)	31.1% (1009)
5. 自動車(人に乗せてもらう)	17.0% (552)
6. 電車	51.3% (1667)
7. 路線バス	65.1% (2113)
8. 病院や施設のバス	2.0% (66)
9. 車いす	0.4% (12)
10. 電動車いす(カート)	0.1% (3)
11. 歩行器・シルバーカー	0.7% (24)
12. タクシー	14.6% (474)
13. その他 ()	0.5% (15)
無回答	1.1% (37)

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長 平均 158 cm 体重 平均 56 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

(N=3248)

1. はい 24.1% (784) 2. いいえ 73.9% (2399) 無回答 2.0% (65)

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (N=3248)	
1. はい	24. 7% (801)
2. いいえ	73. 6% (2390)
無回答	1. 8% (57)
(4) 口の渾きが気になりますか (N=3248)	
1. はい	27. 2% (884)
2. いいえ	70. 8% (2301)
無回答	1. 9% (63)
(5) 歯磨き(人にやらしてもらった場合も含む)を毎日していますか (N=3248)	
1. はい	91. 4% (2970)
2. いいえ	6. 5% (210)
無回答	2. 1% (68)
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (N=3248)	
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 18. 2% (591) 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 33. 3% (1080)	
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 36. 3% (1178) 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし 7. 7% (249)	
無回答	4. 6% (150)
① 噛み合わせは良いですか (N=3248)	
1. はい	81. 0% (2632)
2. いいえ	15. 4% (499)
無回答	3. 6% (117)
② 【(6) で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか (N=1769)	
1. はい	88. 1% (1559)
2. いいえ	5. 9% (104)
無回答	6. 0% (106)
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (N=3248)	
1. はい	10. 3% (336)
2. いいえ	86. 4% (2805)
無回答	3. 3% (107)
(8) どなたかと食事をもつにする機会はありますか (N=3248)	
1. 毎日ある	53. 3% (1730)
2. 週に何度かある	10. 7% (348)
3. 月に何度かある	17. 1% (557)
4. 年に何度かある	10. 4% (339)
5. ほとんどない	6. 1% (197)
無回答	2. 4% (77)

(9) あなたはどのくらいの頻度で外食をしますか (N=3248)	
1. ほとんど毎日	3. 9% (128)
2. 週3日程度	8. 9% (288)
3. 月1～4回程度	51. 9% (1685)
4. ほとんどしない	33. 5% (1089)
無回答	1. 8% (58)
(10) あなたはどのくらいの頻度で調理品(弁当・惣菜・出前など)を購入し、家で食事をしますか (N=3248)	
1. ほとんど毎日	16. 9% (549)
2. 週3日程度	11. 0% (356)
3. 月1～4回程度	33. 1% (1076)
4. ほとんどしない	36. 8% (1194)
無回答	2. 2% (73)
問4 毎日の生活について	
(1) 物忘れが多いと感じますか (N=3248)	
1. はい	39. 1% (1269)
2. いいえ	56. 7% (1843)
無回答	4. 2% (136)
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (N=3248)	
1. はい	86. 1% (2796)
2. いいえ	11. 1% (360)
無回答	2. 8% (92)
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (N=3248)	
1. はい	22. 7% (737)
2. いいえ	74. 0% (2402)
無回答	3. 4% (109)
(4) バスや電車を使得って1人で外出していますか(自家用車でも可) (N=3248)	
1. できるし、している	90. 7% (2945)
2. できるけどしていない	4. 1% (132)
3. できない	2. 6% (85)
無回答	2. 6% (86)
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (N=3248)	
1. できるし、している	87. 6% (2844)
2. できるけどしていない	7. 6% (246)
3. できない	2. 1% (68)
無回答	2. 8% (90)

(6) 自分で食事の用意をしていますか (N=3248)	
1. できるし、している 74.0% (2402)	2. できるけどしていない 17.9% (581)
3. できない 5.1% (166)	無回答 3.0% (99)
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (N=3248)	
1. できるし、している 84.7% (2761)	2. できるけどしていない 10.2% (330)
3. できない 2.2% (72)	無回答 2.9% (95)
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (N=3248)	
1. できるし、している 85.0% (2760)	2. できるけどしていない 9.6% (311)
3. できない 2.9% (93)	無回答 2.6% (84)
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が蓄積されますか (N=3248)	
1. はい 91.3% (2965)	2. いいえ 5.8% (190)
	無回答 2.9% (93)
(10) 新聞を読んでいますか (N=3248)	
1. はい 81.3% (2639)	2. いいえ 15.9% (518)
	無回答 2.8% (91)
(11) 本や雑誌を読んでいますか (N=3248)	
1. はい 79.7% (2590)	2. いいえ 17.3% (563)
	無回答 2.9% (95)
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (N=3248)	
1. はい 88.4% (2872)	2. いいえ 8.5% (275)
	無回答 3.1% (101)
(13) 友人の家を訪ねていますか (N=3248)	
1. はい 39.3% (1275)	2. いいえ 57.2% (1857)
	無回答 3.6% (116)

(14) 家族や友人の相談のっていますか (N=3248)	
1. はい 73.3% (2382)	2. いいえ 22.5% (732)
	無回答 4.1% (134)
(15) 病人を見舞うことができますか (N=3248)	
1. はい 86.6% (2812)	2. いいえ 9.4% (304)
	無回答 4.1% (132)
(16) 若い人に自分から話しかけることができますか (N=3248)	
1. はい 70.5% (2291)	2. いいえ 25.6% (831)
	無回答 3.9% (126)
(17) 趣味はありますか (N=3248)	
1. 趣味あり 78.3% (2542)	()
2. 思いつかない 16.2% (525)	無回答 5.6% (181)
(18) 生きがいがありますか (N=3248)	
1. 生きがいあり 62.5% (2030)	()
2. 思いつかない 28.8% (936)	無回答 8.7% (282)

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※ ① - ⑦ それぞれに回答してください

	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加して いない	無回答
① ボランティアのグループ	1.0% (32)	1.4% (45)	1.8% (57)	5.8% (188)	2.6% (86)	54.0% (1754)	33.4% (1086)
② スポーツ関係のグループやクラブ	4.5% (147)	9.1% (296)	6.7% (217)	4.3% (138)	2.0% (66)	45.4% (1473)	28.0% (910)
③ 趣味関係のグループ	2.0% (65)	5.6% (183)	7.4% (240)	14.2% (460)	5.4% (174)	40.2% (1307)	25.2% (819)
④ 学習・教養サークル	0.5% (16)	1.3% (43)	3.0% (96)	4.8% (156)	3.4% (109)	51.9% (1687)	35.1% (1141)
⑤ 老人クラブ	0.3% (11)	0.7% (23)	0.5% (15)	2.4% (79)	1.4% (45)	58.8% (1909)	35.9% (1166)
⑥ 町内会・自治会	0.3% (10)	0.6% (18)	0.8% (27)	6.0% (195)	13.4% (434)	45.7% (1483)	33.3% (1081)
⑦ 収入のある仕事	9.5% (307)	6.4% (207)	1.3% (43)	1.5% (49)	1.5% (50)	48.2% (1564)	31.7% (1028)

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

(N=3248)

1. 是非参加したい 9.2% (300) 2. 参加してもよい 53.4% (1733)
3. 参加したくない 31.4% (1019) 無回答 6.0% (196)

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に 企画・運営 (お世辞役) として参加してみたいと思いますか

(N=3248)

1. 是非参加したい 3.2% (104) 2. 参加してもよい 34.2% (1110)
3. 参加したくない 56.5% (1836) 無回答 6.1% (198)

問6

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお考えをお願いします

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (いくつでも)

(N=3248)

1. 配偶者 54.6% (1772) 2. 同居の子ども 19.1% (620) 3. 別居の子ども 39.8% (1293)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 33.8% (1097) 5. 近隣 11.2% (364) 6. 友人 46.4% (1508)
7. その他 () 2.3% (76) 8. そのような人はいない 4.9% (159) 無回答 2.4% (78)

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (いくつでも)

(N=3248)

1. 配偶者 51.7% (1678) 2. 同居の子ども 17.2% (560) 3. 別居の子ども 39.1% (1269)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 37.3% (1210) 5. 近隣 13.7% (446) 6. 友人 47.9% (1556)
7. その他 () 2.2% (70) 8. そのような人はいない 6.3% (205) 無回答 3.4% (112)

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)

(N=3248)

1. 配偶者 60.2% (1955) 2. 同居の子ども 22.4% (728) 3. 別居の子ども 35.4% (1149)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 14.2% (461) 5. 近隣 3.2% (103) 6. 友人 7.1% (229)
7. その他 () 1.9% (62) 8. そのような人はいない 8.3% (269) 無回答 2.2% (71)

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (いくつでも)

(N=3248)

1. 配偶者 60.7% (1973) 2. 同居の子ども 20.8% (676) 3. 別居の子ども 30.9% (1004)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 24.8% (807) 5. 近隣 4.5% (146) 6. 友人 10.8% (351)
7. その他 () 1.9% (63) 8. そのような人はいない 12.0% (391) 無回答 4.0% (131)

<p>問7 健康について</p> <p>(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (N=3248)</p> <p>1. とてもよい 11.6% (376) 2. まあよい 65.0% (2110) 3. あまりよくない 17.0% (551)</p> <p>4. よくない 2.0% (65) 無回答 4.5% (146)</p> <p>(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか 「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください (N=3248)</p> <p>0点 0.4% (14) 1点 0.3% (10) 2点 0.6% (18)</p> <p>3点 2.4% (79) 4点 2.8% (92) 5点 18.9% (613)</p> <p>6点 8.6% (279) 7点 16.5% (535) 8点 21.0% (683)</p> <p>9点 8.1% (262) 10点 13.7% (446) 無回答 6.7% (217)</p> <p>(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (N=3248)</p> <p>1. はい 37.3% (1213) 2. いいえ 57.5% (1866) 無回答 5.2% (169)</p> <p>(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (N=3248)</p> <p>1. はい 22.3% (723) 2. いいえ 72.6% (2358) 無回答 5.1% (167)</p> <p>(5) お酒は飲みますか (N=3248)</p> <p>1. ほぼ毎日飲む 21.7% (704) 2. 時々飲む 20.8% (675) 3. ほとんど飲まない 25.8% (839)</p> <p>4. もともと飲まない 27.7% (900) 無回答 4.0% (130)</p> <p>(6) タバコは吸っていますか (N=3248)</p> <p>1. ほぼ毎日吸っている 8.1% (264) 2. 時々吸っている 1.7% (54) 3. 吸っていたがやめた 28.6% (928)</p> <p>4. もともと吸っていない 58.3% (1892) 無回答 3.4% (110)</p>			
<p>(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも) (N=3248)</p> <p>1. 自治会・町内会・老人クラブ 7.1% (229) 2. 社会福祉協議会・民生委員 6.0% (196)</p> <p>3. ケアマネジャー 4.4% (144) 4. 医師・歯科医師・看護師 30.4% (987)</p> <p>5. 地域包括支援センター・役所・役場 17.9% (582) 6. その他 8.0% (260)</p> <p>7. そのような人はいない 38.3% (1245) 無回答 10.3% (333)</p> <p>(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (N=3248)</p> <p>1. 毎日ある 6.5% (212) 2. 週に何度かある 26.6% (869) 3. 月に何度かある 28.8% (934)</p> <p>4. 年に何度かある 19.3% (628) 5. ほとんどない 13.1% (425) 無回答 5.5% (180)</p> <p>(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。 同じ人には何度か逢っても1人と数えることとします。 (N=3248)</p> <p>1. 0人 (いない) 13.0% (421) 2. 1人~2人 19.5% (633) 3. 3~5人 22.8% (740)</p> <p>4. 6~9人 11.1% (359) 5. 10人以上 28.3% (918) 無回答 5.4% (177)</p> <p>(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも) (N=3248)</p> <p>1. 近所・同じ地域の人 39.1% (1270) 2. 幼なじみ 4.7% (154) 3. 学生時代の友人 17.1% (556)</p> <p>4. 仕事での同僚・元同僚 31.1% (1010) 5. 趣味や関心が同じ友人 45.0% (1462)</p> <p>6. ボランティア等の活動での友人 8.1% (262) 7. その他 9.6% (313)</p> <p>8. いない 8.2% (266) 無回答 5.3% (173)</p>			

問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも) (N=3248)	
1. ない	17.4% (566)
2. 高血圧	37.0% (1201)
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	3.3% (108)
4. 心臓病	10.7% (347)
5. 糖尿病	10.9% (355)
6. 高脂血症 (脂質異常)	13.1% (427)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	5.3% (172)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	7.9% (256)
9. 腎臓・前立腺の病気	7.7% (251)
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)	15.2% (493)
11. 外傷 (転倒・骨折等)	3.2% (105)
12. がん (悪性新生物)	4.6% (150)
13. 血液・免疫の病気	1.4% (46)
14. うつ病	1.5% (48)
15. 認知症 (アルツハイマー病等)	0.6% (20)
16. パーキンソン病	0.7% (23)
17. 目の病気	17.0% (552)
18. 耳の病気	5.5% (180)
19. その他 ()	11.9% (386)
無回答	4.8% (155)

問8 その他の福祉サービスについて (1) 次の高齢者向け福祉サービス等 (介護保険サービス以外) をご存知ですか (いくつでも) (N=3248)	
【利用費助成】	
1. おむつ支給とおむつ代の助成	25.1% (814)
2. 出張理髪	15.6% (506)
3. 日常生活用具給付	17.8% (578)
4. 住宅改造費の助成	29.4% (955)
5. 緊急通報システム	13.8% (447)
6. 認知症高齢者の位置情報サービス	7.9% (255)
【講習等】	
7. 家族介護者教室事業	5.3% (173)
8. 認知症サポーター養成講座	8.2% (266)
9. 見守りサポーター養成研修	4.4% (142)
10. 見守り協力員養成講座	3.6% (118)
11. 介護予防リーダーによる地域介護予防教室	4.4% (142)
12. うんどう教室	10.6% (343)
13. にやんともTAMAるボランティアポイント (介護予防ボランティアポイント)	3.3% (107)
14. 老人福祉センター事業 (寿大学等)	23.5% (763)
【制度・活動等】	
15. 成年後見制度	32.1% (1043)
16. 老人クラブ	31.0% (1008)
17. 長寿を共に祝う会	18.6% (605)
18. シルバー人材センター	54.8% (1779)
無回答	29.2% (947)

高齢者向け福祉サービスの概要は、次のとおりです。

【利用費助成】	
1. おむつ支給とおむつ代の助成 (介護予防推進係)	おむつが必要な高齢者におむつの支給・貸与・費用の一部助成を行っている。要介護3～5であることや常時失禁状態であることなどの要件があります。

2	出張理髪 (介護予防推進係)	理容師・美容師がご自宅を訪問し、調髪を行っています。在宅の高齢者でねたきなどの状態が1か月以上継続している等の要件があります。費用1回2000円です。
3	日常生活用具給付 (介護予防推進係)	居宅での生活を容易にするための用具（入浴補助用具、歩行支援用具、自助具等）を給付しています。虚弱等のための用具の給付が必要と認められた高齢者の方が対象となります。費用の1割は自己負担です。
4	住宅改造費の助成 (介護予防推進係)	居宅で生活するために必要な住宅改修のための費用の一部を助成しています。虚弱等で住宅の改修が必要と認められた高齢者の方が対象となります。工事着工前に申請手続きが必要です。
5	緊急通報システム (介護予防推進係)	緊急時（緊急通報発信時）に、警備会社等の緊急対応要員が駆けつけるための機器（家庭内受信機、ペンダント型発信機）を貸し出ししています。高齢者のみの世帯の方で、身体上慢性疾患があるため日ごろから常時注意を要する等の要件があります。費用負担月額500円です。
6	認知症高齢者の位置情報サービス (介護予防推進係)	認知症高齢者の方の居場所を把握するための小型端末機を貸し出ししています。サービス利用が必要であると認められた方が対象となります。費用負担月額500円です。
【講習等】		
7	家族介護者教室事業 (地域ケア推進係)	ご家族を介護されている方のために、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等に関する知識及び技術の習得や、介護者同士の交流を目的に介護者教室などを実施しています。
8	認知症サポーター養成講座 (介護予防推進係)	認知症について理解し、認知症高齢者やその家族のよき理解者になっていただくための研修です。ご希望があれば、地域の集まり等に出張して研修を行うこともしています。
9	見守りサポーター養成研修 (介護予防推進係)	地域の高齢者をゆるやかに見守り、異変に気づいた時には専門機関へ相談することができる市民を養成する研修です。地域の集まり等に出張して研修を行うこともしています。
10	見守り協力員養成講座 (介護予防推進係)	日常生活に不安がある高齢者に対して、定期的な訪問等による見守りを行う市民を養成するための講座です。高齢者見守り相談窓口で行っています。

11	介護予防リーダーによる地域介護予防教室 (介護予防推進係)	介護予防に必要な知識や方法を学んだ市民の方による、筋力維持・向上や認知症予防を目的とした体操教室です。週1回実施しています。
12	うんどう教室 (介護予防推進係)	介護予防のための運動について学んだ市民の方による、高齢者のためのうんどう教室です。月に1度、豊ヶ丘南公園、乞田・貝取ふれあい広場公園にて行っています。公園に設置されたうんどう遊具を使った運動を行っています。
13	にやんとも TAMA るポランティアポイント【介護予防ポランティアポイント】 (介護予防推進係)	ポイント対象となる活動先でポランティアに参加するとポイントがもらえ、集めたポイント数に応じて交付金がもらえる事業です。社会福祉協議会で事前登録等の手続きが必要です。
14	老人福祉センター事業 (高齢支援係)	老人福祉センター（総合福祉センター6階）にて、文化・教養の向上や健康増進を目指した各種講座（葬大学等）を行っています。
【制度・活動等】		
15	成年後見制度 (地域ケア推進係)	認知症などで判断能力が不十分な高齢者の方が、不利益を被ることがないように、後見人（家族や弁護士等）等を選任して権利を保護する制度です。
16	老人クラブ (高齢支援係)	老人クラブは地域ごとに結成されており、自らの生きがいを高める活動や、ポランティア、健康づくり等を行っています。
17	長寿を共に祝う会 (高齢支援係)	75歳以上の方を対象に、長寿をお祝いし楽しい1日をご用意していただくために、市民協働指定委託事業「長寿を共に祝う会」を9月に開催しています。
18	シルバー人材センター (高齢支援係)	60歳以上の方を対象に、高齢者の方のキャリアやライフスタイルに合わせた就業の提供を行っています。まずは、説明会にご参加ください。（臨時的かつ短期的な仕事や、軽易な仕事をご紹介します）

健康福祉部高齢支援課 高齢支援係 電話 338-6923
介護予防推進係 電話 338-6924
地域ケア推進係 電話 338-6846

(2) 地域包括支援センターをご存知ですか (N=3248)	
1. 利用したことがある	11.3% (367)
2. 知っているが利用したことはない	44.3% (1439)
3. 知らない	34.5% (1122)
無回答	9.9% (320)

地域包括支援センターとは

高齢者の方のための総合的な生活支援の窓口が「地域包括支援センター」です。介護に関する不安や困りごと、介護方法のほかに、高齢者の皆さんご自身のお身体のことなど、お気軽にご相談ください。医療・福祉の専門スタッフが相談に応じています。

《地域包括支援センターと担当地区一覧》

名 称	上 段：電 話 下 段：F A X	所 在 地	担 当 地 区
西部地域包括支援センター	389-8850 339-1898	和 田 1532	東寺方（3丁目を除く）・落川・百草・和田（3丁目を除く）・桜ヶ丘・関戸6丁目・貝取（地番）
東部地域包括支援センター	373-7850 375-3600	連光寺 1-1-1	連光寺・聖ヶ丘・馬引沢・諏訪
多摩センター地域包括支援センター	376-2941 376-1815	山王下 1-18-2	落合・鶴牧・南野 2～3丁目・唐木田・中沢・山王下
中部地域包括支援センター	375-0017 357-9551	永山 4-2-5-105	永山 2～7丁目・貝取 2～5丁目・豊ヶ丘 2～6丁目・南野 1丁目
北部地域包括支援センター	357-3711 357-9200	一ノ宮 4-40-3	関戸 1～5丁目・一ノ宮・愛宕・東寺方 3丁目・和田 3丁目・乞田・永山 1丁目・貝取 1丁目・豊ヶ丘 1丁目

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■■

〈ご挨拶〉

平素より、多摩市の介護保険行政にご理解と、ご協力をいただきありがとうございます。

この調査は、市内にお住まいの65歳以上の方で、平成29年2月1日現在、在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けた方を対象に、現在の皆様の生活や身体の状況などを把握することにより、多摩市の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の改定や地域の中で安心して暮らしていただけただけの施設などの基礎資料として活用するために実施するものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。ただし、計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、個人が特定されない形で、厚生労働省の管理する区市町村以外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成29年2月 多摩市

多摩市在宅介護実態調査 についてのお願い

多摩市の今後を考えるための基礎資料です。
回答のご協力をお願いします。

(詳細は裏面に記載しています)

返信用封筒には、住所・氏名を記入する必要はございませんが、調査票右上の番号は消さないようお願いいたします。

記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、

3月10日(金) までにご返送ください。

なお、個人情報の利用についての重要なご案内があります
ので、ご確認のうえ、返送をお願いします。

(問合せ先) 多摩市 健康福祉部 介護保険課
電話 042-338-6901
042-338-6907

記入についてのお願い

1. ご回答にあたっては、**封筒のあて名のご本人**※について、ご記入をお願いいたします。ご家族や周りの方がご本人の代わりに回答されても、また、一緒に回答されても構いません。
2. ご回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでください。
3. 「その他」に○をされた方は、() 内に具体的な内容を記載してください。
4. 調査の中で答えたくない質問があれば、お答えいただけなくても構いません。そのまま、次の質問にお進みください。また、途中までのご回答でも結構です。

※ 介護保険関係書類の送付先の指定がある方は、指定送付先にお送りしています。
封筒のあて名のご本人の調査対象者についてお答えください。

重要

<要介護認定に係る個人情報利用について>

本調査の実施にあたり、以前お受けいただいた要介護認定に係る認定調査票などのデータのうち、住んでいる地域、年齢、性別、サービスの利用状況及び身体・精神状況などのデータについては、本調査と結びつけて分析を行い、多摩市における高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の際、検討の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。

ご本人の許可なく、その他の目的には使用いたしません。

上記の点をご了承いただいたうえで、本調査票をご返送いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます（回答のご返送をもって、上記についてご了承いただいたものとみなします）。

A票 調査対象者ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（いくつでも○可）

(N=865)

- ① 調査対象者本人 60.7% (525)
 - ② 主な介護者となっている家族・親族 45.5% (394)
 - ③ 主な介護者以外の家族・親族 2.1% (18)
 - ④ その他 () 2.5% (22)
- 無回答 1.2% (10)

問2 あなた（あて名のご本人）は、現在どちらにいますか。（1つに○）

(N=865)

- ① 自宅 82.1% (710)
 - ② 市内に住所を残したまま、市外にいる 5.0% (43)
⇒ここままで調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
 - ③ 病院などに入院している 4.5% (39)
⇒ここままで調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
 - ④ その他（具体的に：) 5.2% (45)
- 無回答 3.2% (28)

問3 世帯類型について、お聞かせください。（1つに○）

(N=720)

- ① 単身世帯 31.1% (224)
 - ② 夫婦のみ世帯 31.1% (224)
 - ③ その他 () 36.0% (259)
- 無回答 1.8% (13)

問4 お住まいの種類及びエレベーターの有無についてお聞きます。(1つに○)

(N=720)

- ① 一戸建て 37.2% (268)
- ② エレベーターあり集合住宅の(1・2・3・4・5階以上) ←あてはまる階に○をしてください。 24.0% (173)
- ③ エレベーターなし集合住宅の(1・2・3・4・5階以上) ←あてはまる階に○をしてください。 37.1% (267)

無回答 1.7% (12)

	1階	2階	3階	4階	5階以上	無回答
エレベーターあり集合住宅 (N=173)	9.2% (16)	9.2% (16)	12.1% (21)	12.1% (21)	43.4% (75)	13.9% (24)
エレベーターなし集合住宅 (N=267)	39.3% (105)	24.0% (64)	15.7% (42)	9.0% (24)	4.5% (12)	7.5% (20)

問5 昨年のあなたの年収(年金を含む)はいくらでしたか。(1つに○)

(N=720)

- ① 80万円未満 19.7% (142)
- ② 80~120万円未満 16.5% (119)
- ③ 120~190万円未満 18.1% (130)
- ④ 190~290万円未満 20.3% (146)
- ⑤ 290~400万円未満 9.7% (70)
- ⑥ 400~600万円未満 3.1% (22)
- ⑦ 600~1,000万円未満 1.0% (7)
- ⑧ 1,000万円以上 0.4% (3)
- ⑨ 答えたくない 4.6% (33)

無回答 6.7% (48)

問6 現在支払っている介護保険料について、どのように思いますか。(1つに○)

(N=720)

- ① 特に負担とは思わない 19.3% (139)
- ② 負担であるが、支払うことが可能 66.4% (478)
- ③ 負担が大きく、支払うことが困難 7.6% (55)
- ④ わからない 5.3% (38)

無回答 1.4% (10)

※ 参考：現在の多摩市の介護保険料

標準月額 4,550円 (国5,550円・都5,538円)
多摩市は、都内26市中2番目に低い額

問7 介護保険サービスと保険料の関係*について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

(N=720)

- ① 保険料が今より高くなっても、施設や居宅サービスの量を増やす方がよい 15.0% (108)
- ② 施設や居宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度がよい 57.8% (416)
- ③ サービスの量が低下しても、保険料は安い方がよい 8.3% (60)
- ④ わからない 15.7% (113)

無回答 3.2% (23)

※ 介護保険サービスの内容が充実し、利用するサービスの量が増えるほど保険料は高くなります。

問8 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族などからの介護を含む)。(1つに○)

(N=720)

- ① ない } 問12へ 32.1% (231)
- ② 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない 9.4% (68)
- ③ 週に1日~2日ある 12.8% (92)
- ④ 週に3日~4日ある 4.2% (30)
- ⑤ ほほ毎日ある 36.3% (261)

無回答 5.3% (38)

問9へ

問9 問8で「②から⑥」に○をした方にお伺いします。現在、あなたが受けている介護などについて、お伺いします。(いくつでも○可)

(N=451)

【身体介護】

- ① 日中の排泄 14.2% (64)
- ② 夜間の排泄 13.5% (61)
- ③ 食事の介助(食べる時) 16.9% (76)
- ④ 入浴・洗身 33.9% (153)
- ⑤ 身だしなみ(洗顔・歯磨きなど) 16.6% (75)
- ⑥ 衣服の着脱 29.0% (131)
- ⑦ 屋内の移乗・移動 18.6% (84)
- ⑧ 外出の付き添い、送迎など 70.1% (316)
- ⑨ 服薬 36.4% (164)
- ⑩ 認知症状への対応 20.6% (93)
- ⑪ 医療面での対応(経営栄養、ストーマなど) 21.5% (97)

【生活援助】

- ⑫ 食事の準備(調理など) 67.8% (306)
- ⑬ その他の家事(掃除、洗濯、買い物など) 80.0% (361)
- ⑭ 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 62.1% (280)

【その他】

- ⑮ その他(具体的に:) 11.1% (50)
- ⑯ わからない 2.4% (11)

無回答 2.4% (11)

問10 問8で「②から⑥」に○をした方にお伺いします。あなたの暮らしを支えるうえで、どんなサービスや手助けがあればいいと思いますか。(いくつでも○可)

(N=451)

- ① 自分や介護する家族の具合が悪くなったときなど、緊急に、または一時的に、介護をお願いできる 64.3% (290)
- ② 自分や介護する家族の具合が悪くなったときなど、緊急に、または一時的に、家事をお願いできる 59.4% (268)
- ③ 電球などの簡単な器具の取りかえをしてくれる 23.9% (108)
- ④ ごみ出しを代わりにしてくれる 21.5% (97)
- ⑤ 通院や薬取り、銀行などの用事に出かけるとき、付き添ってくれる 31.3% (141)
- ⑥ 買い物に付き合ってくれる 19.5% (88)
- ⑦ 趣味のための外出に付き合ってくれる 4.7% (21)
- ⑧ 階段の昇り降りの手伝いをしてくれる 12.0% (54)
- ⑨ 定期的に訪問して様子を見にきてくれる 25.1% (113)
- ⑩ 話し相手や相談相手をしてくれる 16.2% (73)
- ⑪ 気軽に立ち寄り、仲間や知り合いと一緒に過ごせる場所がある 9.8% (44)
- ⑫ その他(具体的に:) 2.4% (11)
- ⑬ 自宅に医師が訪問して診療してくれる 28.6% (129)
- ⑭ 緊急に入所できる(ショートステイ) 38.8% (175)
- ⑮ 夜間にも自宅でホームヘルプや看護が受けられる 14.6% (66)
- ⑯ 入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど短時間の通所サービスが受けられる 22.6% (102)
- ⑰ 普段通っている介護拠点サービスなどで、希望すれば泊まれる 22.8% (103)
- ⑱ わからない 5.5% (25)

無回答 6.0% (27)

ここから再び、全員の方にお伺いします

問 11 問8で「②から⑥」に○をした方にお伺いします。あなたは、どのようなサービスや条件が整えば、住居で安心して暮らすことができると思えますか。
(いくつでも○可)

- (N=451)
- ① 住まいの確保 27.7% (125)
(段差がないなど高齢者向けの住まいなど)
 - ② 身近な地域拠点の整備 38.6% (174)
(24時間体制で、必要な介護が受けられる拠点)
 - ③ 身近な医療機関の整備 54.8% (247)
(緊急時などにすぐに診てもらえる医療機関)
 - ④ 医師の往診・訪問診療の充実 47.9% (216)
(自宅でも診療をしてもらえる環境)
 - ⑤ 認知症介護保険サービスの整備 34.1% (154)
(認知症になっても安心して暮らしている環境)
 - ⑥ 緊急時に、助けてほしい人へ自動的に通報するサービス 37.5% (169)
 - ⑦ 配食・給食サービスの充実 38.1% (172)
(栄養バランスが取れた食事ができるサービス)
 - ⑧ 移送サービスの充実 37.5% (169)
(医療機関や介護施設などまで移送するサービス)
 - ⑨ 家族介護者へ支援 40.4% (182)
(介護負担の軽減や介護に関する情報提供や技術指導など)
 - ⑩ ボランティアの養成 15.5% (70)
(地域における無償・有償ボランティア、NPOの養成)
 - ⑪ IT (情報技術) などを活用した安否確認サービス 12.0% (54)
 - ⑫ その他 (具体的に:) 2.0% (9)
 - ⑬ わからない 5.1% (23)
- 無回答 10.0% (45)

問 12 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お伺います。(いくつでも○可)

- (N=720)
- ① 配食 11.4% (82)
 - ② 調理 4.9% (35)
 - ③ 掃除・洗濯 13.1% (94)
 - ④ 買い物 (宅配は含まない) 8.2% (59)
 - ⑤ ゴミ出し 9.0% (65)
 - ⑥ 外出同行 (通院、買い物など) 11.4% (82)
 - ⑦ 移送サービス (介護・福祉タクシーなど) 14.9% (107)
 - ⑧ 見守り、声かけ 6.0% (43)
 - ⑨ サロンなどの定期的な通いの場 7.2% (52)
 - ⑩ その他 (具体的に:) 7.2% (52)
 - ⑪ 利用していない 37.8% (272)
- 無回答 20.1% (145)

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問 13 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、お伺いします。
(いくつでも○可)

- (N=720)
- ① 配食 22.5% (162)
 - ② 調理 14.0% (101)
 - ③ 掃除・洗濯 25.7% (185)
 - ④ 買い物 (宅配は含まない) 18.5% (133)
 - ⑤ ゴミ出し 19.2% (138)
 - ⑥ 外出同行 (通院、買い物など) 24.4% (176)
 - ⑦ 移送サービス (介護・福祉タクシーなど) 32.6% (235)
 - ⑧ 見守り、声かけ 16.9% (122)
 - ⑨ サロンなどの定期的な通いの場 12.6% (91)
 - ⑩ その他 (具体的に:) 5.8% (42)
 - ⑪ 利用していない 17.5% (126)
- 無回答 19.2% (138)

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 14 現時点での、施設などへの入所・入居の検討状況について、お伺いします。
(1つに○)

- (N=720)
- ① 入所・入居は検討していない 63.9% (460)
 - ② 入所・入居を検討している 17.1% (123)
 - ③ すでに入所・入居申込みをしている 5.1% (37)
- 無回答 13.9% (100)

※ 「施設など」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホームなど）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 15 あなたが、現在抱えている傷病について、お伺いします。(いくつでも○可)

- (N=720)
- ① 脳血管疾患（脳卒中） 13.3% (96)
 - ② 心疾患（心臓病） 15.7% (113)
 - ③ 悪性新生物（がん） 6.4% (46)
 - ④ 呼吸器疾患 8.5% (61)
 - ⑤ 腎疾患（透析） 2.6% (19)
 - ⑥ 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など） 31.3% (225)
 - ⑦ 膠原病（関節リウマチ含む） 4.3% (31)
 - ⑧ 変形性関節疾患 17.8% (128)
 - ⑨ 認知症 17.1% (123)
 - ⑩ パーキンソン病 5.0% (36)
 - ⑪ 難病（パーキンソン病を除く） 4.7% (34)
 - ⑫ 糖尿病 15.0% (108)
 - ⑬ 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの） 28.3% (204)
 - ⑭ その他（具体的に：) 23.3% (168)
 - ⑮ なし 3.6% (26)
 - ⑯ わからない 1.3% (9)
- 無回答 4.6% (33)

問 16 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。(1つに○)

- (N=720)
- ① 利用している 18.5% (133)
 - ② 利用していない 76.7% (552)
- 無回答 4.9% (35)

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導などは含みません。

問 17 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(1つに○)

- (N=720)
- ① 利用している 64.9% (467)
 - ② 利用していない 31.7% (228)
- 無回答 3.5% (25)

問 17で「②」に○をした方には、問 18もお伺いします。

問 18 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○可)

- (N=228)
- ① 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 36.8% (84)
 - ② 本人にサービス利用の希望がない 13.2% (30)
 - ③ 家族が介護をするため必要ない 15.4% (35)
 - ④ 以前、利用していたサービスに不満があった 2.2% (5)
 - ⑤ 利用料を支払うのが難しい 8.8% (20)
 - ⑥ 利用したいサービスが利用できない、身近にない 2.2% (5)
 - ⑦ 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため 7.9% (18)
 - ⑧ サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない 6.6% (15)
 - ⑨ その他（具体的に：) 6.6% (15)
- 無回答 26.8% (61)

B票 主な介護者の方について、お伺いします

問 19 要介護1から5の方にお伺いします。あなたは、ケアマネジャーに満足して
いますか。(1つに○)

(N=720)

- ① 満足している 34.4% (248)
- ② やや満足している 8.6% (62)
- ③ ぶつう 13.3% (96)
- ④ やや不満である 2.6% (19)
- ⑤ 不満である 1.1% (8)

無回答 39.9% (287)

● A票の間8で「②から⑤」に○をした方は、「主な介護者」の方にB表へのご回答
をお願いします。

● 「主な介護者」の方のご回答が難しい場合は、調査対象者ご本人にご回答をお願い
します(ご本人のご回答が難しい場合は、無回答で結構です)。

問 1 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去
1年間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務
形態は問いません)。(いくつでも○可)

(N=452)

- ① 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) 6.6% (30)
- ② 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) 0.2% (1)
- ③ 主な介護者が転職した 2.7% (12)
- ④ 主な介護者以外の家族・親族が転職した 0.7% (3)
- ⑤ 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 56.6% (256)
- ⑥ わからない 2.7% (12)

無回答 31.0% (140)

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問 2 主な介護者の方は、どなたですか。(1つに○)

(N=452)

- ① 配偶者 31.9% (144)
- ② 子 45.6% (206)
- ③ 子の配偶者 6.6% (30)
- ④ 孫 1.1% (5)
- ⑤ 兄弟・姉妹 1.8% (8)
- ⑥ その他() 1.5% (7)

無回答 11.5% (52)

問 3 主な介護者の方の性別について、お伺いします。(1つに○)

(N=452)

- ① 男性 29.9% (135)
- ② 女性 60.4% (273)

無回答 9.7% (44)

問4 主な介護者の方の年齢について、お伺いします。(1つに○)

(N=452)

- ① 20歳未満 0.2% (1)
- ② 20歳代 0.2% (1)
- ③ 30歳代 1.5% (7)
- ④ 40歳代 7.3% (33)
- ⑤ 50歳代 19.2% (87)
- ⑥ 60歳代 30.1% (136)
- ⑦ 70歳代 19.9% (90)
- ⑧ 80歳以上 13.1% (59)
- ⑨ わからない 0.2% (1)

無回答 8.2% (37)

問5 ダブルケア*などに関する質問です。現在、主な介護者の方は、ご本人(調査対象者)以外に育児や親族の介護を行なっていますか。(いくつでも○可)

(N=452)

- ① ふだん育児もしている(最も年少の子が未就学児以下) 1.8% (8)
- ② ご本人(調査対象者)以外の家族(65歳以上)の介護もしている 8.4% (38)
- ③ ご本人(調査対象者)以外の家族(65歳未満)の障がい者・障がい児の介護

もしている 3.5% (16)

無回答 86.5% (391)

*本調査において「ダブルケア」とは、育児と親や親族の介護が同時期に発生する状態のことをいいます。

問6 主な介護者の方の勤務形態について、お伺いします。(1つに○)

(N=452)

- ① フルタイムで働いている 16.4% (74)
- ② パートタイムで働いている 15.0% (68)
- ③ 働いていない 49.6% (224)
- ④ 主な介護者に確認しないとわからない 0.7% (3)

無回答 18.4% (83)

*「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業者に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆるアルバイト、嘱託、契約社員などの方を含みます。自営業・フリーランスなどの場合も、就労時間・日数などからフルタイム・パートタイムのいずれかを選択してください。

問7 問6で「①又は②」に○をした方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか。

(N=142)

- ① 特に行っていない 38.0% (54)
- ② 介護のために「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど)」しながら、働いている 31.0% (44)

③ 介護のために「休暇(年休や介護休暇など)」を取りながら、働いている 18.3%

(26)

- ④ 介護のために「在宅勤務」を利用しながら、働いている 2.8% (4)
- ⑤ 介護のために②~④以外の調整をしながら、働いている 16.9% (24)
- ⑥ 主な介護者に確認しないとわからない 2.1% (3)

無回答 4.2% (6)

問8 問6で「①又は②」に○をした方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。

(N=142)

- ① 自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない 11.3% (16)
- ② 介護休業・介護休暇などの制度の充実 26.1% (37)
- ③ 制度を利用しやすい職場づくり 21.8% (31)
- ④ 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) 19.7% (28)
- ⑤ 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) 7.0% (10)
- ⑥ 仕事と介護の両立に関する情報の提供 5.6% (8)
- ⑦ 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 9.9% (14)
- ⑧ 介護をしている従業員への経済的な支援 16.9% (24)
- ⑨ その他(具体的に:) 2.8% (4)
- ⑩ 特にならない 16.2% (23)
- ⑪ 主な介護者に確認しないとわからない 6.3% (9)

無回答 16.2% (23)

ここから再び、全員の方にお伺いします

問9 問6で「①又は②」に○をした方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も

働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)

(N=142)

- ① 問題なく続けていける 14.1% (20)
- ② 問題はあるが、何とか続けていける 57.7% (82)
- ③ 続けていくのは、やや難しい 9.2% (13)
- ④ 続けていくのは、かなり難しい 4.9% (7)
- ⑤ 主な介護者に確認しないとわからない 4.2% (6)

無回答 9.9% (14)

問10 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護などについて、お伺いします(現状で行っているか否かは問いません)。

(3つまで○可)

(N=452)

[身体介護]

- ① 日中の排泄 17.3% (78)
- ② 夜間の排泄 27.0% (122)
- ③ 食事の介助(食べる時) 8.0% (36)
- ④ 入浴・洗身 33.0% (149)
- ⑤ 身だしなみ(洗顔・歯磨きなど) 6.6% (30)
- ⑥ 衣服の着脱 10.8% (49)
- ⑦ 屋内の移乗・移動 10.8% (49)
- ⑧ 外出の付き添い、送迎など 35.2% (159)
- ⑨ 服薬 11.5% (52)
- ⑩ 認知症状への対応 26.1% (118)
- ⑪ 医療面での対応(経管栄養、ストーマなど) 8.6% (39)

[生活援助]

- ⑫ 食事の準備(調理など) 32.5% (147)
- ⑬ その他の家事(掃除、洗濯、買い物など) 30.5% (138)
- ⑭ 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 19.9% (90)

[その他]

- ⑮ その他(具体的に：) 14.4% (65)
- ⑯ 不安に感じていることは、特にならない 9.5% (43)
- ⑰ 主な介護者に確認しないとわからない 6.2% (28)

無回答 12.4% (56)

問 11 介護サービスをよりよくするため、市が力を入れるべきことは次のうちどれですか。(3つまで○可)

(N=452)

- ① サービス事業者の質を高める取り組み 17.5% (79)
 - ② ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材の育成 19.9% (90)
 - ③ 市内に特別養護老人ホームなどの介護施設を増やす 39.2% (177)
 - ④ 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やす 29.9% (135)
 - ⑤ 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れる 27.9% (126)
 - ⑥ 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行う 8.2% (37)
 - ⑦ 身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やす 13.5% (61)
 - ⑧ 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やす 13.3% (60)
 - ⑨ 家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスの充実 28.5% (129)
 - ⑩ 移動・移送手段の充実 13.1% (59)
 - ⑪ 介護保険を効率的に運用するしくみづくり 4.4% (20)
 - ⑫ 地域包括支援センターの充実 5.3% (24)
 - ⑬ 介護保険サービス利用の制限をカバーする保健福祉サービスの充実 8.8% (40)
 - ⑭ 介護保険サービスと医療サービスを一緒に利用できるようにしてほしい 20.1% (91)
 - ⑮ その他(具体的に：) 3.1% (14)
 - ⑯ わからない 3.1% (14)
- 無回答 8.2% (37)

■■■■アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。■■■■

多摩市介護保険事業所調査 についてのお願い

平素より、多摩市の介護保険行政にご理解と、ご協力をいただきありがとうございます。
この調査は、多摩市の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の改定や実効性のある
福祉施策の展開を図るための基礎資料として活用するために実施するものです。
お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い
いたします。

平成29年2月 多摩市

記入についてのお願い

1. ご回答は、あてはまる項目の番号を○「マル」で囲み、質問内容によっては、に
数字又は文字をご記入ください。
2. 「その他」に○「マル」をされた方は、()内に具体的な内容を記載してください。

返信用封筒には、住所・氏名を記入する必要はありません。

記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、

3月10日（金）

までにご返送ください。

(問合せ先) 多摩市 健康福祉部 介護保険課
電話 042-338-6901
042-338-6907

貴事業所についてお尋ねします

問1 貴事業所の名称及び所在地等を記入してください。

法人名	
事業所名	
所在地	〒 _____
調査にご回答いただいた方（役職）	_____（お名前）

問2 活動状況について伺います。

項目	回答欄
組織形態 (1つに○) (N=77)	1. 社会福祉法人 13.0% (10) 2. 社会福祉協議会 0.0% (0) 3. 福祉公社・事業団 0.0% (0) 4. 社団法人 6.5% (5) 5. 財団法人 1.3% (1) 6. 医療法人 14.3% (11) 7. JA・生協 1.3% (1) 8. 株式会社 41.6% (32) 9. 有限会社 6.5% (5) 10. NPO 6.5% (5) 11. その他 (具体的に:) 9.1% (7) 無回答 0.0% (0)
主な事業所の種類 (介護予防を含む) (1つに○) (N=77)	1. 居宅介護支援 11.7% (9) 2. 訪問介護 11.7% (9) 3. 通所介護 19.5% (15) 4. 訪問入浴介護 0.0% (0) 5. 訪問看護 10.4% (8) 6. 訪問リハビリ 0.0% (0) 7. 通所リハビリ 3.9% (3) 8. 居宅療養管理指導 0.0% (0) 9. 住宅改修・福祉用具 (0) 10. 短期入所生活・療養介護 0.0% (0) 11. 介護老人福祉施設 3.9% (3) 12. 介護老人保健施設 2.6% (2) 13. 介護療養型医療施設 (1) 14. 特定施設入居者生活介護 2.6% (2)

居宅介護支援事業所にお尋ねします

問3 平成28年4月に多摩市の要支援・要介護認定者に対し、作成したケアプランの
 給付管理件数は何件でしたか。(当該部分に件数を記入)

回	答
総件数 平均 103.2 (1548) 件 (N=15)	要支援1 6.0 (90) 件
	要支援2 6.4 (96) 件
	要介護1 30.6 (459) 件
	要介護2 26.7 (400) 件
	要介護3 17.1 (256) 件
	要介護4 9.9 (149) 件
	要介護5 6.5 (98) 件
	申請中・暫定プラン 0.3 (4) 件

問4 貴事業所の中で、多摩市を中心に活動している居宅介護支援専門員は何人いますか。
 そのうち主任居宅介護支援専門員は何人いますか。(数字を記入)

居宅介護支援専門員 平均 4.9 (54) 人
 (そのうち主任居宅介護支援専門員) 平均 1.1 (12) 人

問5 ケアプランの作成にかかわる人ほどなたですか。(1つに○)

1. 居宅介護支援専門員とサービスの担当者 9.5% (2)
 2. 居宅介護支援専門員と利用者・家族 0.0% (0)
 3. 居宅介護支援専門員とサービス担当者・利用者・家族 28.6% (6)
 4. 3. 以外に医療関係者 28.6% (6)
 5. その他(具体的に:) 0.0% (0)
- 無回答 33.3% (7)

問6 貴事業所だけではケアプランの作成が困難だったケースはどの程度ありますか。
 (1つに○)

1. 対応できないケースが多い(50人のうち5人以上) 0.0% (0)
 2. 対応できないケースが少しある(50人のうち2~4人程度) 19.0% (4)
 3. 対応できないケースが若干ある(50人のうち1人程度) 19.0% (4)
 4. ほとんどない 23.8% (5)
- 無回答 38.1% (8)

1. 地域包括支援センター 9.1% (7) 2. 居宅介護支援 18.2% (14) 3. 訪問介護 11.7% (9) 4. 通所介護 13.0% (10) 5. 訪問入浴介護 0.0% (0) 6. 訪問看護 11.7% (9) 7. 訪問リハビリ 1.3% (1) 8. 通所リハビリ 5.2% (4) 9. 居宅療養管理指導 3.9% (3) 10. 住宅改修・福祉用具 1.3% (1) 11. 短期入所生活・療養介護 7.8% (6) 12. 介護老人福祉施設 2.6% (2) 13. 介護老人保健施設 1.3% (1) 14. 介護療養型医療施設 0.0% (0)	15. 特定施設入居者生活介護 0.0% (0) 16. 小規模多機能型居宅介護 5.2% (4) 17. 定期巡回・随時対応型訪問介護 0.0% (0) 18. 夜間対応型訪問介護 0.0% (0) 19. 認知症対応型通所介護 3.9% (3) 20. 認知症対応型共同生活介護 5.2% (4) 21. 看護小規模多機能型居宅介護 0.0% (0) 22. 地域密着型特定施設入居者生活介護 0.0% (0) 23. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 0.0% (0) 24. 地域密着型通所介護 10.4% (8) 25. その他) 3.9% (3) 26. 特になし 26.0% (20) 無回答 11.7% (9)
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

職種	常勤	非常勤
介護支援専門員(N=42) うち 専従 業務	2.6人 1.4人 0.9人	0.4人 0.2人 0.1人
事務管理者(N=77)	0.3人	0.2人
社会福祉士	0.4人	0.1人
介護福祉士	4.6人	2.3人
精神保健福祉士	0.0人	0.0人
医師	0.1人	0.2人
歯科医師	0.0人	0.0人
保健師・看護師	1.0人	1.0人
管理栄養士・栄養士	0.1人	0.0人
薬剤師	0.1人	0.0人
理学療法士	0.3人	0.2人
作業療法士	0.1人	0.1人
言語聴覚士	0.0人	0.0人
歯科衛生士	0.0人	0.0人
あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	0.1人	0.1人
ホームヘルパー 実務者研修修了者(旧1級) 初任者研修修了者(旧2級)	0.3人 0.8人	0.5人 2.8人

職員・スタッフの人員
 ※非常勤は常勤換算
 でご回答ください

職員の資格取得の状況
 ※1人につき1つ
 (複数の資格がある
 方は主なものを1つ
 のみ)
 (N=77)

問7 困難だったケースについて、貴事業所ではどこかに相談しましたか。(いくつでも○)
(N=21)

1. 事業所内で相談した 52.4% (11)
 2. 他事業所の居宅介護支援専門員に相談した 9.5% (2)
 3. 地域包括支援センターに相談した 66.7% (14)
 4. 介護保険課に相談した 19.0% (4)
 5. その他(具体的に)) 4.8% (1)
 6. 特に相談していない 0.0% (0)
- 無回答 33.3% (7)

居宅・施設サービス提供事業所にお尋ねします

問8 平成28年4月の多摩市内の利用者の人数は何人でしたか。
問2の主な事業所の種類でお答えになった事業についてお答えください。
(該当部分に人数を記入)

回 答 欄		回 答 欄
総人数 (N=53)	要支援1	6.0 (319) 人
	要支援2	7.0 (372) 人
	要介護1	20.5 (1087) 人
	要介護2	38.2 (2022) 人
	要介護3	30.2 (1602) 人
	要介護4	22.5 (1194) 人
	要介護5	11.2 (593) 人
	申請中・暫定プラン	0.3 (16) 人

ここからはすべての事業所にお尋ねします

事業運営についてお尋ねします

問9 平成27年度の事業の採算はいかがでしたか。お差支えなければお答えください。
(1つに○)

- (N=77)
1. 黒字 40.3% (31)
 2. 赤字 27.3% (21)
 3. 損益なし 13.0% (10)
 4. その他(具体的に)) 9.1% (7)
- 無回答 10.4% (8)

問10 平成27年度の介護報酬改定による運営上の影響がありましたか。(1つに○)
(N=77)

1. 影響がない 24.7% (19)
 2. 影響があった 61.0% (47)
 3. その他(具体的に)) 7.8% (6)
- 無回答 6.5% (5)

問11 居宅介護支援事業所、訪問介護事業所にお尋ねします。貴事業所では、特定事業所加算を取得していますか。(1つに○)

- (N=22)
1. 特定事業所加算を取得している →問11-1 50.0% (11)
 2. 取得していない →問12 50.0% (11)
- 無回答 0.0% (0)

問11-1 問11で特定事業所加算を取得していると回答した事業所にお尋ねします。
加算取得による利用者への影響はありましたか。(いくつでも○)

- (N=11)
1. 特に変化はない 90.9% (10)
 2. 独居・認知症の利用者が増えるなどの変化があった(増えた) 9.1% (1)
 3. 利用人数や回数などサービスに変化があった(減った) 0.0% (0)
 4. その他の変化があった(具体的に)) 9.1% (1)
- 無回答 0.0% (0)

問12 平成27年度の介護報酬改定により利用者に対して、どのような影響がありましたか。(1つに○)

- (N=77)
1. 利用者が利用を控えるようになった 10.4% (8)
 2. 利用者の利用が増えた 0.0% (0)
 3. その他(具体的に)) 11.7% (9)
 4. 特に変化したことはない 66.2% (51)
- 無回答 11.7% (9)

問13 今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(1つに○)

- (N=77)
1. 実施の予定がある →問14 18.2% (14)
 2. 実施の予定はない →問13-1 72.7% (56)
- 無回答 9.1% (7)

問 13-1 問 13 で「2. 実施の予定はない」と回答した事業所にお尋ねします。
その理由は次のうちどれですか。(1つに○)

- (N=56)
1. 費用がかかりすぎるから 28.6% (16)
 2. メリットがわからないから 25.0% (14)
 3. 評価機関の選び方がわからないから 10.7% (6)
 4. サービスの改善に結びつかかわからないから 5.4% (3)
 5. その他 (具体的に:) 25.0% (14)
- 無回答 5.4% (3)

問 14 最近、利用者が抱えている問題で多くなっているものは何ですか。ご自由にお書きください。

人材育成・人材確保についてお尋ねします

問 15 人材の確保の状況について、お尋ねします。(1つに○)

- (N=77)
1. 確保できている 10.4% (8)
 2. おおむね確保できている 53.2% (41)
 3. あまり確保できていない 20.8% (16)
 4. 確保できていない 15.6% (12)
- 無回答 0.0% (0)

問 15-1 問 15 で「3. あまり確保できていない」又は「4. 確保できていない」と回答した事業所にお尋ねします。人材の確保ができていない職種は何ですか。(いくつでも○)

- (N=28)
1. 看護師 32.1% (9)
 2. 介護福祉士 57.1% (16)
 3. 介護福祉士以外の介護職員 57.1% (16)
 4. 主任介護支援専門員 3.6% (1)
 5. 介護支援専門員 10.7% (3)
 6. 社会福祉士 7.1% (2)
 7. 保健師 0.0% (0)
 8. 理学療法士 25.0% (7)
 9. 作業療法士 17.9% (5)
 10. 言語聴覚士 14.3% (4)
 11. その他 () 10.7% (3)
- 無回答 0.0% (0)

問 16 人材の確保について、どのような取り組みを行っていますか。(いくつでも○)

- (N=77)
1. 定期的に求人誌への掲載などを行っている 40.3% (31)
 2. 就職説明会への参加を行っている 28.6% (22)
 3. 福祉専門学校等教育機関との連携を図っている 14.3% (11)
 4. ハローワークとの連携を図っている 67.5% (52)
 5. シルバー人材センターとの連携を図っている 3.9% (3)
 6. 人材派遣会社との連携を図っている 28.6% (22)
 7. 無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている 22.1% (17)
 8. 採用時に給与(賞与・手当含む)を他社より好条件に設定している 9.1% (7)
 9. 採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている 49.4% (38)
 10. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくらせている 33.8% (26)
 11. 採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている 44.2% (34)
 12. インターンシップ制度を導入している 9.1% (7)
 13. その他 (具体的に:) 7.8% (6)
 14. 特に何も行っていない 6.5% (5)
- 無回答 1.3% (1)

問 17 平成27年度、1年間の常勤職員及び全職員(常勤・非常勤を含む)離職率について伺います。(1つに○)

(N=77)

※離職率 = この1年間の退職者数 ÷ 平成27年4月1日の在職者数 × 100 とします。

項目	常勤職員	全職員(常勤+非常勤)
最近1年間に離職者はいない	1. 33.8% (26)	10. 16.9% (13)
5%未満	2. 6.5% (5)	11. 10.4% (8)
5%以上10%未満	3. 6.5% (5)	12. 9.1% (7)
10%以上15%未満	4. 3.9% (3)	13. 7.8% (6)
15%以上20%未満	5. 1.3% (1)	14. 9.1% (7)
20%以上25%未満	6. 5.2% (4)	15. 5.2% (4)
25%以上30%未満	7. 2.6% (2)	16. 0.0% (0)
30%以上	8. 2.6% (2)	17. 3.9% (3)
わからない	9. 3.9% (3)	18. 3.9% (3)
無回答	33.8% (26)	33.8% (26)

問 18 人材の定着・育成（離職の防止）について、どのような取り組みを行っていますか。（いくつでも〇）

- (N=77)
1. 近隣の企業や同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している 35.1% (27)
 2. 永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている 22.1% (17)
 3. 能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている 27.3% (21)
 4. 非正規職員から正規職員への登用機会を設けている 42.9% (33)
 5. 外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている 36.4% (28)
 6. 新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている 46.1% (37)
 7. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている 50.6% (39)
 8. 休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている 27.3% (21)
 9. 上司や管理職が雑談に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている 44.2% (34)
 10. 仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている 41.6% (32)
 11. 職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている 19.5% (15)
 12. その他（具体的に：) 6.5% (5)
 13. 特に何も行っていない 5.2% (4)
- 無回答 1.3% (1)

問 19 キャリア支援についてお尋ねします。

(1) 事業所内での講習会・研修は、十分実施できていると思えますか。できていない場合は、理由を具体的に書きください。（1つに〇）

- (N=77)
1. 十分実施できている 15.6% (12)
 2. 十分ではないが実施できている 71.4% (55)
 3. ほとんど実施できていない（理由：) 9.1% (7)
 4. その他（具体的に：) 1.3% (1)
- 無回答 2.6% (2)

(2) 外部の研修や事例検討、勉強会について、職員が積極的に参加できるよう支援していただけますか。できていない場合は、理由を具体的に書きください。（1つに〇）

- (N=77)
1. 支援している 35.1% (27)
 2. 十分ではないが支援している 49.4% (38)
 3. ほとんど支援していない 2.6% (2)
(理由：)
 4. 支援したいができない 7.8% (6)
(理由：)
 5. その他 2.6% (2)
(具体的に：)
- 無回答 2.6% (2)

問 20 貴事業所では、介護職員処遇改善加算を取得していますか。（1つに〇）

- (N=77)
1. 取得している → 問 20-1、問 20-2へ 68.8% (53)
 2. 取得していない → 問 21へ 23.4% (18)
- 無回答 7.8% (6)

問 20-1 問 20で「1. 取得している」と回答した事業所にお尋ねします。介護職員処遇改善加算の取得により、現在の職員の賃金はどの程度上がりましたか。平成 28 年 3 月と比較してお答えください。（1つに〇）

- (N=53)
1. 月 15,000 円以上 17.0% (9)
 2. 月 10,000 円以上 15,000 円未満 20.8% (11)
 3. 月 5,000 円以上 10,000 円未満 22.6% (12)
 4. 月 5,000 円未満 26.4% (14)
 5. 上がっていない 9.4% (5)
- 無回答 3.8% (2)

問 20-2 問 20で「1. 取得している」と回答した事業所にお尋ねします。介護職員処遇改善加算の取得により、職員の離職状況は改善しましたか。（1つに〇）

- (N=53)
1. 改善した 11.3% (6)
 2. 変わらない 84.9% (45)
- 無回答 3.8% (2)

他事業所との連携についてお尋ねします

問 21 他の介護サービス事業所等との連携について、取り組んでいることがありますか。（いくつでも〇）

- (N=77)
1. 勉強会、ケース検討会の共同開催 36.4% (28)
 2. 事業環境などの情報交換 31.2% (24)
 3. 交換研修の実施 14.3% (11)
 4. 定員オーバーや空きがある場合の照会・連携 14.3% (11)
 5. 地域包括支援センターとの連絡会などの連携 16.9% (13)
 6. その他（具体的に：) 5.2% (4)
 7. 特にない 37.7% (29)
- 無回答 2.6% (2)

今後の事業運営についてお尋ねします

問 22 貴事業所では、今後3年のうちに事業規模について、どのように考えていますか。(1つに○)
(N=77)

1. 拡大予定・検討中 → 問22-1へ 20.8% (16)
 2. 現状維持 51.9% (40)
 3. 縮小予定 2.6% (2)
 4. わからない(予測がつかない) 24.7% (19)
 無回答 0.0% (0)

問 22-1 問 22 で「1. 拡大予定・検討中」と回答した事業所にお尋ねします。
 拡大予定・検討中のサービスは何ですか。(いくつでも○)
(N=16)

1. 地域包括支援センター	0.0% (0)	13. 介護老人保健施設	0.0% (0)
2. 居宅介護支援	25.0% (4)	14. 特定施設入居者生活介護	12.5% (2)
3. 訪問介護	18.8% (3)	15. 小規模多機能型居宅介護	6.3% (1)
4. 通所介護	18.8% (3)	16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	6.3% (1)
5. 訪問入浴介護	0.0% (0)	17. 夜間対応型訪問介護	6.3% (1)
6. 訪問看護	25.0% (4)	18. 認知症対応型通所介護	0.0% (0)
7. 訪問リハビリ	0.0% (0)	19. 認知症対応型共同生活介護	6.3% (1)
8. 通所リハビリ	0.0% (0)	20. 看護小規模多機能型居宅介護	12.5% (2)
9. 居宅療養管理指導	6.3% (1)	21. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0.0% (0)
10. 住宅改修・福祉用具	0.0% (0)	22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.0% (0)
11. 短期入所生活・療養介護	0.0% (0)	23. 地域密着型通所介護	0.0% (0)
12. 介護老人福祉施設	0.0% (0)	24. その他(具体的に)	18.8% (3)
		無回答	6.3% (1)

問 22-2 問 22-1 で「16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護」及び「17. 夜間対応型訪問介護」と回答した事業所にお尋ねします。各サービスの参入にあたって課題等がありますか。(いくつでも○)
(N=2)

1. サービスに係る経費が多く採算がとれない 50.0% (1)
 2. サービスを行う人材を確保することが困難である 50.0% (1)
 3. 指定運営基準が厳しすぎる 50.0% (1)
 4. 公的資金援助が少ない 100.0% (2)
 5. 利用者のサービスに対する理解がなく、登録定員の確保が難しい 50.0% (1)
 6. その他(具体的に)) 0.0% (0)
 無回答 0.0% (0)

問 23 これから貴事業所が特に力を入れたいことは何ですか。(いくつでも○)
(N=77)

1. 相談 22.1% (17)
 2. 夜間への対応 5.2% (4)
 3. 地域支援の把握、ネットワーク 36.4% (28)
 4. 他のサービスへの展開 11.7% (9)
 5. 権利擁護への対応(成年後見制度) 9.1% (7)
 6. 利用者ニーズの把握 51.9% (40)
 7. 認知症の方へのケア 40.3% (31)
 8. 重度化への対応(看取り) 28.6% (22)
 9. 家族や地域との交流・連携 42.9% (33)
 10. 他事業所との連携 42.9% (33)
 11. 医療との連携(主治医等) 48.1% (37)
 12. 教育・研修 51.9% (40)
 13. 検討中(具体的に)) 3.9% (3)
 14. その他(具体的に)) 1.3% (1)
 無回答 0.0% (0)

問 24 日頃、サービスを提供していくうえで、法令遵守(コンプライアンス)は当然として、利用者からの信頼を得るためには何が必要と考えますか。(いくつでも○)
(N=77)

1. 経営理念・ビジョンの確立 40.3% (31)
 2. 組織体制 36.4% (28)
 3. 人材確保 55.8% (43)
 4. 人材育成(研修・学習会) 71.4% (55)
 5. 就業環境整備(人件費・福利厚生等) 20.8% (16)
 6. サービス内容の充実 62.3% (48)
 7. マニュアルや手引書の整備 31.2% (24)
 8. 利用者への対応 81.8% (63)
 9. 老朽化した施設の改善 10.4% (8)
 10. 他機関(他事業所等)との連携 41.6% (32)
 11. 情報収集及び提供方法 36.4% (28)
 12. 個人情報保護 29.9% (23)
 13. その他(具体的に)) 2.6% (2)
 無回答 0.0% (0)

介護保険の給付以外のサービスについてお尋ねします

問 25 貴事業所で、介護保険の給付以外に提供しているサービスはありますか。
(いくつでも)

- (N=77)
- 生活支援サービス 10.4% (8)
 - 生かがい支援サービス 1.3% (1)
 - 介護予防サービス（介護保険の給付以外） 6.5% (5)
 - 介護予防・日常生活支援総合事業の現行相当サービス 19.5% (15)
 - 健康づくり事業 2.6% (2)
 - 障害福祉サービス 10.4% (8)
 - 輸送サービス（福祉有償運送を含む） 3.9% (3)
 - 宿泊サービス（お泊りデイを含む） 1.3% (1)
 - その他（具体的に：) 15.6% (12)
- 無回答 49.4% (38)

問 26 将来、提供を予定又は検討している、介護保険の給付以外のサービスはありますか。(いくつでも)

- (N=77)
- 生活支援サービス 3.9% (3)
 - 生かがい支援サービス 5.2% (4)
 - 介護予防サービス（介護保険の給付以外） 5.2% (4)
 - 介護予防・日常生活支援総合事業の現行相当サービス 6.5% (5)
 - 健康づくり事業 6.5% (5)
 - 障害福祉サービス 1.3% (1)
 - 輸送サービス（福祉有償運送を含む） 2.6% (2)
 - 宿泊サービス（お泊りデイを含む） 1.3% (1)
 - その他（具体的に：) 7.8% (6)
- 無回答 70.1% (54)

多摩市への意向についてお尋ねします

問 27 今後、保険者としての多摩市に対し、事業所として望むことを伺います。
(3つまで)

- (N=77)
- 介護保険に関する情報提供、研修の実施 51.9% (40)
 - 質の向上のために事業所が行う研修への支援 28.6% (22)
 - 不正な事業所への指導 2.6% (2)
 - 利用者への適正なサービス利用の啓発 27.3% (21)
 - 地域包括支援センター機能の充実 18.2% (14)
 - 市と事業所間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催 27.3% (21)
 - 制度運営における保険者判断部分の周知 28.6% (22)
 - その他（具体的に：) 3.9% (3)
 - 特にならない 6.5% (5)
- 無回答 9.1% (7)

問 28 介護サービスをよりよくするため、市が特に力を入れるべきことを伺います。
(3つまで)

- (N=77)
- サービス事業所の質を高める取り組みを行うこと 16.9% (13)
 - 居宅介護支援専門員やホームヘルパーなどの人材を育成すること 15.6% (12)
 - 市内に特別養護老人ホームなどの介護施設を増やすこと 2.6% (2)
 - 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと 26.0% (20)
 - 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること 16.9% (13)
 - 地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行うこと 24.7% (19)
 - 身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと 6.5% (5)
 - 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと 19.5% (15)
 - 家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること 11.7% (9)
 - 移動・移送手段の充実 11.7% (9)
 - 介護保険を効率的に運用する仕組みづくりを行うこと 9.1% (7)
 - 地域包括支援センターの充実 18.2% (14)
 - 介護保険サービス利用の制限をカバーする保健福祉サービスを充実すること 11.7% (9)
 - 介護保険サービスと医療サービスを一緒に利用できるようにしてほしい 10.4% (8)
 - その他（具体的に：) 10.4% (8)
 - わからない 0.0% (0)
- 無回答 15.6% (12)

問 29 保健福祉や介護保険について、多摩市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

印刷物番号

29-40

多摩市高齢者実態調査報告書
(平成29年度版)

発行年月：平成30年 1月

発行：多摩市

編集：多摩市健康福祉部高齢支援課

〒206-8666 東京都多摩市関戸 6-12-1

電話 042-338-6923

頒布価格：390円

